

《資料編》

1. 手植えによる移植工事

- 付図 1-1 移植域全体における海草生育面積（手植えによる移植工事）
- 付図 1-2 移植域全体における海草生育被度（手植えによる移植工事）
- 付表 1-1 移植域全体における移植海草類の種別生育被度（手植えによる移植工事）
- 付図 1-3 2m×2mコードラート内の生育面積の変化（手植えによる移植工事）
- 付図 1-4 2m×2mコードラート内の海草の分布状況（手植えによる移植工事）
- 付図 1-5 主要構成種の葉長の変化（手植えによる移植工事）
- 付表 1-2 大型底生生物の出現状況（手植えによる移植工事）
- 付表 1-3 広域移植試験地と手植え移植地の藻場面積と成長率

2. 機械化移植工法による広域移植実験

- 付図 2-1 10m×10mコードラート内の海草の分布状況（広域移植実験）
- 付図 2-2 10m×10mコードラート内の生育面積の変化（広域移植実験）
- 付図 2-3 10m×10mコードラート内の生育被度の変化（広域移植実験）
- 付表 2-1 10m×10mコードラート内の主要構成種と種別生育被度（広域移植実験）
- 付図 2-4 主要構成種の葉長（上位 30 株平均）の変化（広域移植実験）
- 付図 2-5 砂面変動の測定結果（広域移植実験）
- 付表 2-2 底質貫入試験結果 [8月上旬]（広域移植実験）
- 付表 2-3 底質貫入試験結果 [8月中旬]（広域移植実験）
- 付図 2-6 底質貫入深度の変化（広域移植実験）
- 付表 2-4 大型底生生物の生息状況 [8月台風後]（広域移植実験）
- 付表 2-5 10m×10mコードラート内の生育面積の変化（広域移植実験）

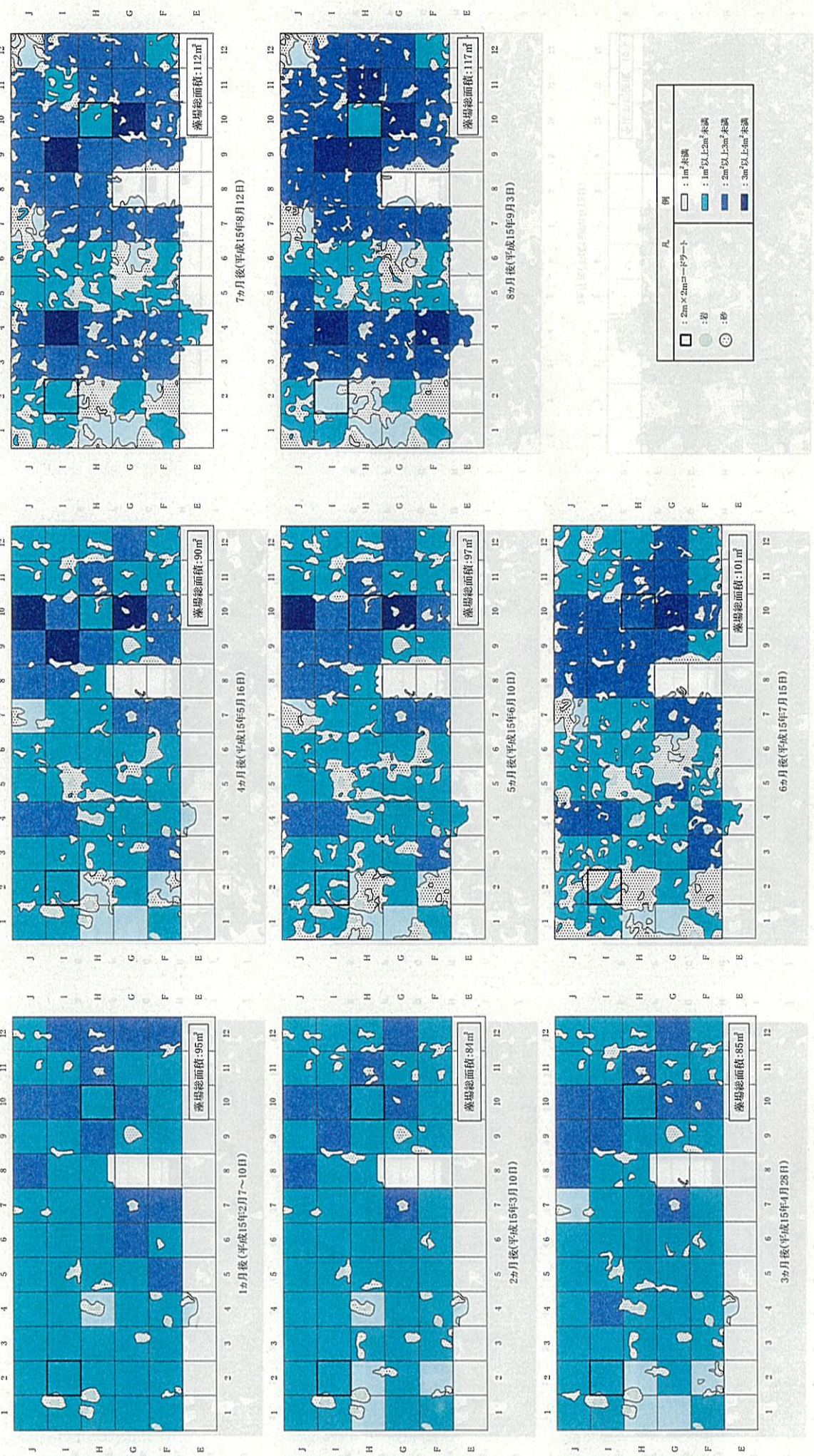
3. 減耗対策工法試験

- 付図 3-1 移植藻類の分布状況
- 付図 3-2 8m×12mコードラート内の生育被度の変化（減耗対策工法試験）
- 付表 3-1 8m×12mコードラート内の種別生育被度の変化（減耗対策工法試験）
- 付図 3-3 主要構成種の葉長（上位 30 株平均）の変化（減耗対策工法試験）
- 付図 3-4 減耗対策工法試験における砂面変動
- 付図 3-5 減耗対策工法試験における底質貫入試験結果
- 付表 3-2 底質貫入試験結果（減耗対策工法試験）
- 付図 3-6 減耗対策工法試験地における底質の粒度組成の変化
- 付表 3-3 大型底生動物の出現状況（減耗対策工法試験）
- 付表 3-4 減耗対策工法試験と広域移植実験藻場の減耗率

4. 再移植実験

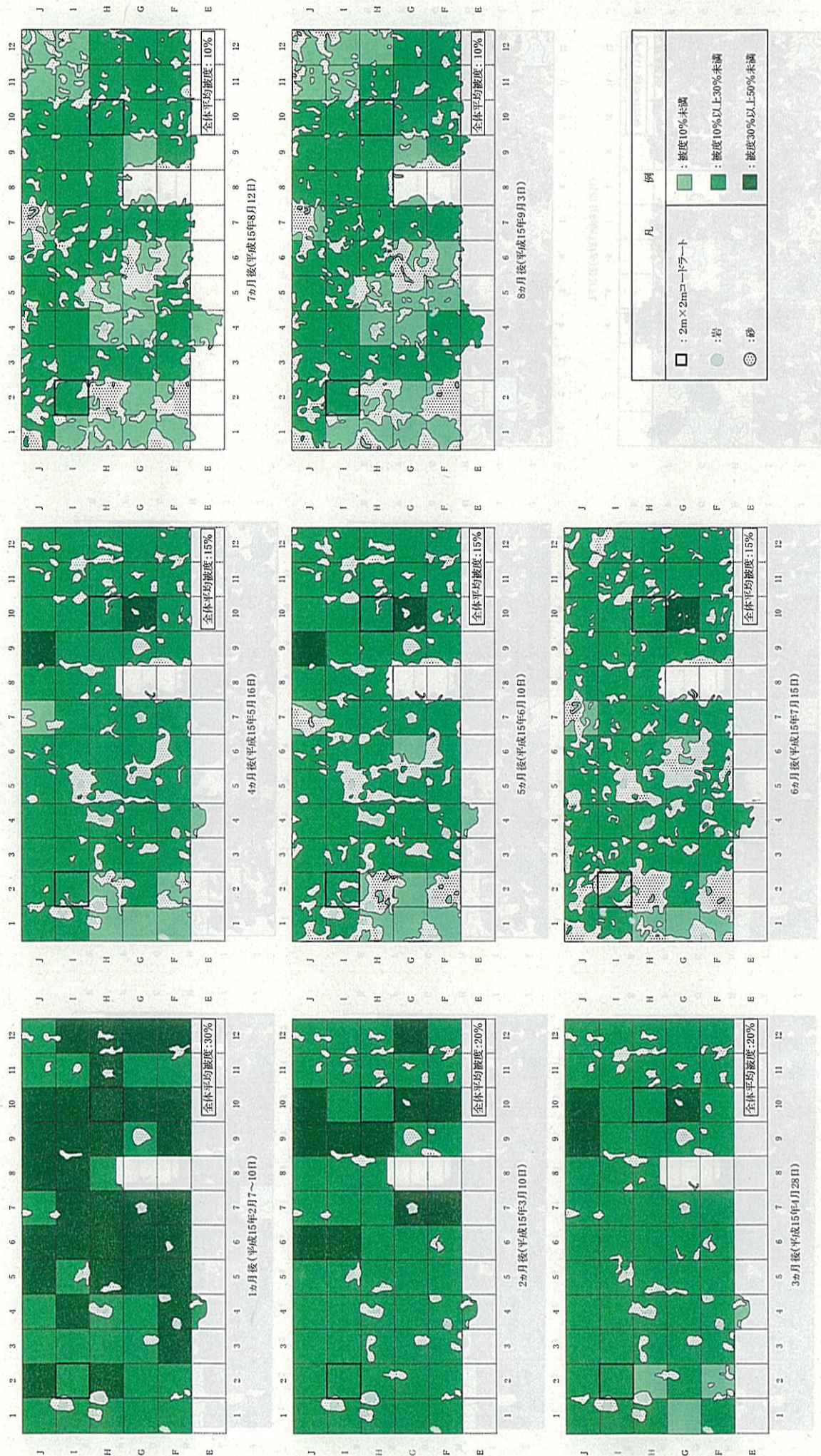
- 付図 4-1 再移植実験の位置
- 付図 4-2 再移植実験での生育面積の変化 (5m×5mコードラート内)
- 付図 4-3 再移植実験での海草分布状況 (5m×5mコードラート内)
- 付図 4-4 5m×5mコードラート内の生育被度の変化 (再移植実験)
- 付表 4-1 5m×5mコードラートにおける海草類の種別被度 (再移植実験)
- 付図 4-5 主要構成種の葉長 (上位 30 株平均) の変化 (再移植実験)
- 付図 4-6 再移植実験における砂面変動
- 付図 4-7 再移植実験における底質貫入試験結果
- 付表 4-2 底質貫入試験結果 (再移植実験)
- 付表 4-3 2m×2mコードラート内の大型底生生物の目視観察結果 (再移植実験)
- 付表 4-4 5m×5mのコードラート内における海草類の面積と減耗率 (再移植実験)
- 付表 4-5 2m×2mのコードラート内における海草類の面積と減耗率 (再移植実験)

図1-3 移殖域全体における海草生育面積（手植えによる移殖工事）



付図1-1 移殖域全体における海草生育面積（手植えによる移殖工事）

付図1-1 移殖域全体における海草生育被度（手植えによる移殖工事）

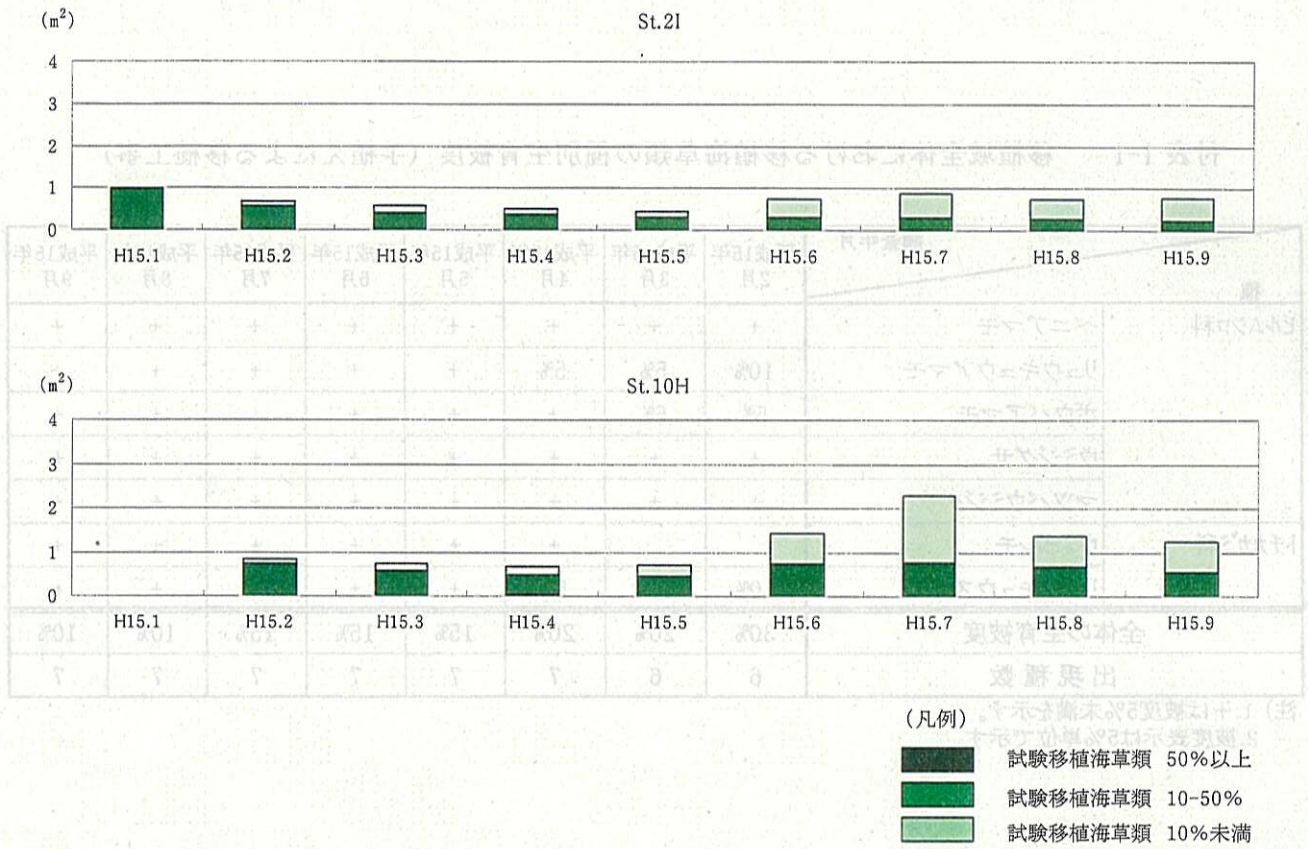


付図1-2 移殖域全体における海草生育被度（手植えによる移殖工事）

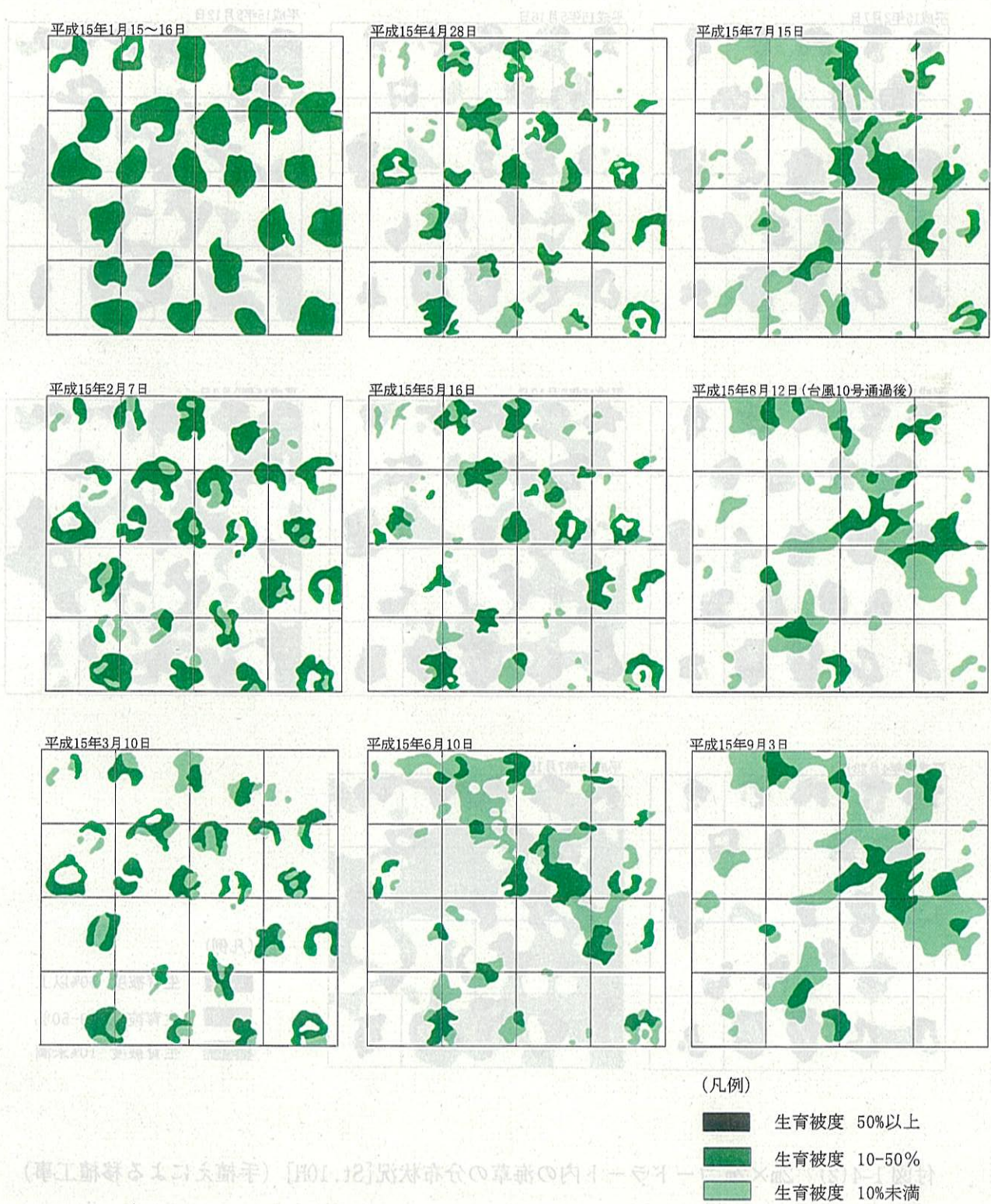
付表 1-1 移植域全体における移植海草類の種別生育被度（手植えによる移植工事）

種		調査年月							
		平成15年 2月	平成15年 3月	平成15年 4月	平成15年 5月	平成15年 6月	平成15年 7月	平成15年 8月	平成15年 9月
ヒルムシロ科	ベニアマモ	+	+	+	+	+	+	+	+
	リュウキュウアマモ	10%	5%	5%	+	+	+	+	+
	ボウバアマモ	5%	5%	+	+	+	+	+	+
	ウミジグサ	+	+	+	+	+	+	+	+
	マツバウミジグサ	+	+	+	+	+	+	+	+
トチカガミ科	ウミヒルモ			+	+	+	+	+	+
	リュウキュウスガモ	10%	10%	5%	+	+	+	+	+
全体の生育被度		30%	20%	20%	15%	15%	15%	10%	10%
出現種数		6	6	7	7	7	7	7	7

注) 1.+は被度5%未満を示す。
2.被度表示は5%単位で示す。



付図 1-3 2m×2m コードラート内の生育面積の変化 (手植えによる移植工事)



付図 1-4(1) 2m×2m コードラート内の海草の分布状況[St. 2I] (手植えによる移植工事)



付図 1-4(2) 2m×2m コードラート内の海草の分布状況[St. 10H] (手植えによる移植工事)

(海工終了後のモニタリング) [IS. 2] 50m x 50m の内側に 2m x 2m の (1) 4-1 図付

付表1-2 大型底生生物の出現状況(手植えによる移植工事)

No.	綱	科	和名	生態情報		2I						10H					
				基質	移動性	3月	5月	6月	7月	8月	9月	3月	5月	6月	7月	8月	9月
1	普通海綿	不明	普通海綿綱	H	×		R	R	R					R	R		
2	花虫	ムシト'キキン'チャク	ムシト'キキン'チャク科	H	×										2		
3	ヒザ'ラガイ	ヒザ'ラガイ	ヒザ'ラガイ目	H	○				1						2	2	
4	マキガイ	ニシキウス'ガイ	サラサタ'マキガイ	H	○						1						
5			テツイロナツモモガイ	H	○											1	
6			イワカワチグ'サカイ	L	○				1						1		
7		ヒメアワビ'ガイ	ヒメアワビ'	H	○			3						2	3	3	
8		サラサ'ハイ	サラサ'ハイ	L	○			1						3			
9		ムカデ'ガイ	ムカデ'ガイ科	H	×												
10		ソデ'ホ'ラ	ムカシタモトガイ	S	○											1	
11		アクキガイ	アクキガイ科	-	○				1								
12		タモトガイ	フトコロガイ	L	○		4		19	6	4	2	4	3	15	12	7
13			ムシエビ'ガイ	L	○				1						1		3
14			マツムシガイ	L	○			3						3	1		
15		イトマキ'ホ'ラ	イトマキ'ホ'ラ科	-	○						1						
16		クダ'マキガイ	クダ'マキガイ科	-	○												1
18		イモガイ	ア'シ'ロイモガイ	S	○			1									
19			キヌカツキ'イモガイ	H	○									1			
17			イモガイ科	-	○				1								
20	ニマイガイ	フネガイ	リュウキュウサルボウガイ	S	○				1	1							
21		イガイ	ホソシ'ビ'ハリガイ	S	×				1	1							
22		ハボ'ウキガイ	イワカワ'ハ'ゴ'ロモガイ	S	×						1						1
23		ウグ'イスガイ	ア'コ'ヤ'ガイ	H	×				1	1				1			
24		シュモクガイ	シュモクガイ科	H	×	1						2	3	2	2	4	
25		イタヤガイ	シロシ'ナ'テ'シ'コガイ	H	×					1							
26		ミノガイ	ミノガイ科	-	-		1										
27		イタボ'ガ'キ	イタボ'ガ'キ科	H	×												1
28		キクサ'ルガイ	キクサ'ルガイ科	H	×		1	1						1			
29		ニッコウガイ	シボ'リ'サ'クラガイ	S	○										1		
30	イカ	ヒメイカ	ヒメイカ	-	○								1				
31	甲殻	テナガ'エビ'	ホンカクレエビ'属	P	○			1									
32		テッポ'ウ'エビ'	テッポ'ウ'エビ'属	S	○			1	2	2						1	1
33		不明	ヤト'カリ'亜'目	-	○		2	2			1	1	1	2			
34		ワタリガニ	タイワンガ'サ'ミ	S	○						1						
35			ベ'ニツ'ケ'ガ'ニ'属	-	○									1	1		
36		オウキ'ガ'ニ	オウキ'ガ'ニ科	-	○		1	1	2	1	2		3	1		2	6
37		クモガ'ニ	クモガ'ニ科	-	○				1							1	
38		ヒシガ'ニ	ヒシガ'ニ科	-	○						1						1
39		不明	シヤ'コ'目	-	○				1	1				1	1		
40	ヒトテ'	コブ'ヒトテ'	コブ'ヒトテ'	S	○	3		1		1		1			1	1	1
42	ウニ	サンショウウニ	コシダ'カ'ウニ	H	○									1			
41			サンショウウニ科	-	○		1										1
43	ナマコ	クロナマコ	フタス'シ'ナ'マコ	S	○							2				1	
						4	10	15	30	15	17	6	11	23	31	20	34
						2	7	11	11	9	12	4	5	14	13	7	15

注1) 個体数の R は、被度 5%未満の出現を示す。

注2) 生態情報の凡例は以下の通り。

<基質>

H:主に岩、石礫など(Hard bottom)に生息

S:主に砂地など(Soft bottom)に生息

L:主に海藻草類の葉上(Leaf)に生息

P:他の動物種に寄生(Parasitism)または共生関係にあり、主に動物体上ないし動物体内に生息

-:生息基質の選択性が低い、未詳、不明な種

<移動性>

○:成体でも移動性を持ち、逃避および成体での加入が起こりうる種

×:成体ではほとんど移動できないため、逃避および成体での加入が起こらない種

-:移動性については不明な種

注3) 緑色で示した和名は、泡瀬地区の既存藻場(監視調査、St.1~5、H12夏~H14夏)において出現頻度及び個体数が多かった種。

注4) 赤色で括った和名は、既存藻場との出現種比較において合算して扱うことが望ましいもの。


付表1-3


広域移植試験地と手植え移植地の藻場面積と成長率

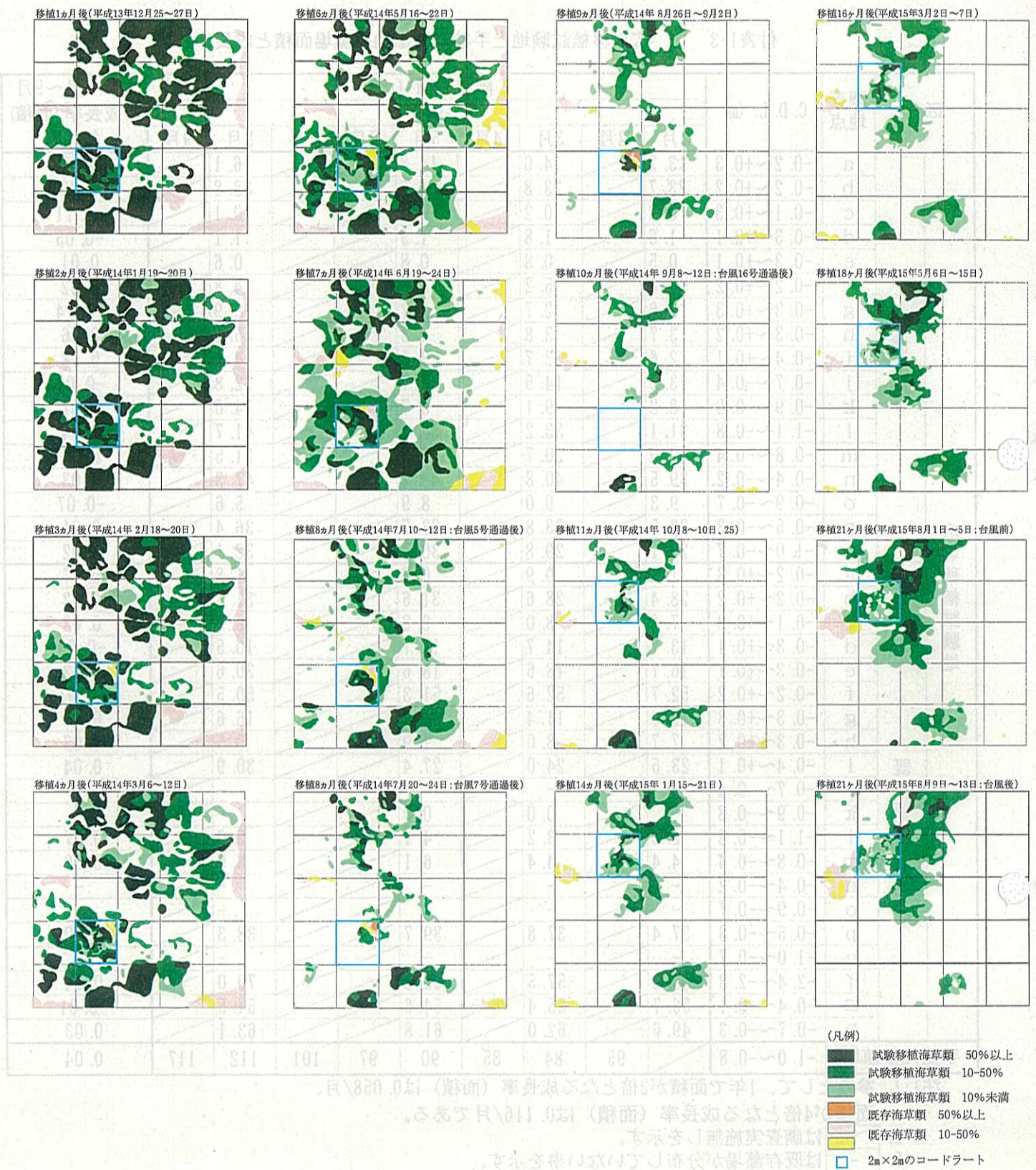
区分	調査地点	C. D. L. (m)	藻場面積 (m ²)									H15. 1月～9月の成長率(面積) (1/月)
			平成15年									
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
広域移植試験地	移植藻場	a	-0.2～+0.3	13.2	14.0	14.8	16.1	0.03				
		b	-0.2～+0.2	23.7	23.8	24.7	28.8	0.03				
		c	-0.1～+0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	-0.11				
		d	-0.3～+0.1	1.6	1.8	1.5	1.1	-0.05				
		e	-0.3～+0.1	0.5	0.8	0.8	0.6	0.01				
		f	-0.2～+0.2	4.4	5.2	6.9	4.8	0.02				
		g	-0.3～+0.3	2.6	2.7	2.7	0.9	-0.14				
		h	-0.3～+0.2	3.7	3.8	4.3	5.4	0.06				
		i	-0.4～+0.1	2.6	2.7	3.1	4.4	0.08				
		j	-0.7～-0.4	13.2	14.5	13.7	12.8	-0.01				
	k	-0.9～-0.8	8.8	9.1	8.7	14.6	0.07					
	l	-1.1～-0.8	31.1	33.2	38.2	41.7	0.04					
	m	-0.8～-0.4	19.9	20.7	22.3	21.5	0.01					
	n	-0.4～-0.2	39.5	40.8	43.2	47.3	0.03					
	o	-0.9～-0.7	9.3	9.0	8.9	5.6	-0.07					
	p	-0.5～-0.3	33.5	33.8	33.7	36.4	0.01					
	q	-1.0～-0.7	27.1	29.8	30.7	32.1	0.02					
	既存藻場	a	-0.2～+0.3	1.1	0.9	0.8	1.8	0.07				
		b	-0.2～+0.2	28.4	28.6	31.6	31.7	0.02				
		c	-0.1～+0.3	7.6	8.0	8.8	8.7	0.02				
d		-0.3～+0.1	13.7	14.7	14.7	10.5	-0.04					
e		-0.3～+0.1	16.1	18.6	18.6	20.6	0.03					
f		-0.2～+0.2	52.7	52.6	51.3	50.5	-0.01					
g		-0.3～+0.3	10.9	11.4	11.4	16.6	0.06					
h		-0.3～+0.2	7.7	8.0	7.9	9.5	0.03					
i		-0.4～+0.1	23.5	24.0	27.4	30.9	0.04					
j		-0.7～-0.4	-	-	-	-	-					
k	-0.9～-0.8	-	0.0	0.0	-	-						
l	-1.1～-0.8	3.2	3.2	4.1	5.0	0.07						
m	-0.8～-0.4	4.4	4.4	6.1	8.0	0.09						
n	-0.4～-0.2	-	-	-	-	-						
o	-0.9～-0.7	-	-	-	-	-						
p	-0.5～-0.3	37.4	37.8	39.7	38.3	0.00						
q	-1.0～-0.7	-	-	-	-	-						
イ	-2.4～-2.3	53.9	57.5	63.2	70.0	0.04						
ロ	-0.4～-0.1	56.7	55.4	54.6	54.5	-0.01						
ハ	-0.7～-0.3	49.6	62.0	61.8	63.1	0.03						
手植え移植地		-1.0～-0.8		95	84	85	90	97	101	112	117	0.04

注) 1. 参考として、1年で面積が2倍となる成長率(面積)は0.058/月、

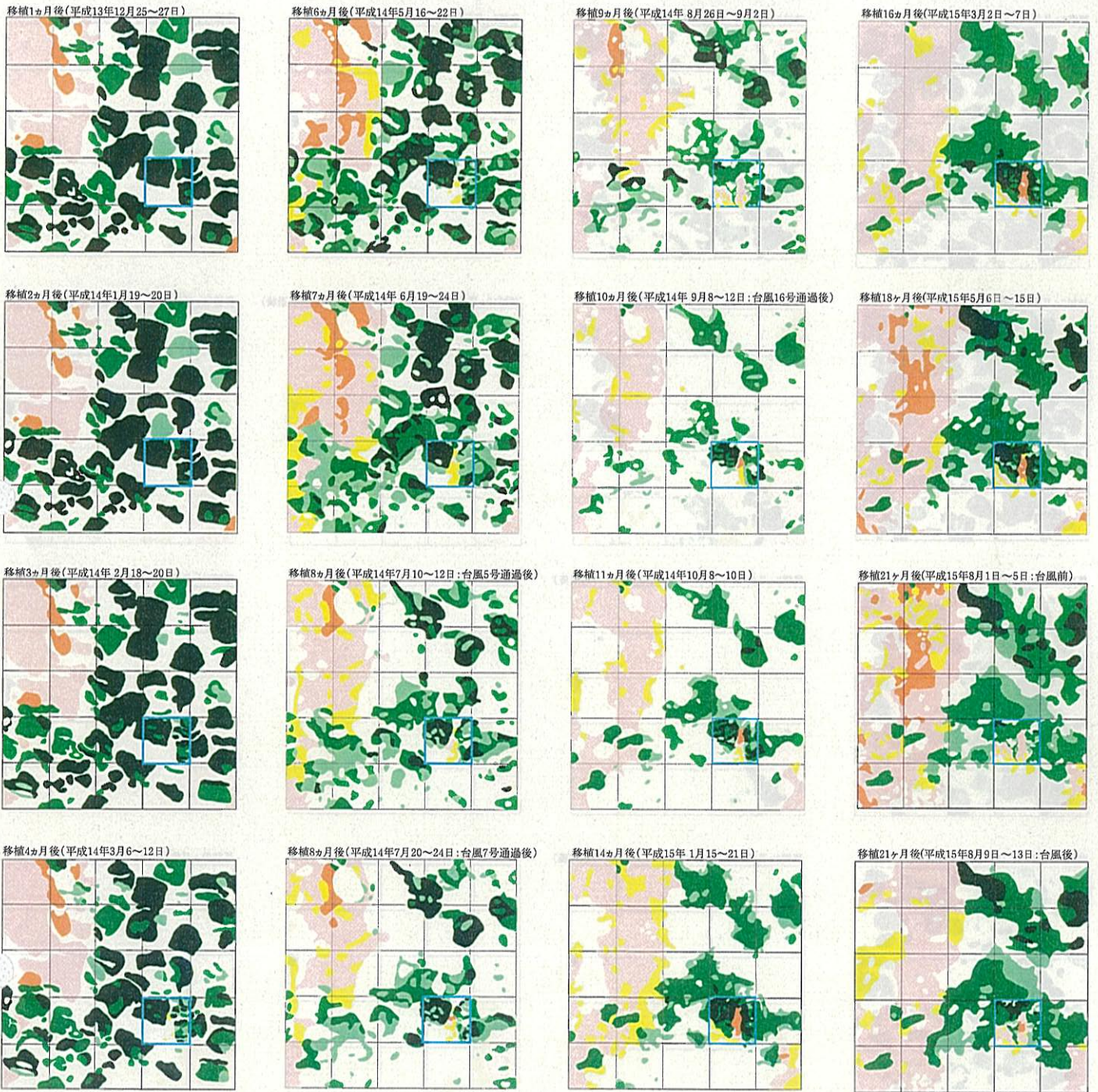
面積が4倍となる成長率(面積)は0.116/月である。

2.  は調査実施無しを示す。

3.  は既存藻場が分布していない事を示す。



付図2-1(1) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.a
 注)平成14年9月に2m×2mコードラート内の藻場が消失したため、10月以降は、別枠に新規コードラートを設置した。



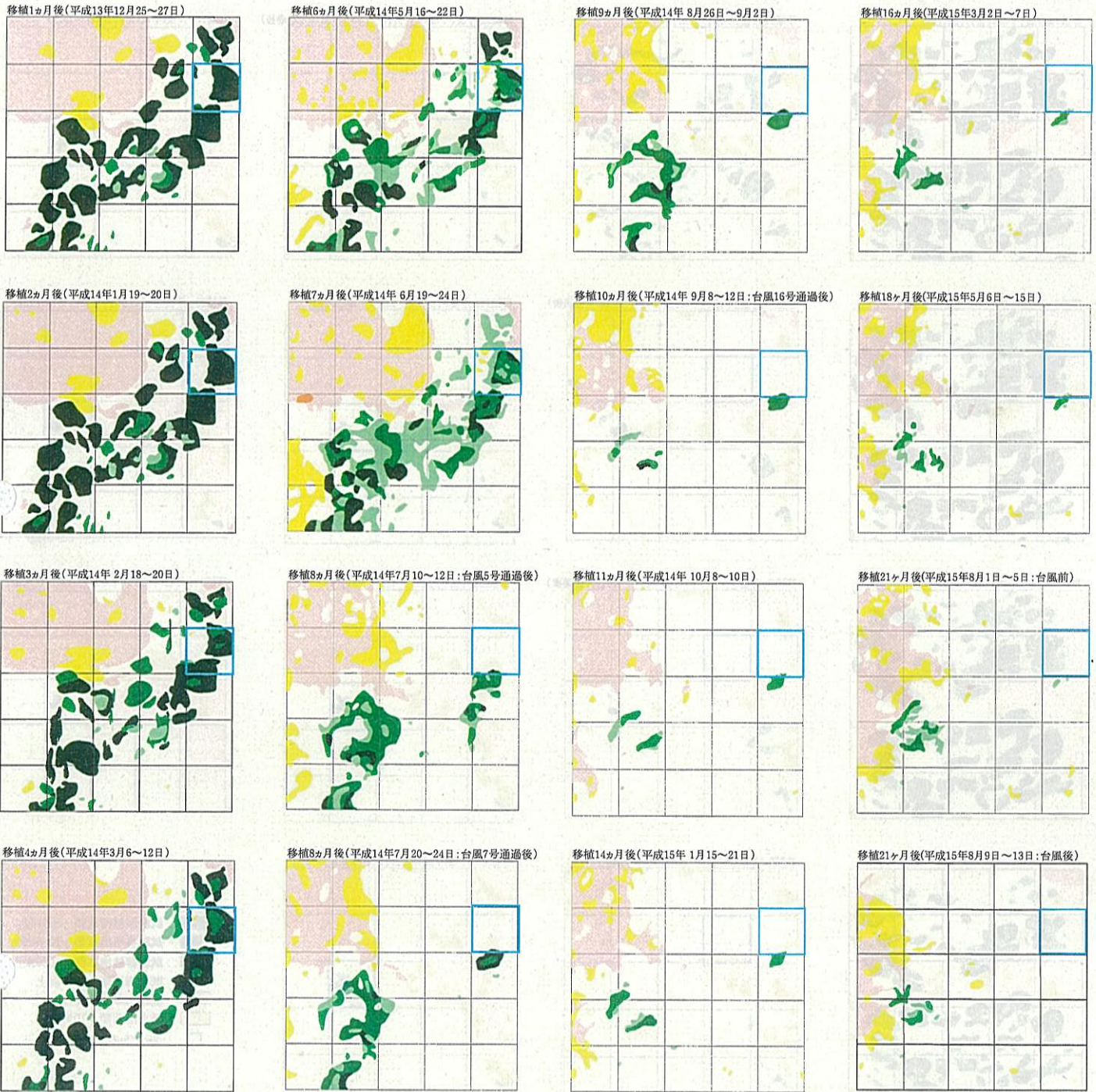
(凡例)

- 試験移植海藻類 50%以上
- 試験移植海藻類 10-50%
- 試験移植海藻類 10%未満
- 既存海藻類 50%以上
- 既存海藻類 10-50%
- 既存海藻類 10%未満
- 2m×2mのコードラート

付図2-1(2) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.b

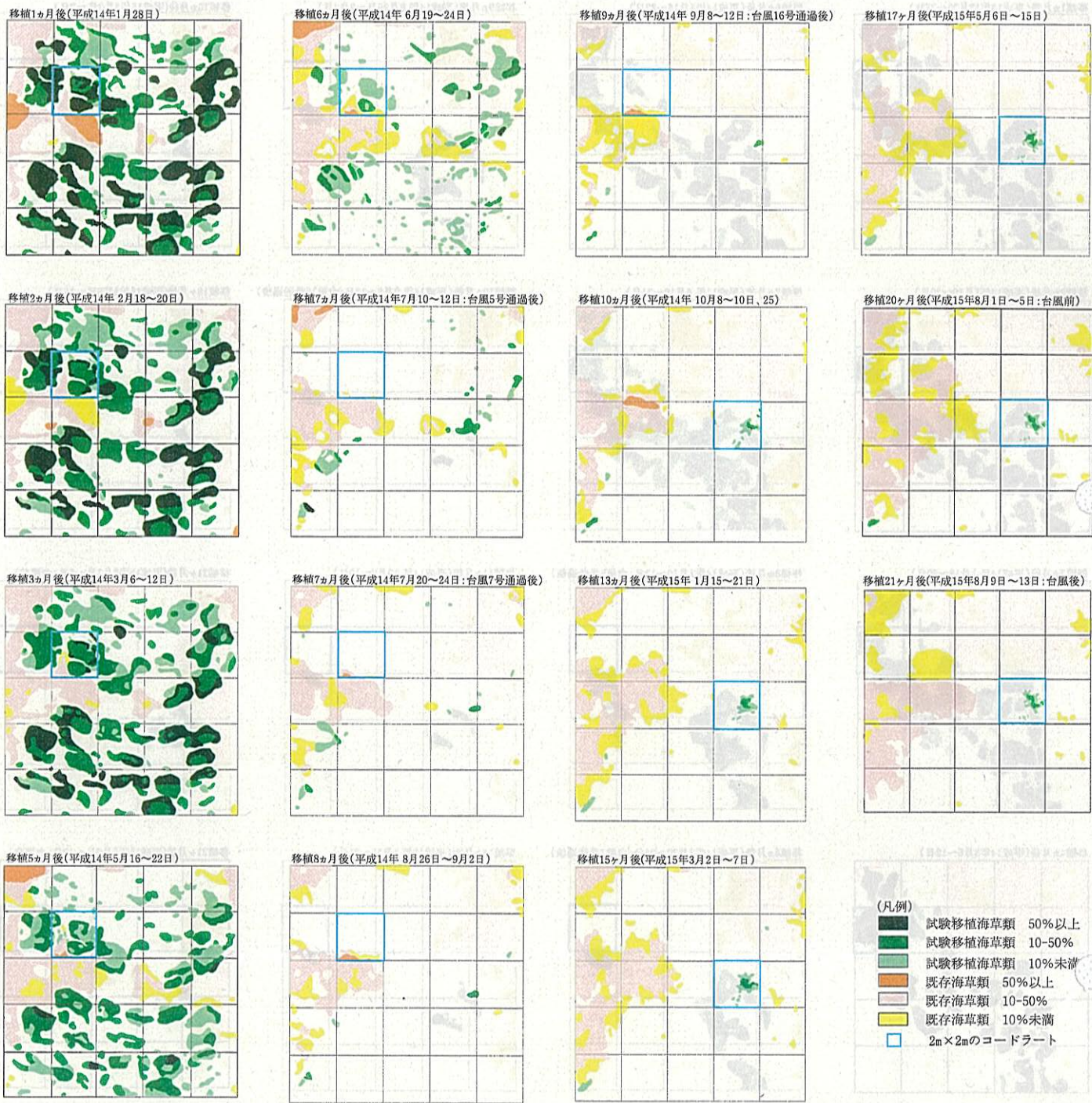


付図2-1(3) 10m×10mコードラート内の海藻の分布状況(広域移植実験): St.c

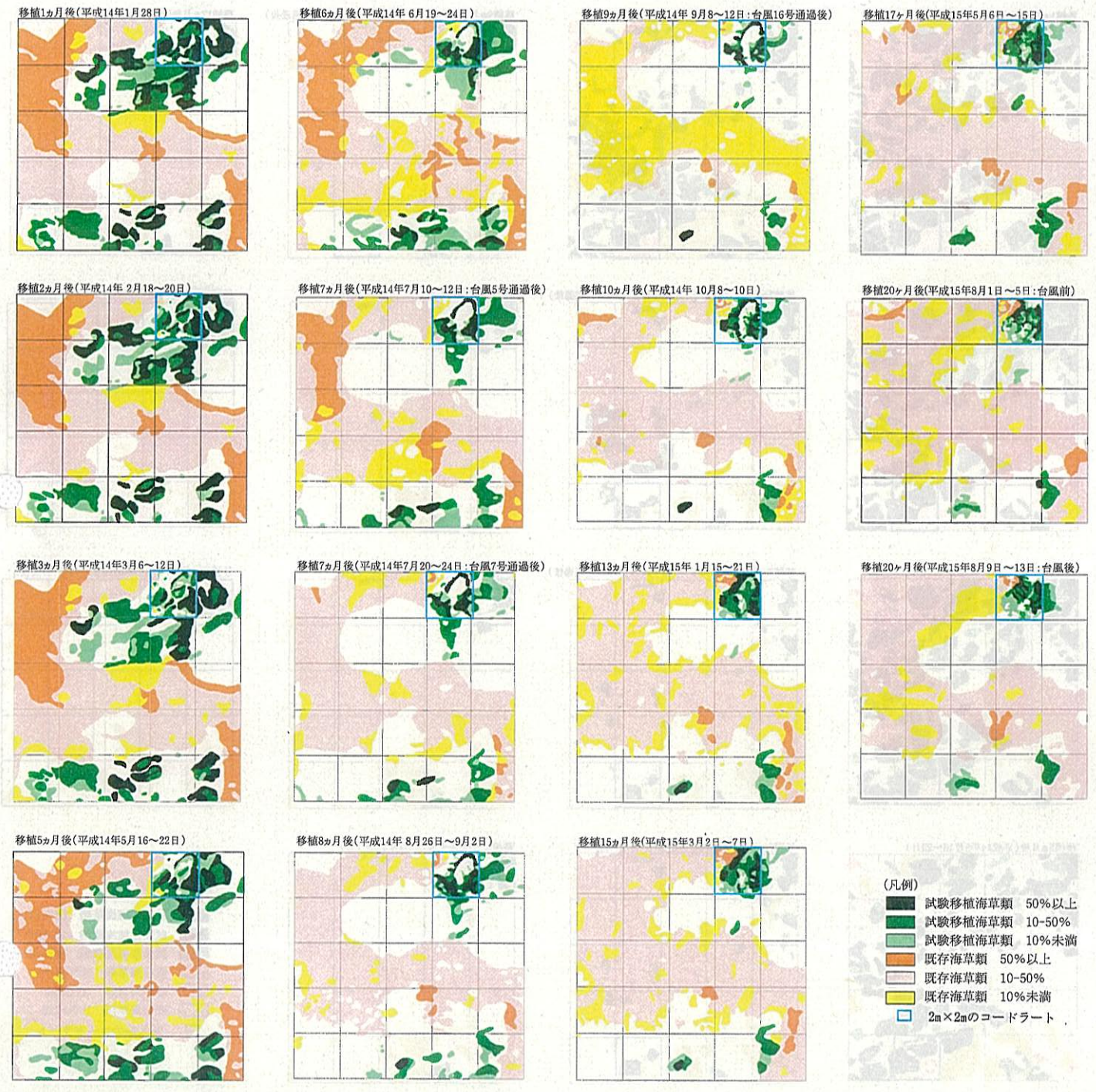


- (凡例)
- 試験移植海藻類 50%以上
 - 試験移植海藻類 10-50%
 - 試験移植海藻類 10%未満
 - 既存海藻類 50%以上
 - 既存海藻類 10-50%
 - 既存海藻類 10%未満
 - 2m×2mのコードラート

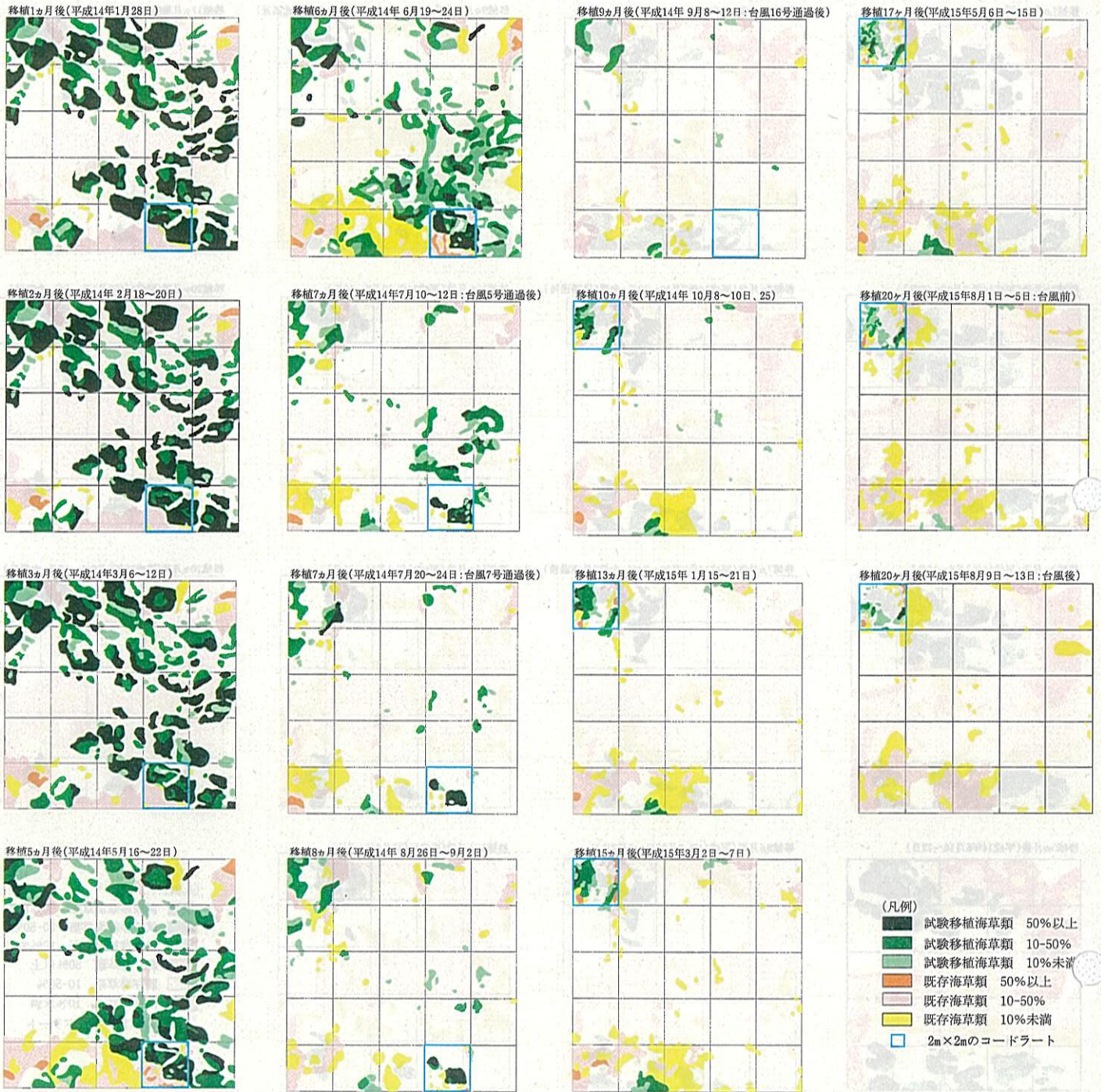
付図2-1(4) 10m×10mコードラート内の海藻の分布状況(広域移植実験) : St.d



付図2-1(5) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.e
 注)平成14年7月に2m×2mコードラート内の移植場が消失したため、10月以降は、別枠に新規コードラートを設置した。

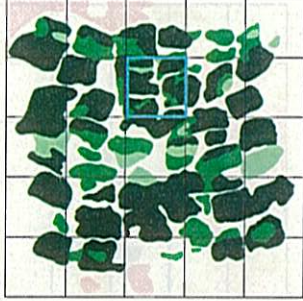


付図2-1(6) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験) : St.f

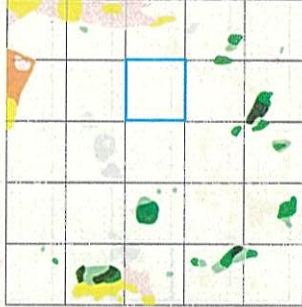


付図2-1(7) 10m×10mコードラート内の海藻の分布状況(広域移植実験): St.g
 注)平成14年9月に2m×2mコードラート内の移植藻場が消失したため、10月以降は、別枠に新規コードラートを設置した。

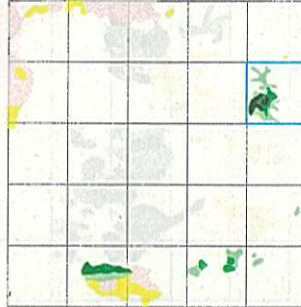
移植1ヵ月後(平成14年2月11~12日)



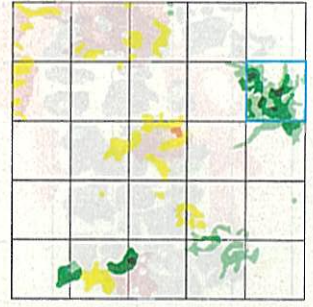
移植6ヵ月後(平成14年7月10~12日:台風5号通過後)



移植9ヵ月後(平成14年10月8~10日、25)



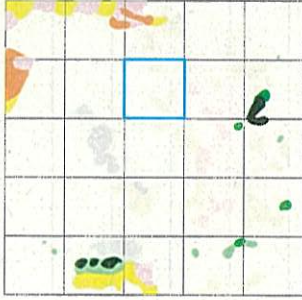
移植19ヵ月後(平成15年8月1日~5:台風前)



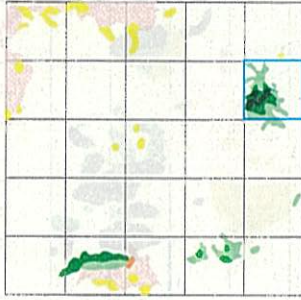
移植2ヵ月後(平成14年3月6~12日)



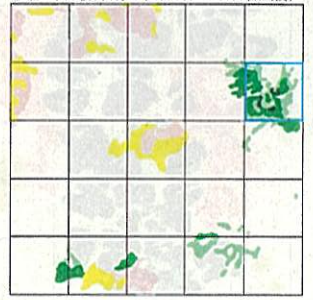
移植6ヵ月後(平成14年7月20~24日:台風7号通過後)



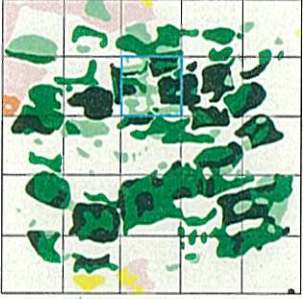
移植12ヵ月後(平成15年1月15~21日)



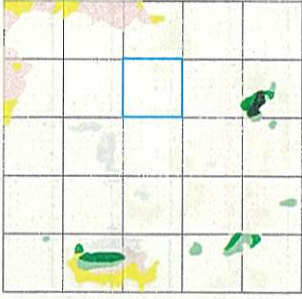
移植19ヵ月後(平成15年8月9~13日:台風後)



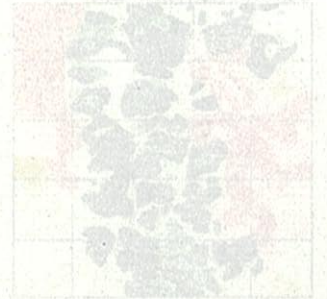
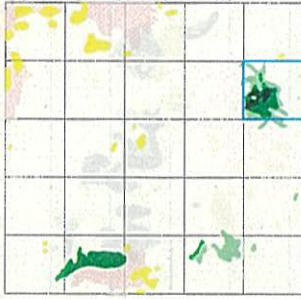
移植4ヵ月後(平成14年5月16~22日)



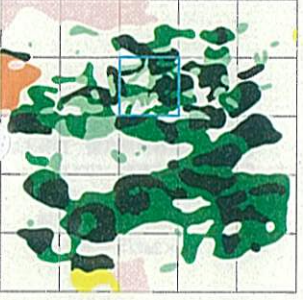
移植7ヵ月後(平成14年8月26日~9月2日)



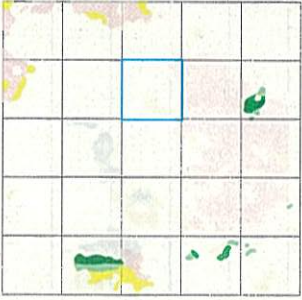
移植14ヵ月後(平成15年3月2日~7日)



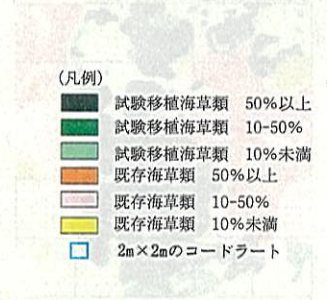
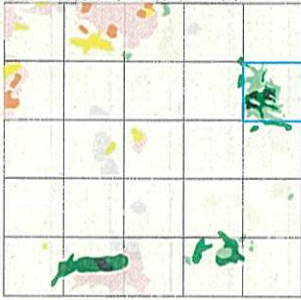
移植5ヵ月後(平成14年6月19~24日)



移植8ヵ月後(平成14年9月8~12日:台風16号通過後)

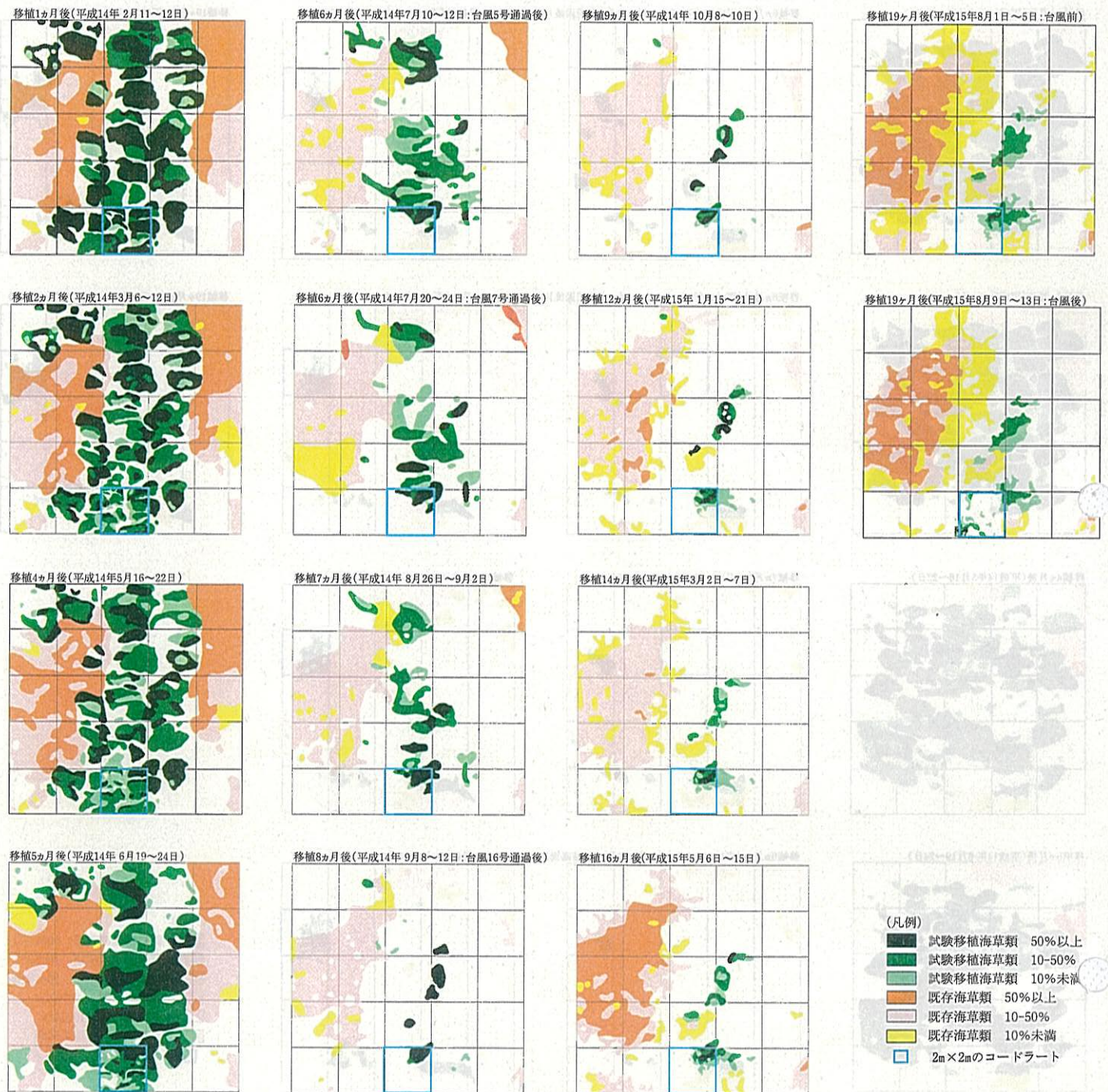


移植16ヵ月後(平成15年5月6日~15日)



- (凡例)
- 試験移植海草類 50%以上
 - 試験移植海草類 10-50%
 - 試験移植海草類 10%未満
 - 既存海草類 50%以上
 - 既存海草類 10-50%
 - 既存海草類 10%未満
 - 2m x 2mのコードラート

付図2-1(8) 10m x 10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.h
 注)平成14年7月に2m x 2mコードラート内の移植藻場が消失したため、10月以降は、別枠に新規コードラートを設置した。



付図2-1(9) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.i



付図2-1(10) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験) : St.j

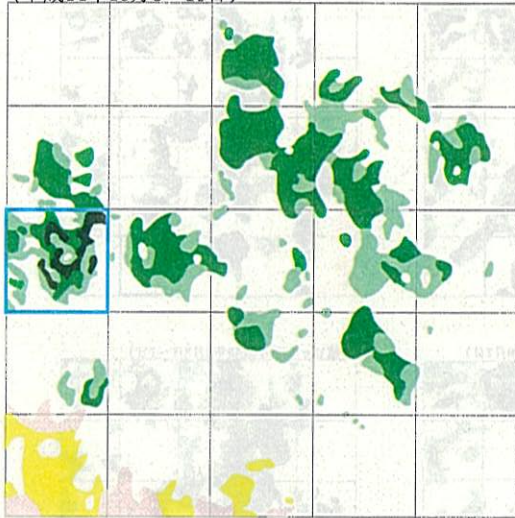


付図2-1(11) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.k

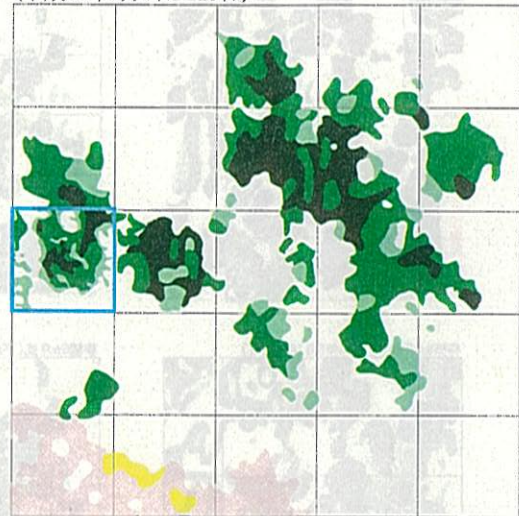


付図2-1(12) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.1

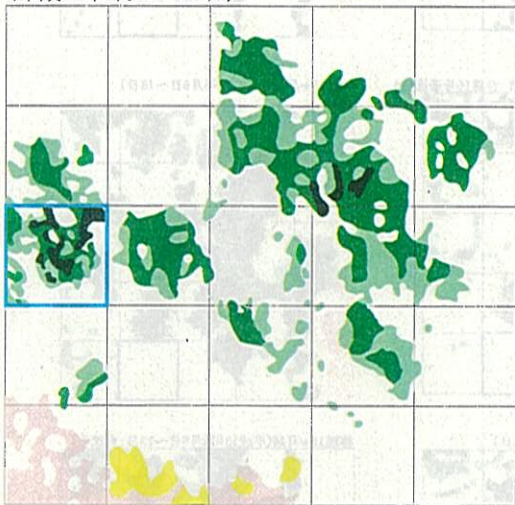
(平成14年10月8~10日)



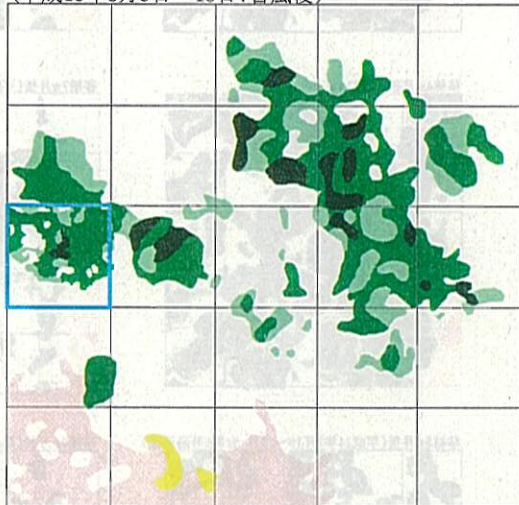
(平成15年5月6日~15日)



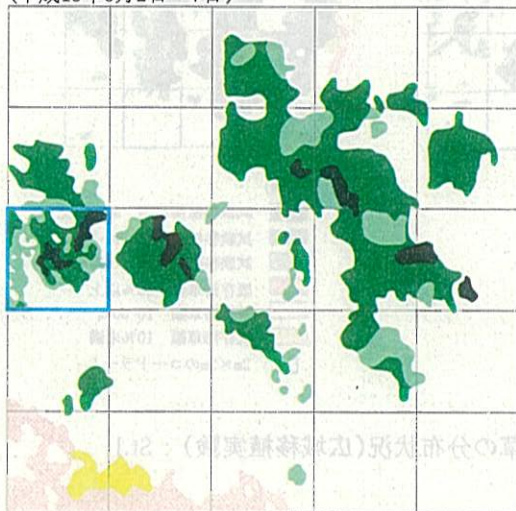
(平成15年1月15~21日)



(平成15年8月9日~13日:台風後)



(平成15年3月2日~7日)

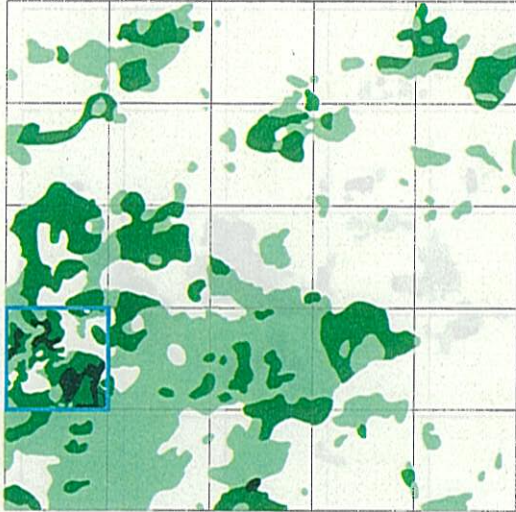


(凡例)

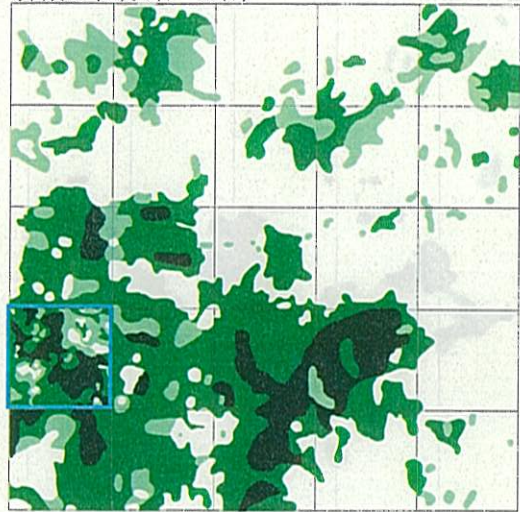
- 試験移植海草類 50%以上
- 試験移植海草類 10-50%
- 試験移植海草類 10%未満
- 既存海草類 50%以上
- 既存海草類 10-50%
- 既存海草類 10%未満
- 2m×2mのコードラート

付図2-1(13) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.m

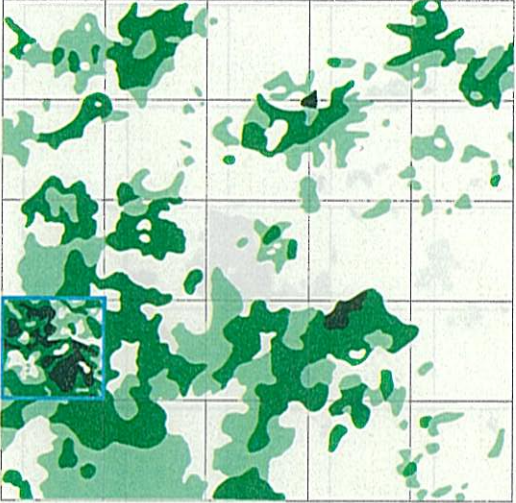
(平成14年10月8～10日)



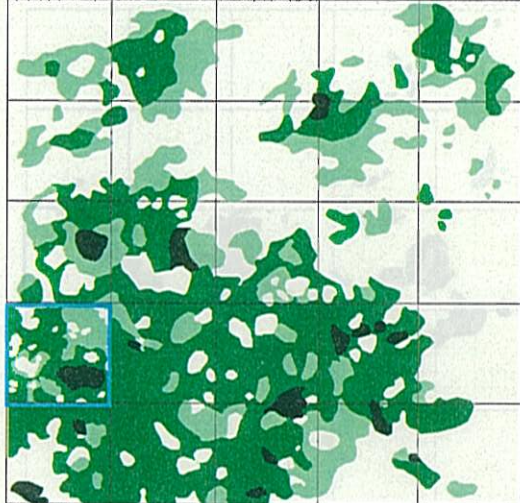
(平成15年5月6日～15日)



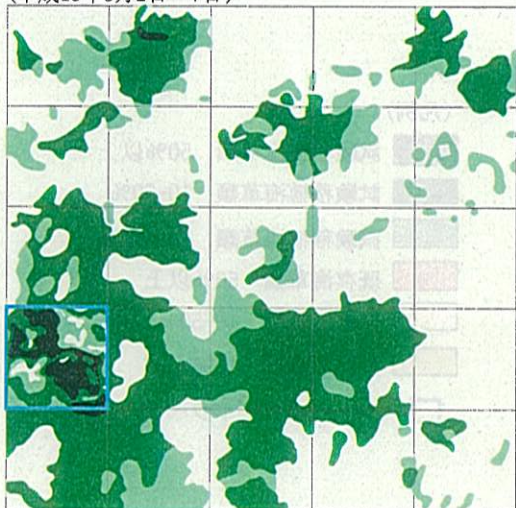
(平成15年1月15～21日)



(平成15年8月9日～13日:台風後)



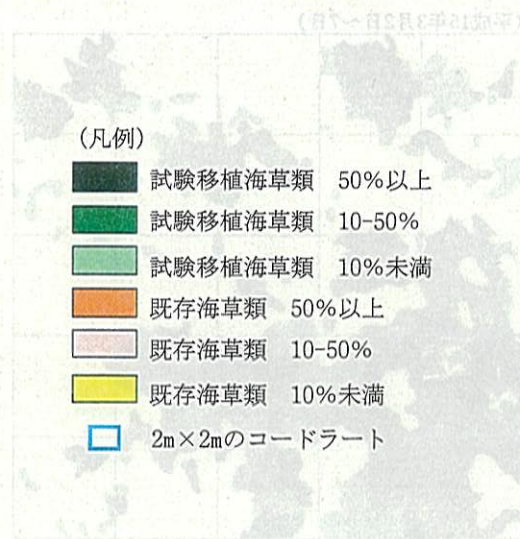
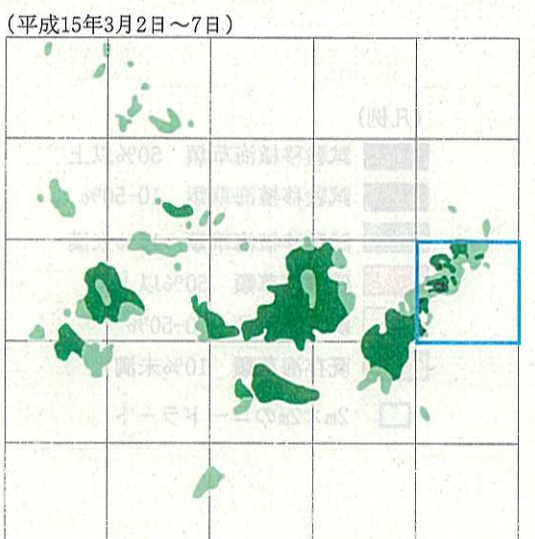
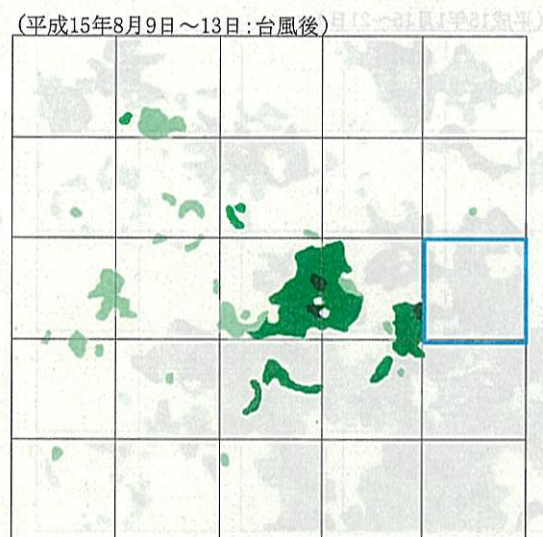
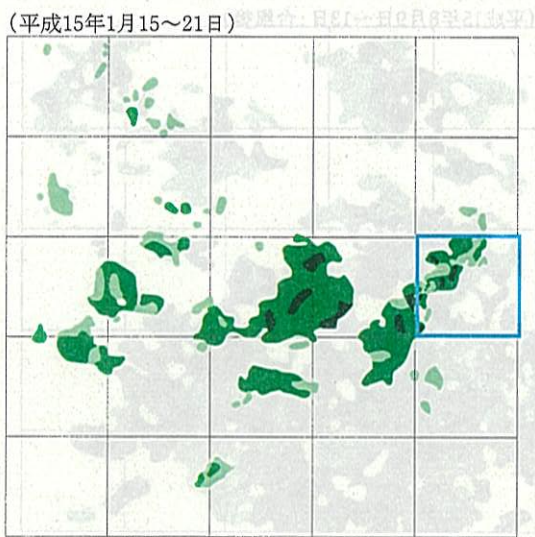
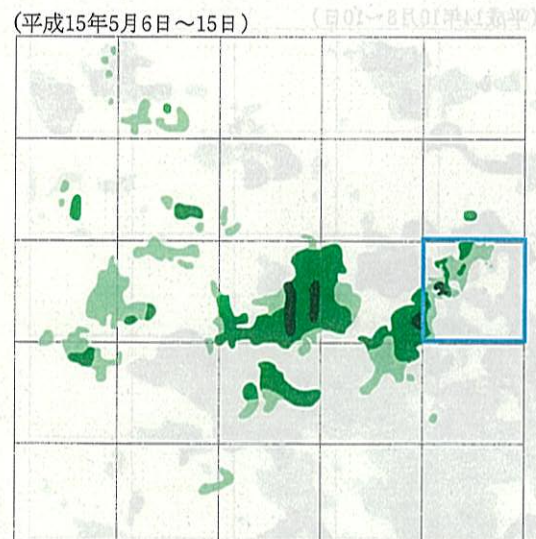
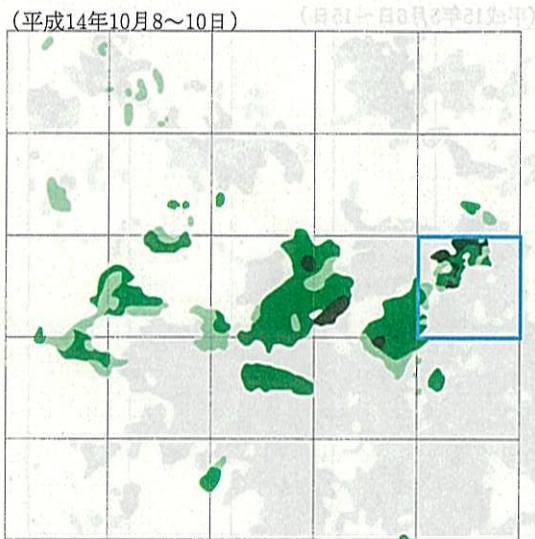
(平成15年3月2日～7日)



(凡例)

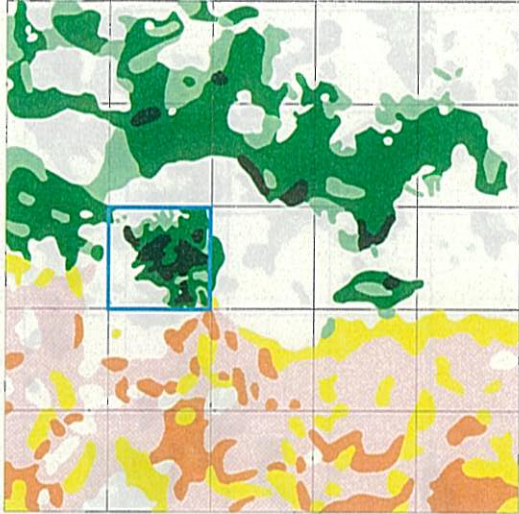
- 試験移植海草類 50%以上
- 試験移植海草類 10-50%
- 試験移植海草類 10%未満
- 既存海草類 50%以上
- 既存海草類 10-50%
- 既存海草類 10%未満
- 2m×2mのコードラート

付図2-1(14) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験) : St.n

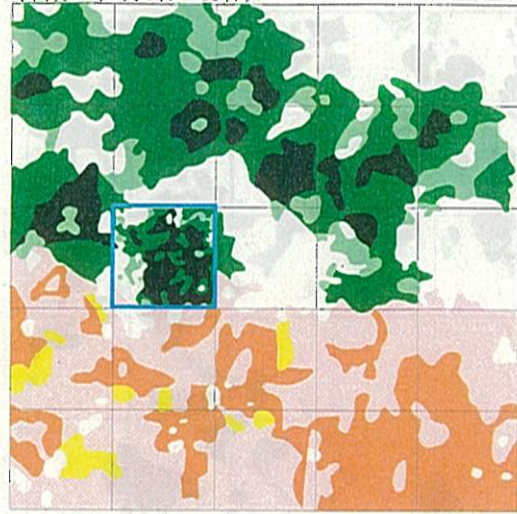


付図2-1(15) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験) : St.o

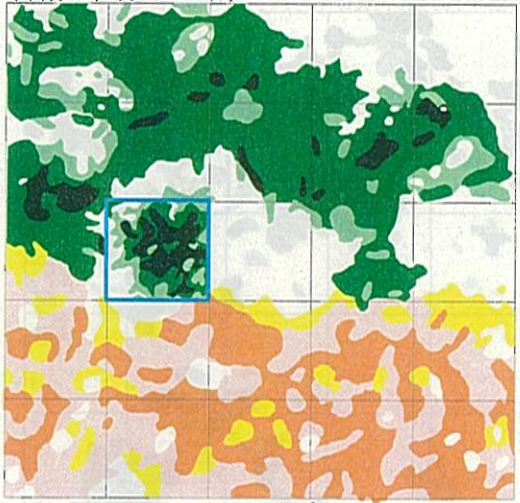
(平成14年10月8～10日)



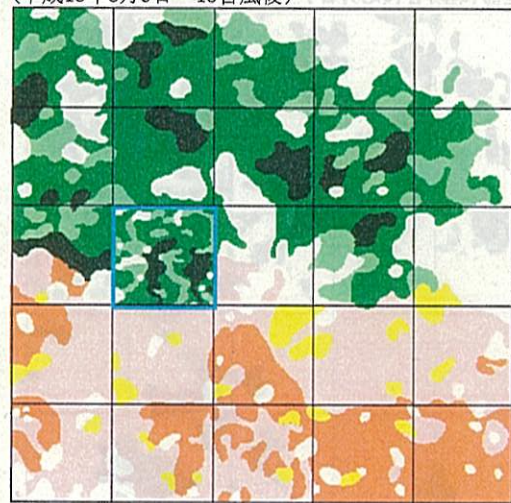
(平成15年5月6日～15日)



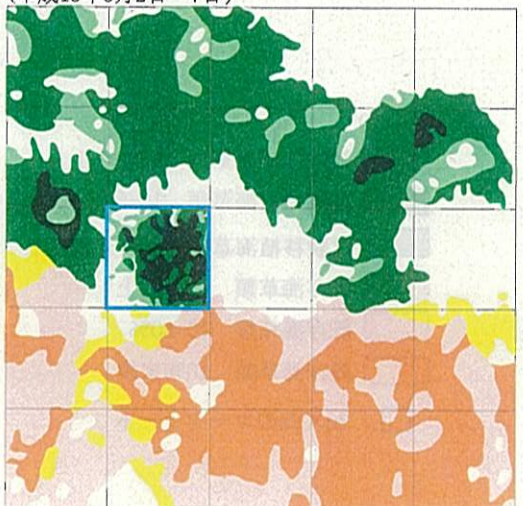
(平成15年1月15～21日)



(平成15年8月9日～13台風後)



(平成15年3月2日～7日)

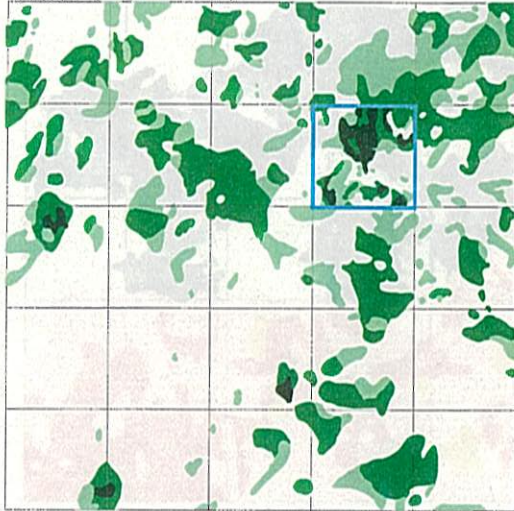


(凡例)

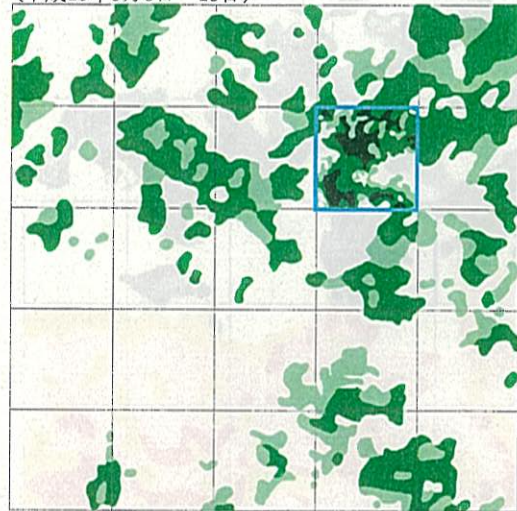
- 試験移植海草類 50%以上
- 試験移植海草類 10-50%
- 試験移植海草類 10%未満
- 既存海草類 50%以上
- 既存海草類 10-50%
- 既存海草類 10%未満
- 2m×2mのコードラート

付図2-1(16) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験) : St.p

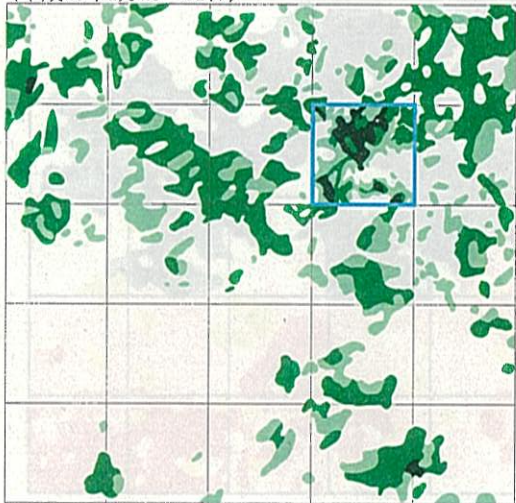
(平成14年10月8～10日)



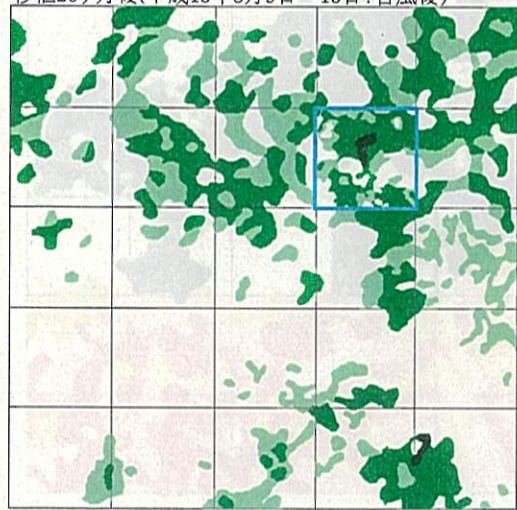
(平成15年5月6日～15日)



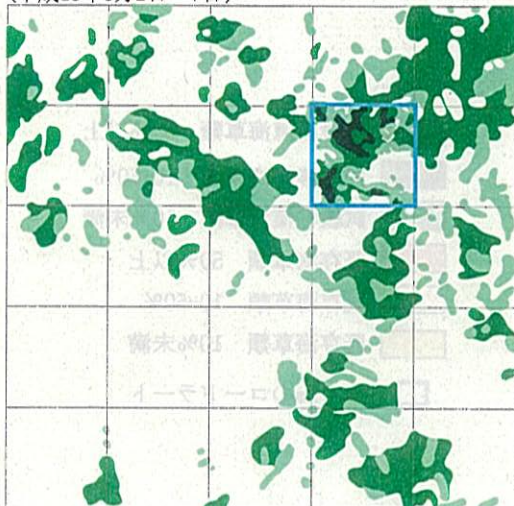
(平成15年1月15～21日)



移植20ヶ月後(平成15年8月9日～13日:台風後)



(平成15年3月2日～7日)

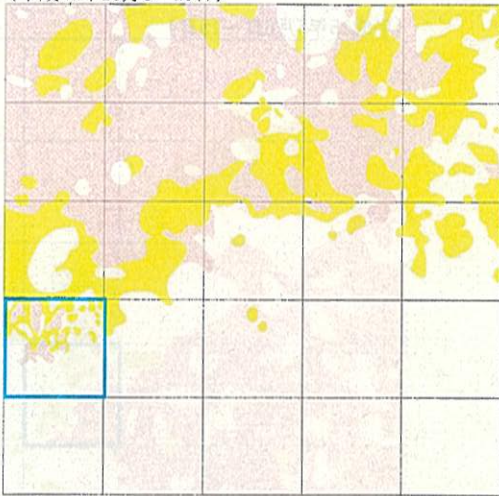


(凡例)

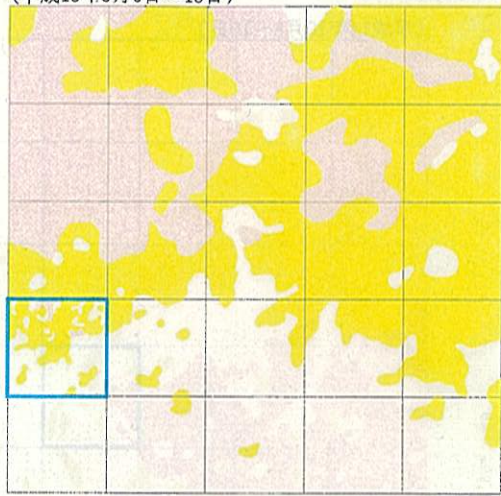
- 試験移植海草類 50%以上
- 試験移植海草類 10-50%
- 試験移植海草類 10%未満
- 既存海草類 50%以上
- 既存海草類 10-50%
- 既存海草類 10%未満
- 2m×2mのコードラート

付図2-1(17) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.q

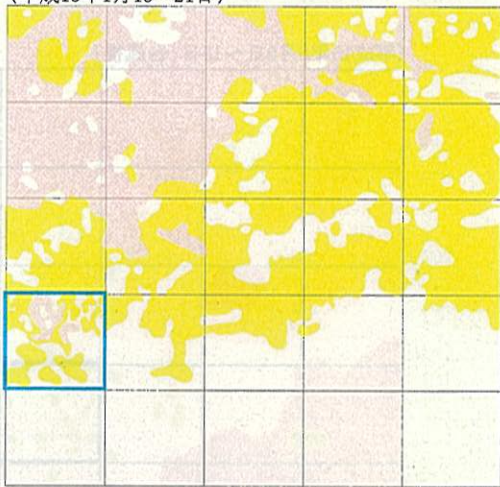
(平成14年10月8~10日)



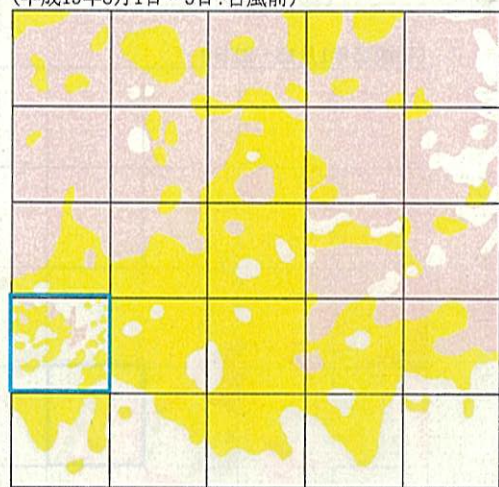
(平成15年5月6日~15日)



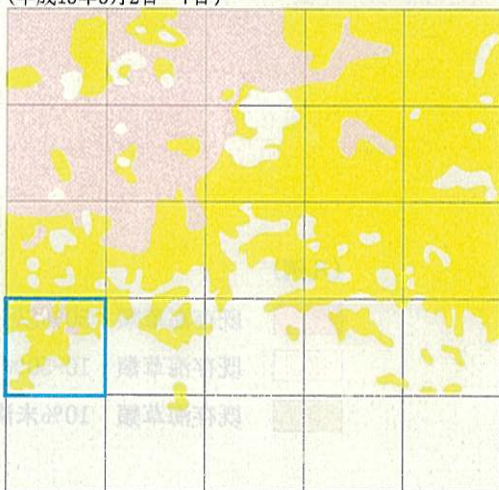
(平成15年1月15~21日)



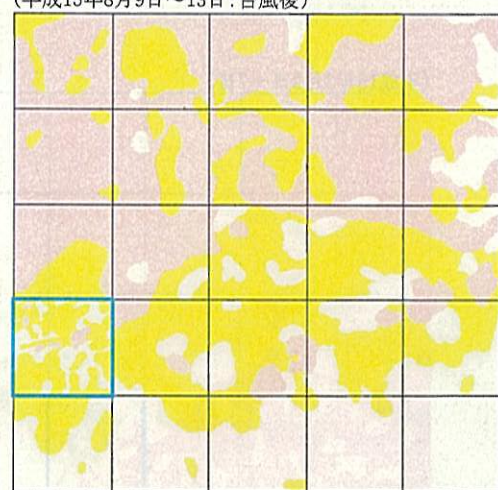
(平成15年8月1日~5日:台風前)



(平成15年3月2日~7日)



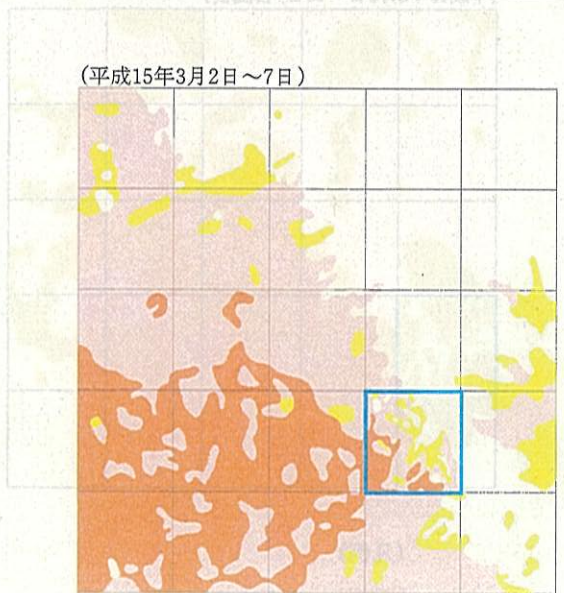
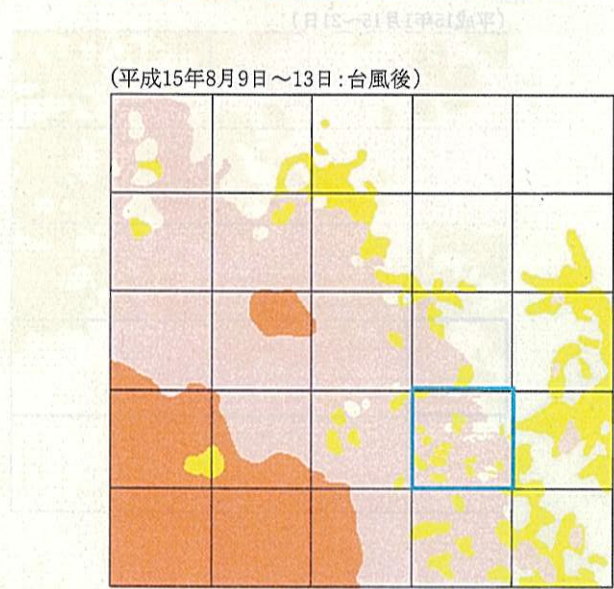
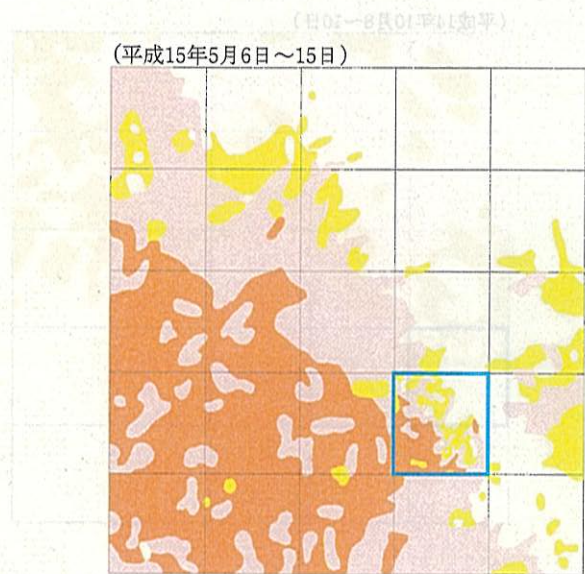
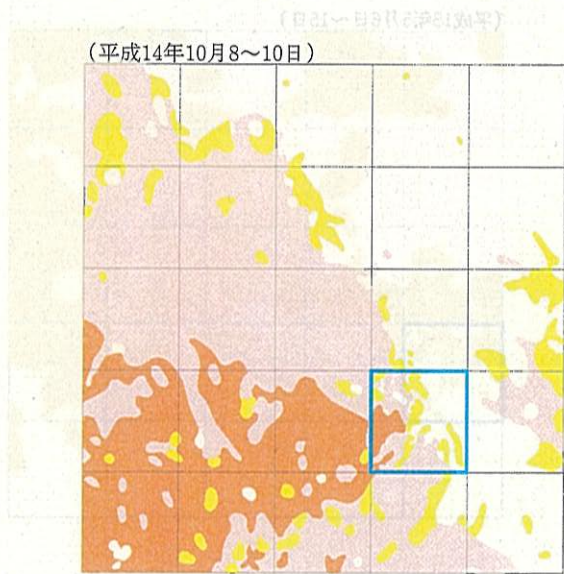
(平成15年8月9日~13日:台風後)



(凡例)

- 既存海草類 50%以上
- 既存海草類 10-50%
- 既存海草類 10%未満

付図2-1(18) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.1



(凡例)

- 既存海草類 50%以上
- 既存海草類 10-50%
- 既存海草類 10%未満

既存海草類 50%以上
 既存海草類 10-50%
 既存海草類 10%未満

付図2-1(19) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験) : St.ロ

(平成14年10月8~10日)



(平成15年5月6日~15日)



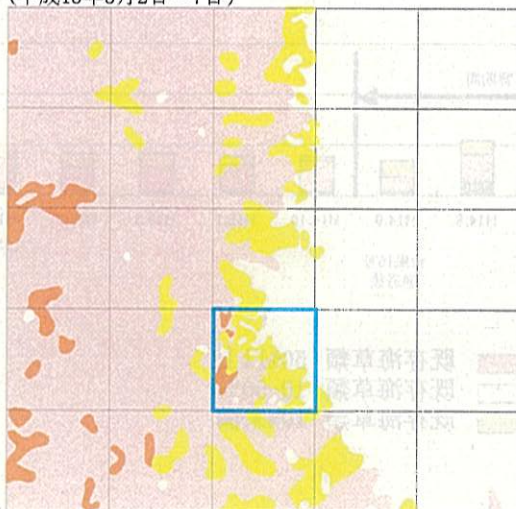
(平成15年1月15~21日)



(平成15年8月9日~13日:台風後)



(平成15年3月2日~7日)

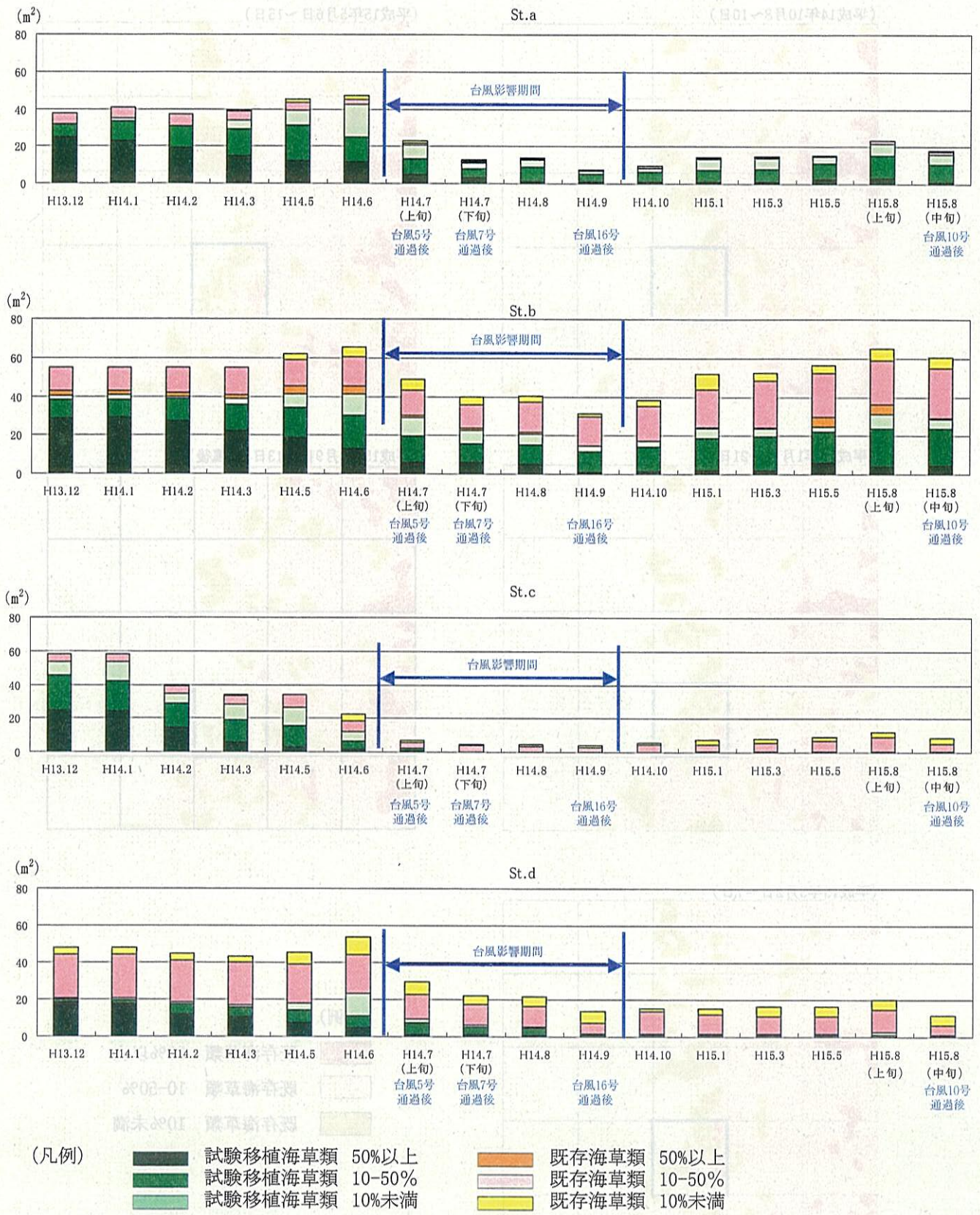


(凡例)

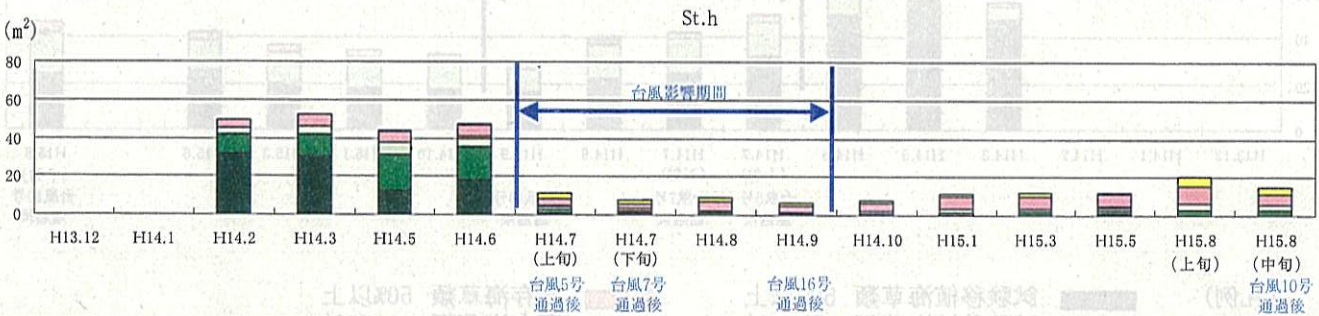
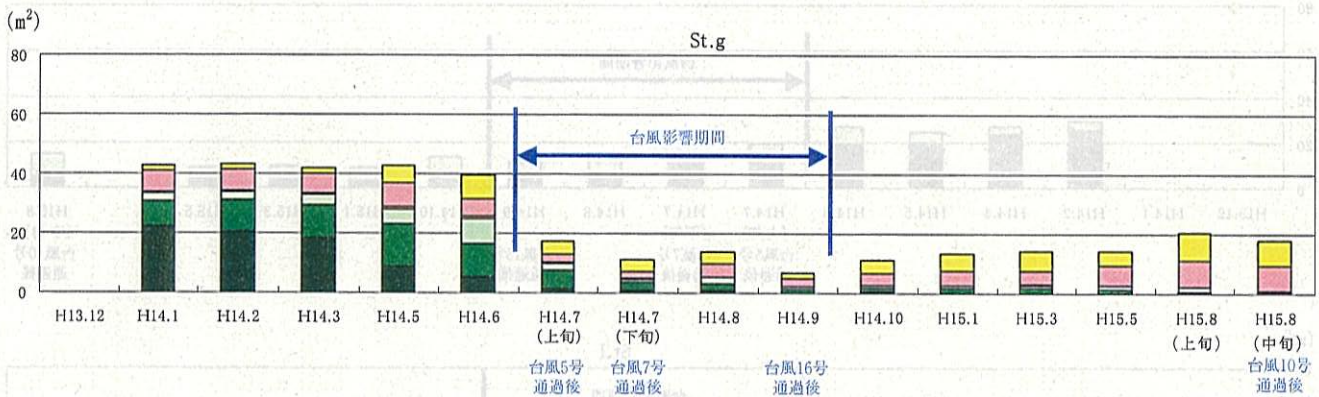
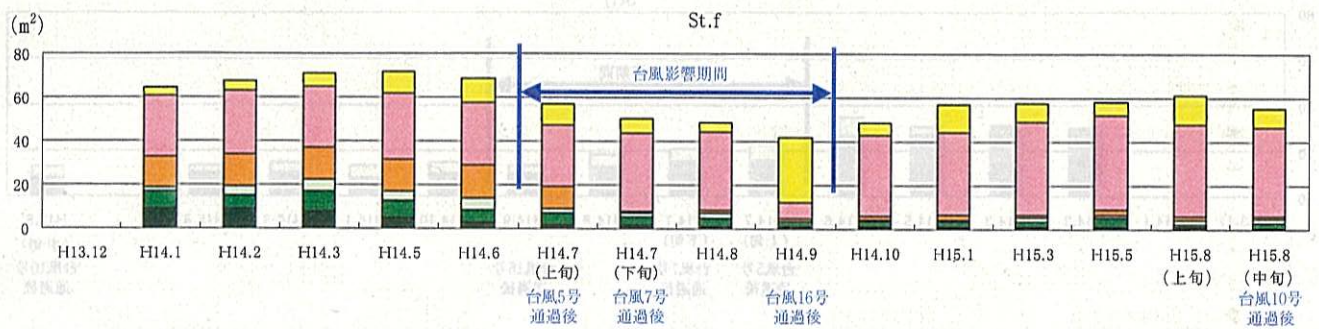
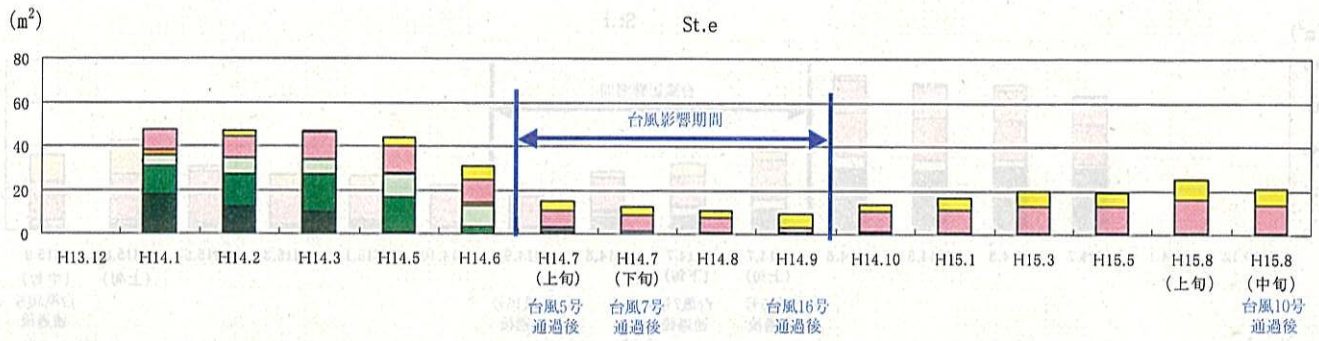
- 既存海草類 50%以上
- 既存海草類 10~50%
- 既存海草類 10%未満

(図2-1(20) 10m×10mコードラートの海草の分布状況(広域移植実験): St.ハ)

付図2-1(20) 10m×10mコードラート内の海草の分布状況(広域移植実験): St.ハ

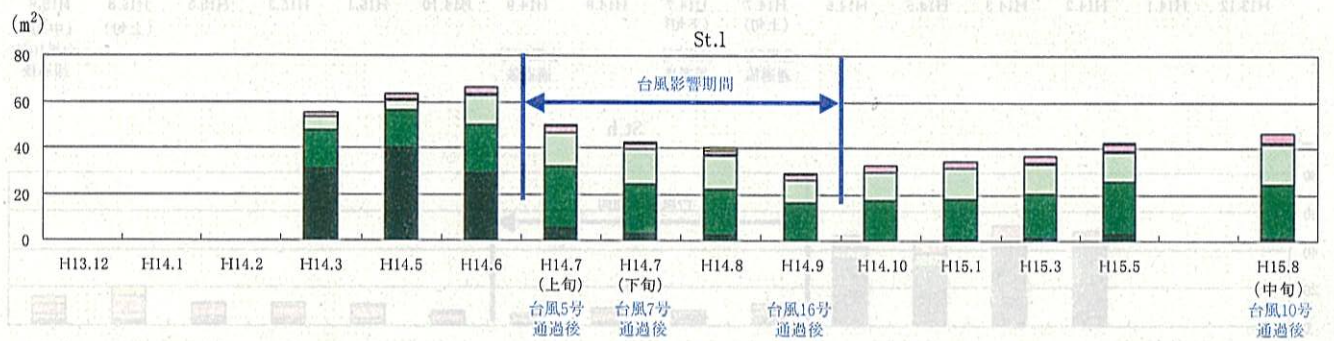
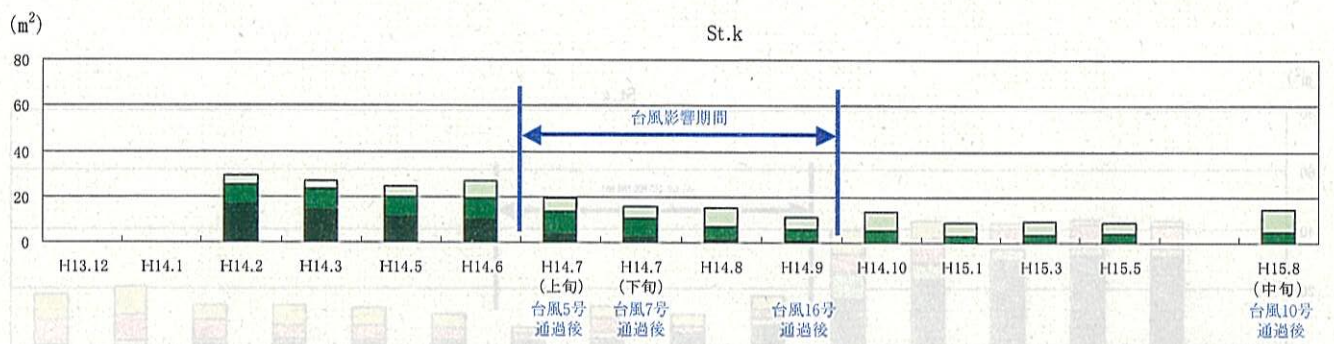
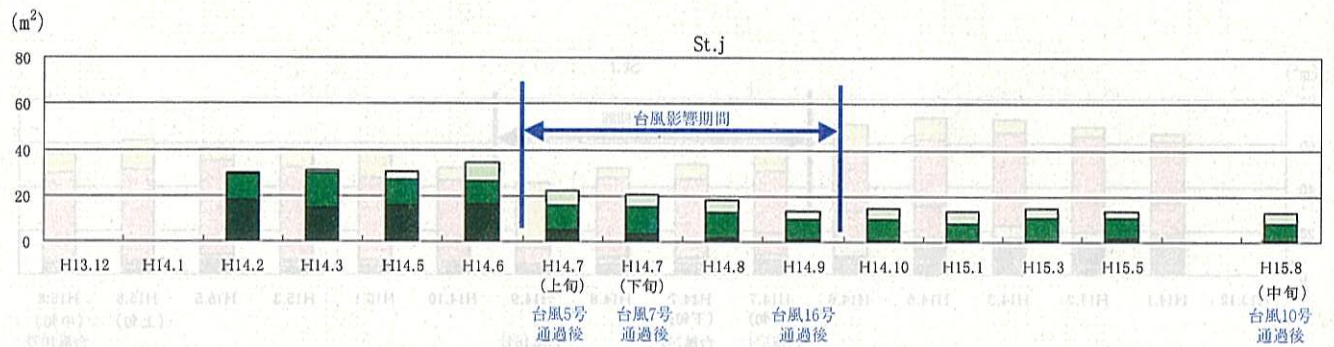
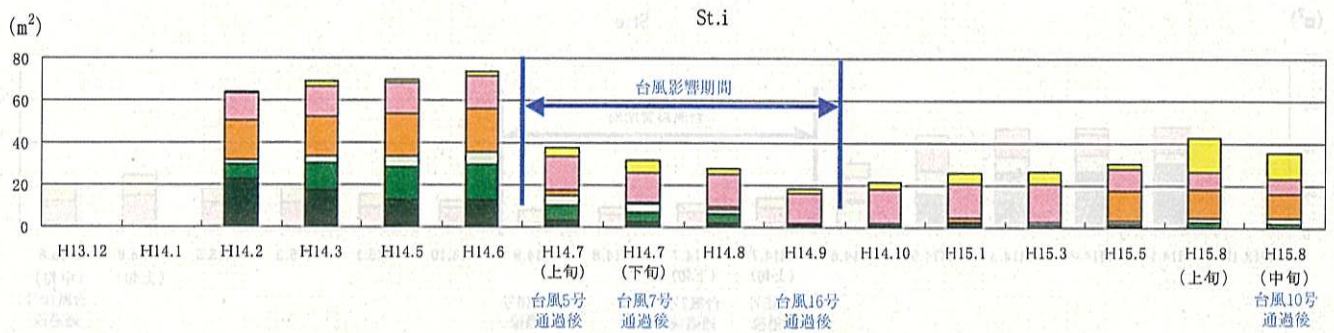


付図 2-2(1) 10m×10m コードラート内の生育面積の変化 (広域移植実験)









- (凡例)
- | | |
|---|---|
| 試験移植海草類 50%以上 | 既存海草類 50%以上 |
| 試験移植海草類 10-50% | 既存海草類 10-50% |
| 試験移植海草類 10%未満 | 既存海草類 10%未満 |

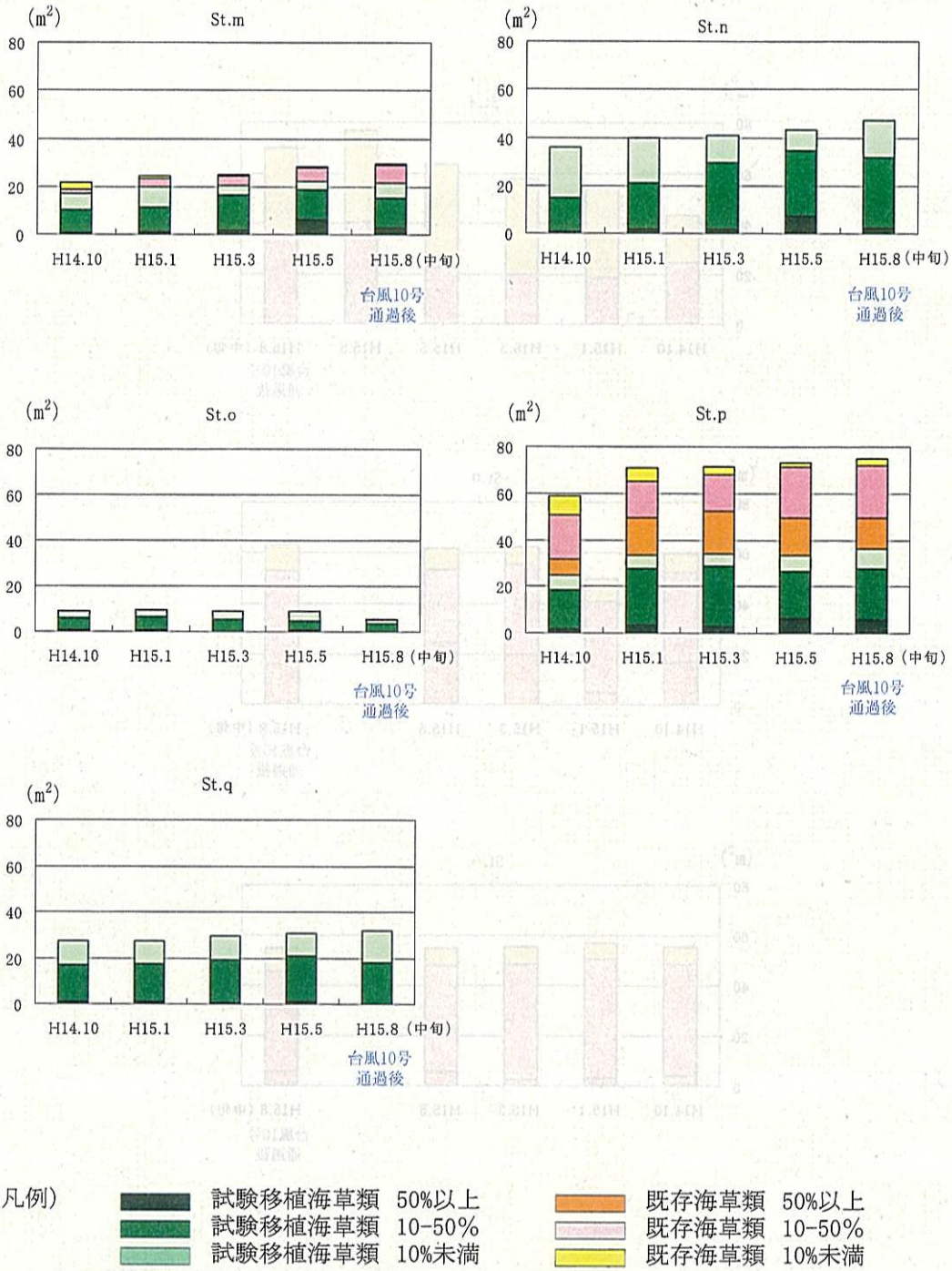
付図 2-2(2) 10m×10m コードラート内の生育面積の変化 (広域移植実験)



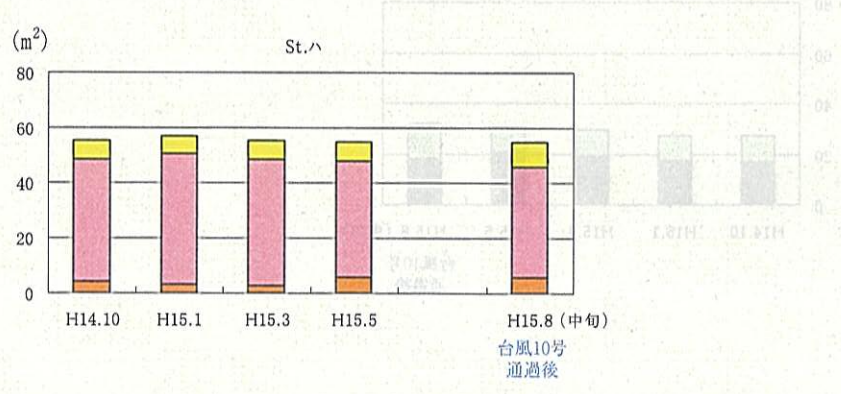
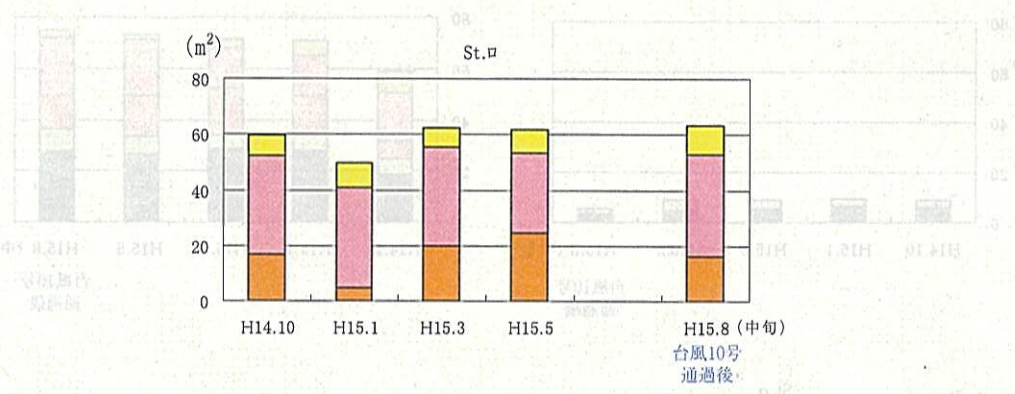
(凡例)

- | | | | |
|---|----------------|---|--------------|
|  | 試験移植海草類 50%以上 |  | 既存海草類 50%以上 |
|  | 試験移植海草類 10-50% |  | 既存海草類 10-50% |
|  | 試験移植海草類 10%未満 |  | 既存海草類 10%未満 |

付図 2-2(3) 10m×10m コードラート内の生育面積の変化 (広域移植実験)



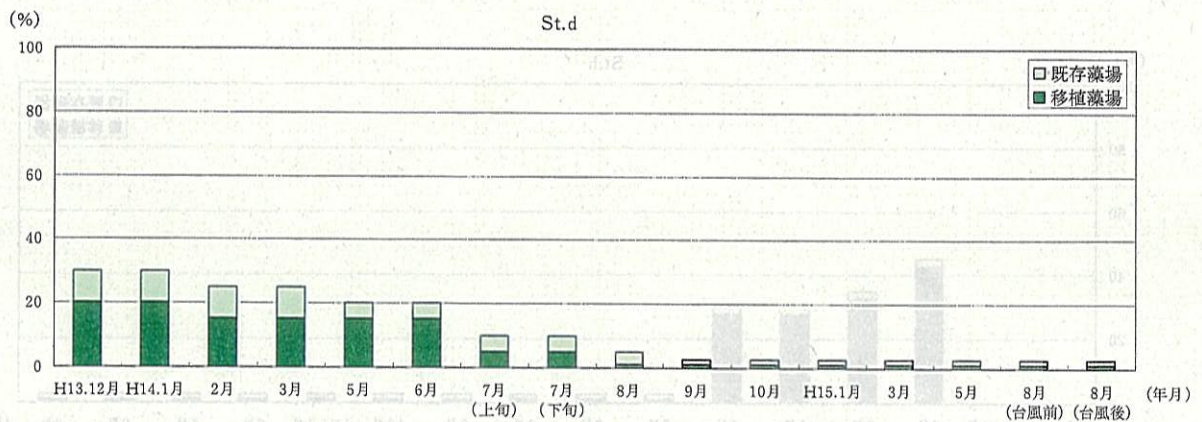
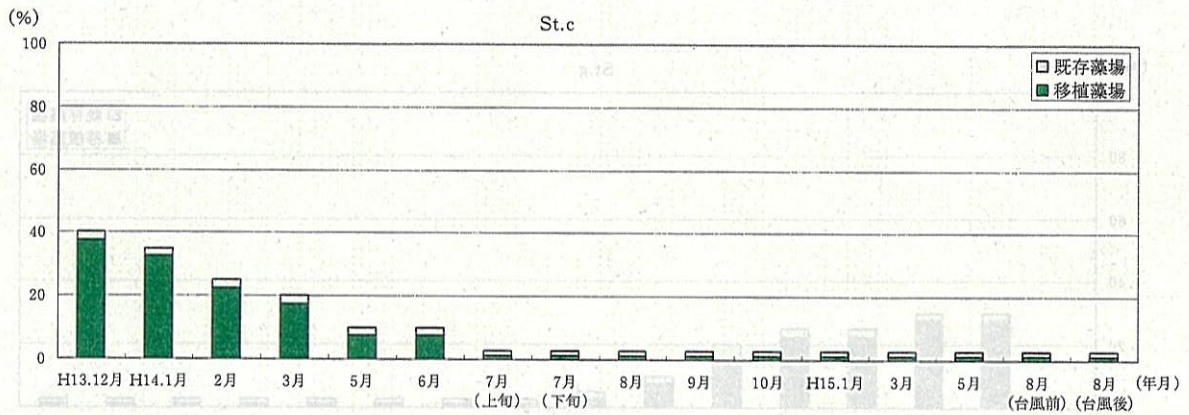
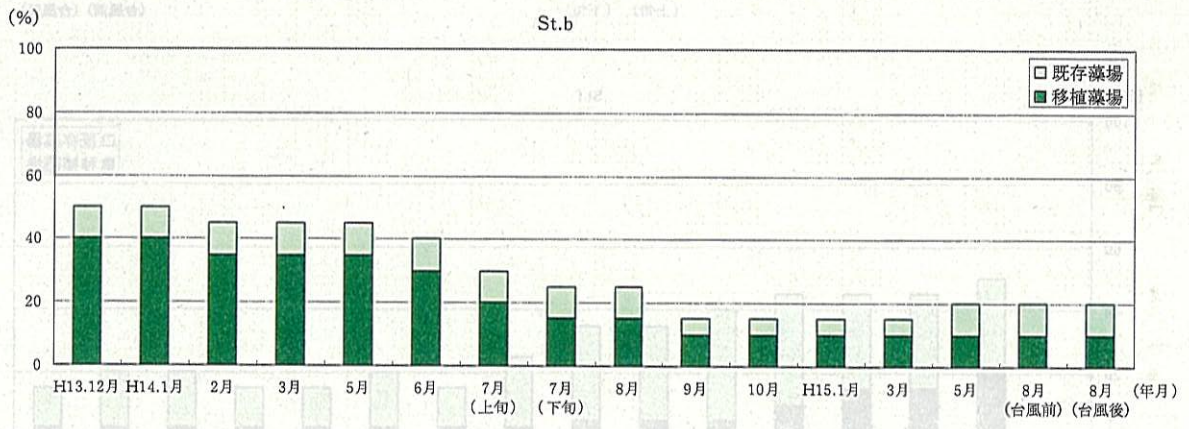
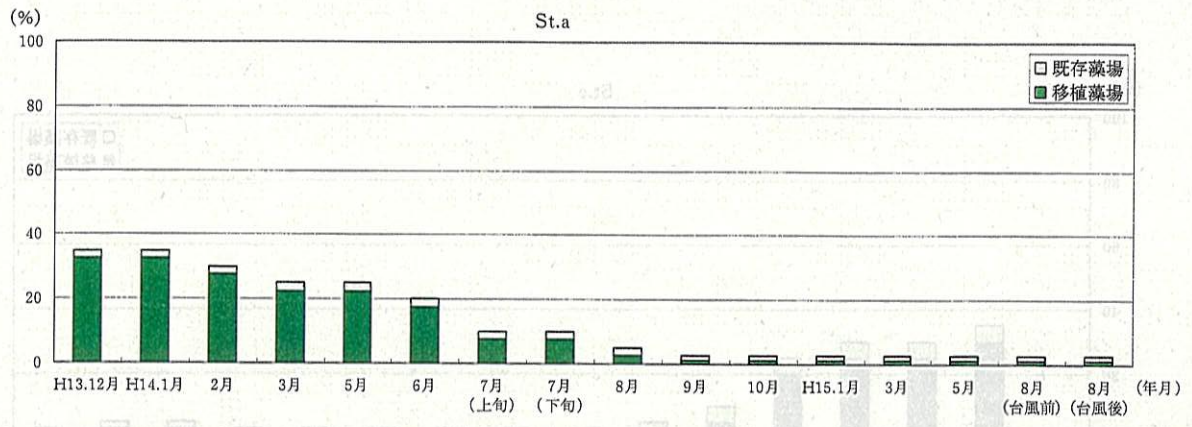
付図 2-2(4) 10m×10mコードラート内の生育面積の変化 (広域移植実験)



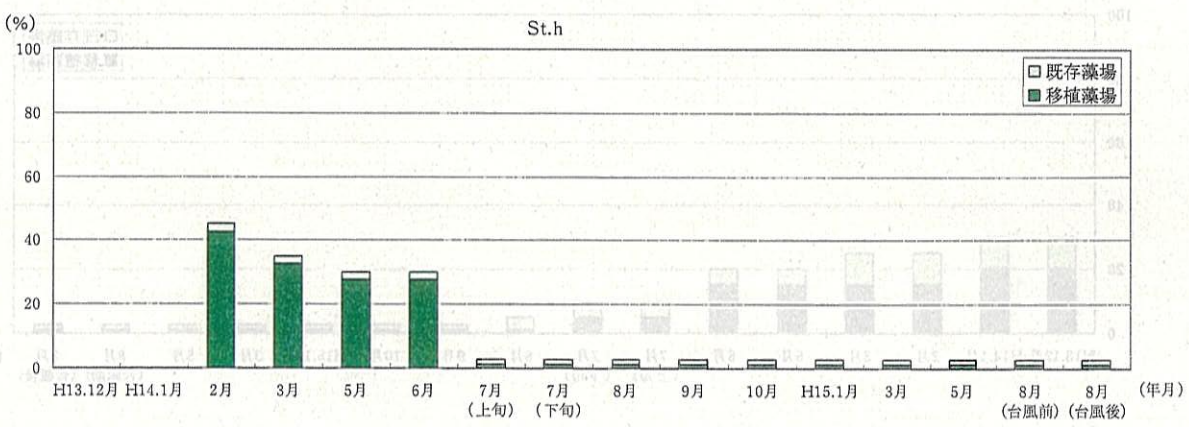
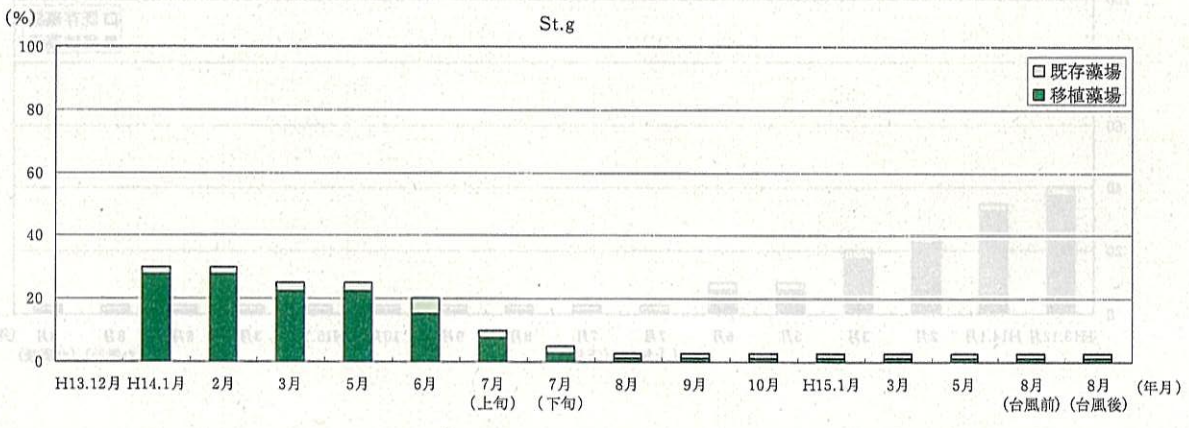
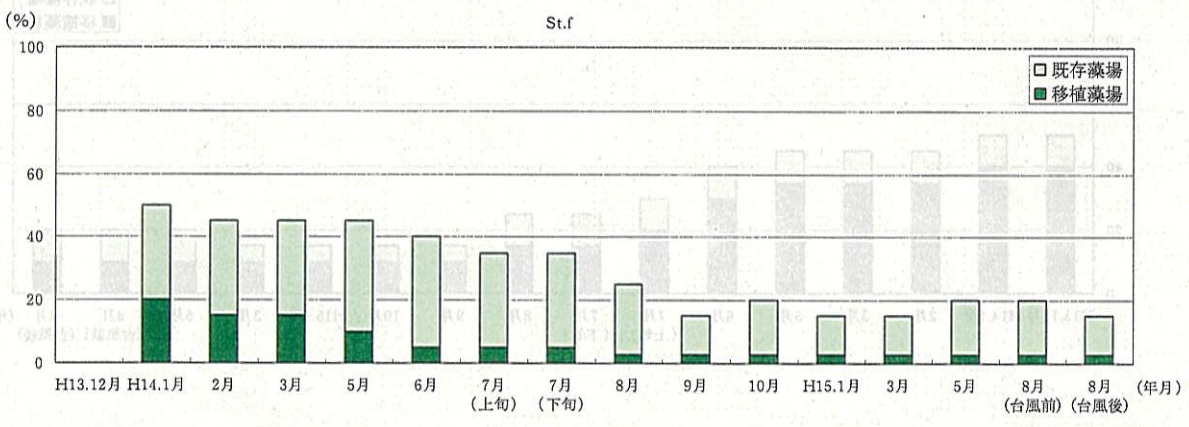
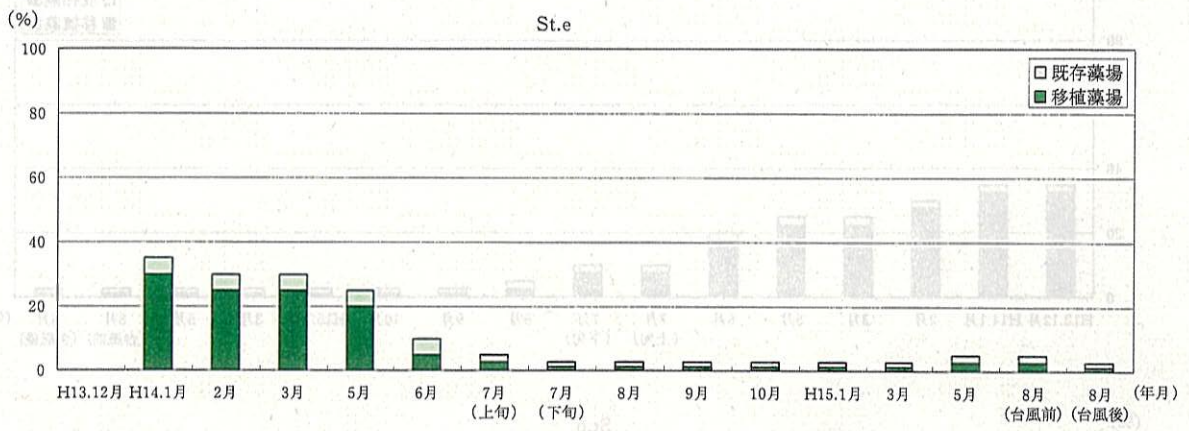
50%以上 既存海草類 (orange)
 10-50% 既存海草類 (pink)
 10%未満 既存海草類 (yellow)

(凡例) 既存海草類 50%以上 (orange)
 既存海草類 10-50% (pink)
 既存海草類 10%未満 (yellow)

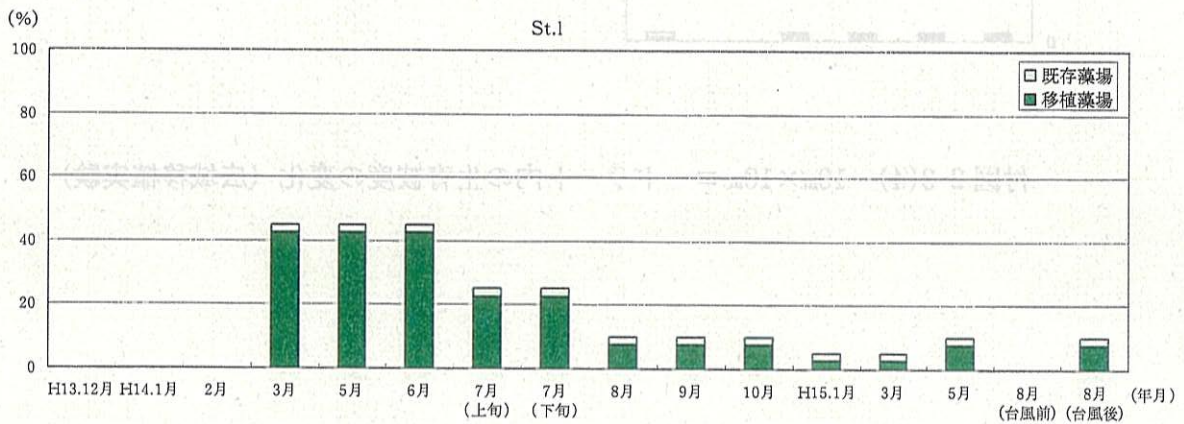
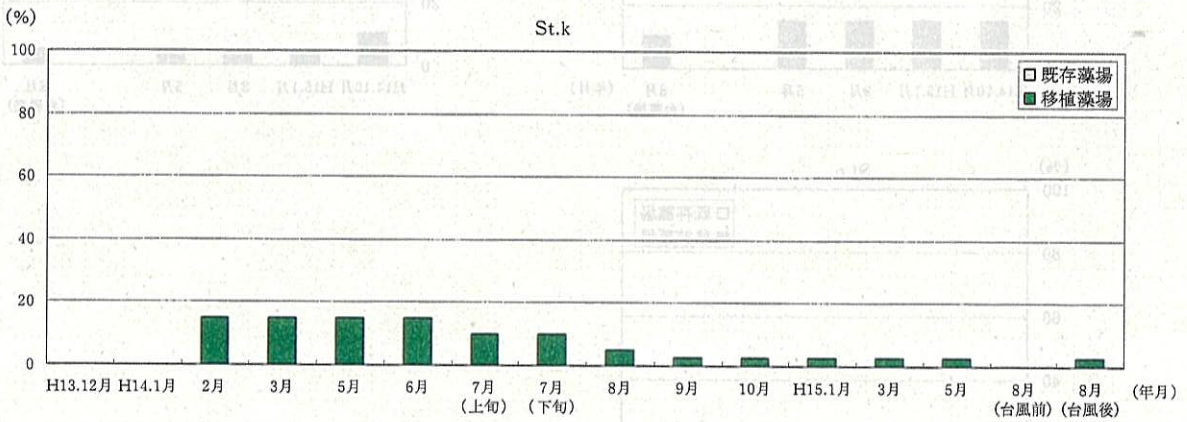
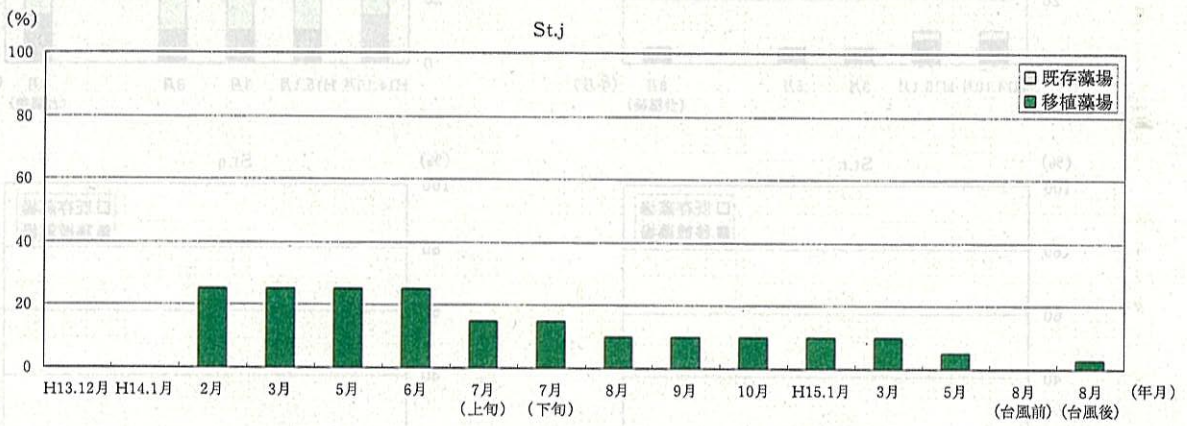
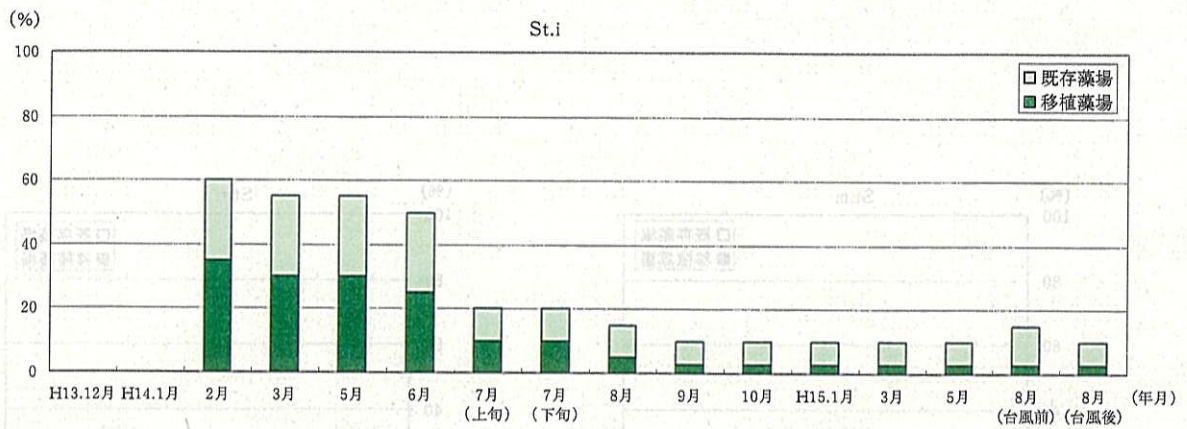
付図 2-2(5) 10m×10mコードラート内の生育面積の変化 (広域移植実験)



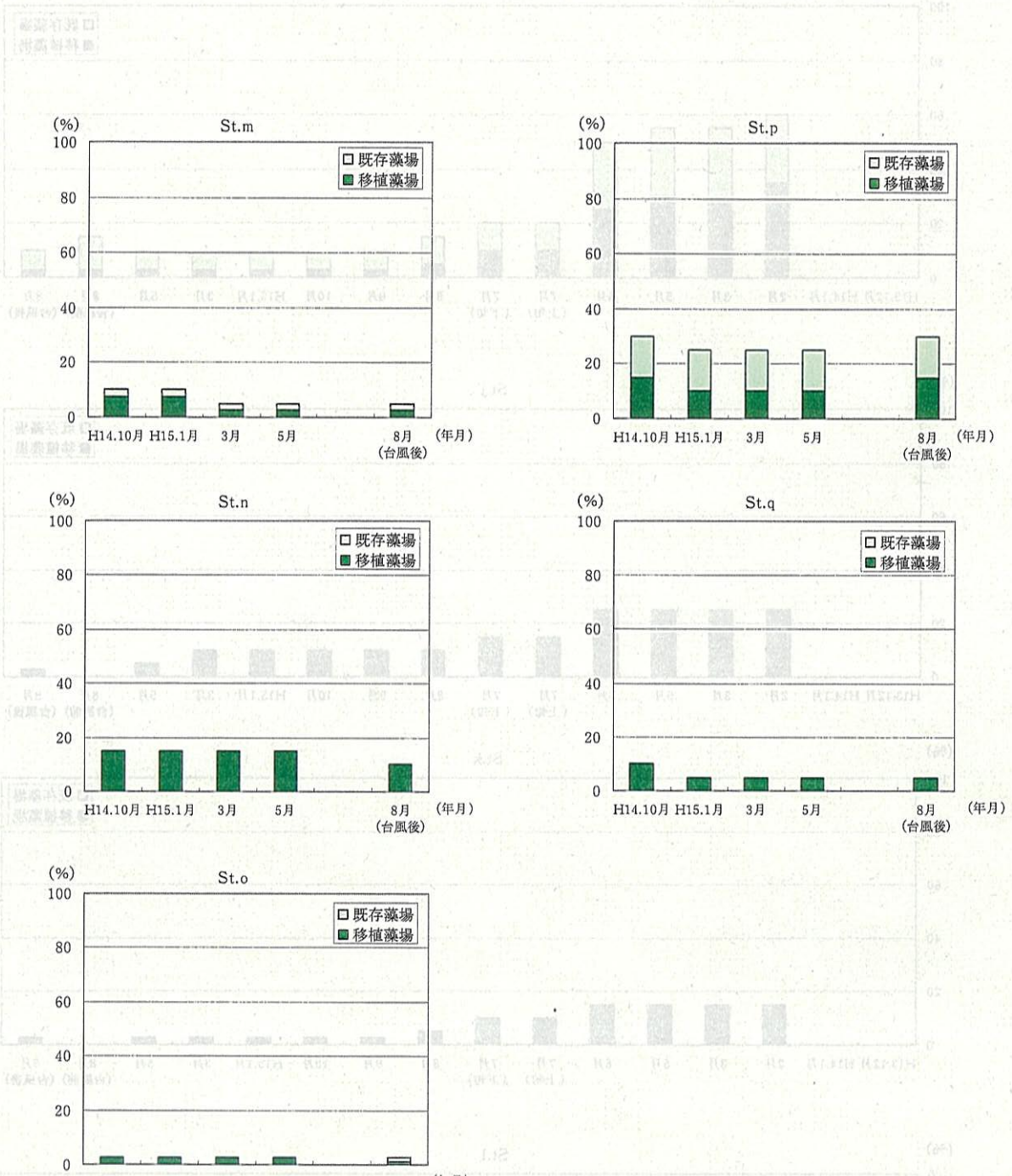
付図 2-3(1) 10m×10m コードラート内の生育被度の変化 (広域移植実験)



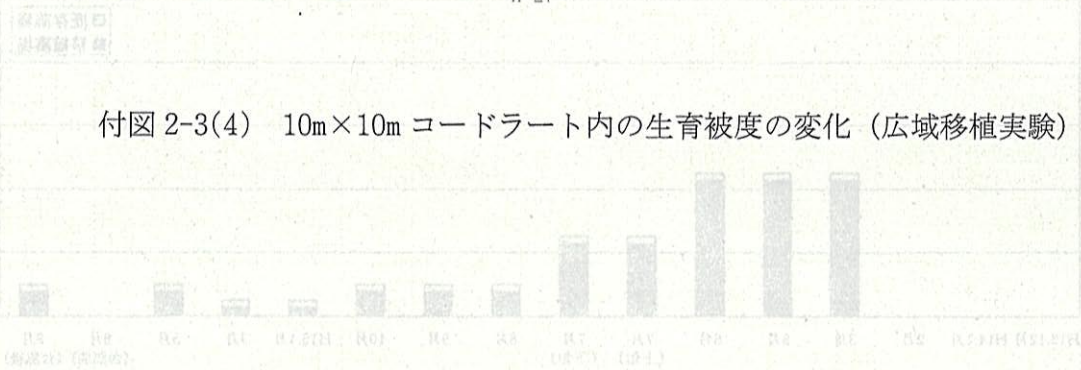
付図 2-3(2) 10m×10m コードラート内の生育被度の変化 (広域移植実験)



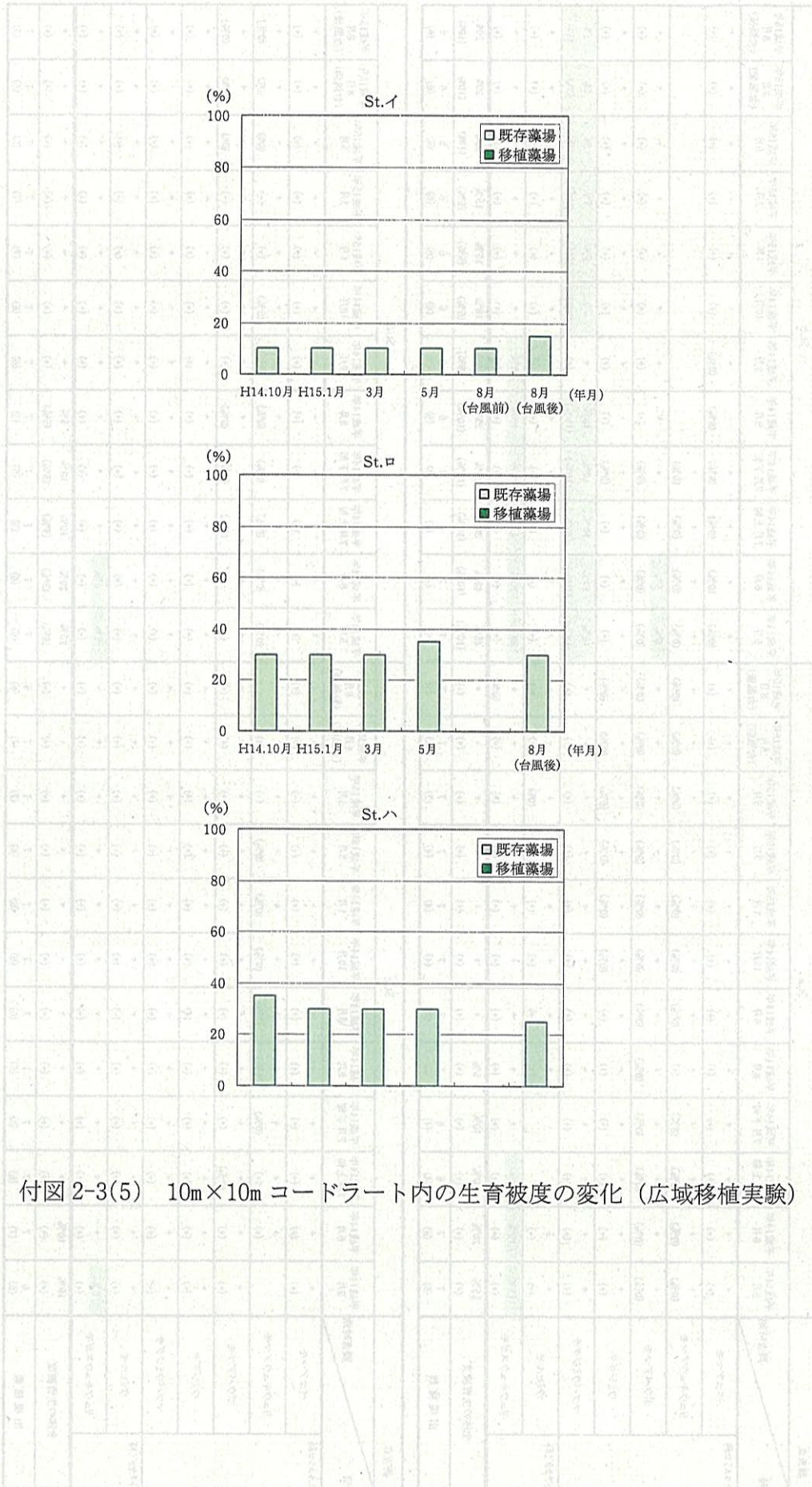
付図 2-3(3) 10m×10m コードラート内の生育被度の変化 (広域移植実験)



付図 2-3(4) 10m×10m コードラート内の生育被度の変化 (広域移植実験)



(鋼実研経経) 出表の奥育育中の内イーローコ 10m×10m (3) 図付



付図 2-3(5) 10m×10m コードラート内の生育被度の変化 (広域移植実験)

付表 2-1(3) 10m×10m コードラート内の主要構成種と種別生育被度 (広域移植実験)

調査点 種	Sl.i												Sl.j											
	平成14年 5月	平成14年 6月	平成14年 7月上旬	平成14年 7月下旬	平成14年8月 (台風前)	平成14年9月	平成14年10月	平成15年1月	平成15年3月	平成15年5月	平成15年8月 (台風前)	平成15年 (台風後)	平成14年 5月	平成14年 6月	平成14年 7月上旬	平成14年 7月下旬	平成14年8月 (台風前)	平成14年9月	平成14年10月	平成15年1月	平成15年3月	平成15年5月	平成15年8月 (台風前)	平成15年 (台風後)
ヒメジョオン科																								
ベニアマモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
リュウキユウアマモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
ボウフウアマモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
ウミシジクサ	10%	10%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%
マツバクミジクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
ウミヒルモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
リュウキユウアマモ	35%	35%	10%	10%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%
全体の生育被度	55%	50%	20%	20%	15%	15%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
出現種数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

調査点 種	Sl.i												Sl.j											
	平成14年 5月	平成14年 6月	平成14年 7月上旬	平成14年 7月下旬	平成14年8月 (台風前)	平成14年9月	平成14年10月	平成15年1月	平成15年3月	平成15年5月	平成15年8月 (台風前)	平成15年 (台風後)	平成14年 5月	平成14年 6月	平成14年 7月上旬	平成14年 7月下旬	平成14年8月 (台風前)	平成14年9月	平成14年10月	平成15年1月	平成15年3月	平成15年5月	平成15年8月 (台風前)	平成15年 (台風後)
ヒメジョオン科																								
ベニアマモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
リュウキユウアマモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
ボウフウアマモ	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%
ウミシジクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
マツバクミジクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
ウミヒルモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
リュウキユウアマモ	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%
全体の生育被度	15%	15%	10%	10%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%
出現種数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

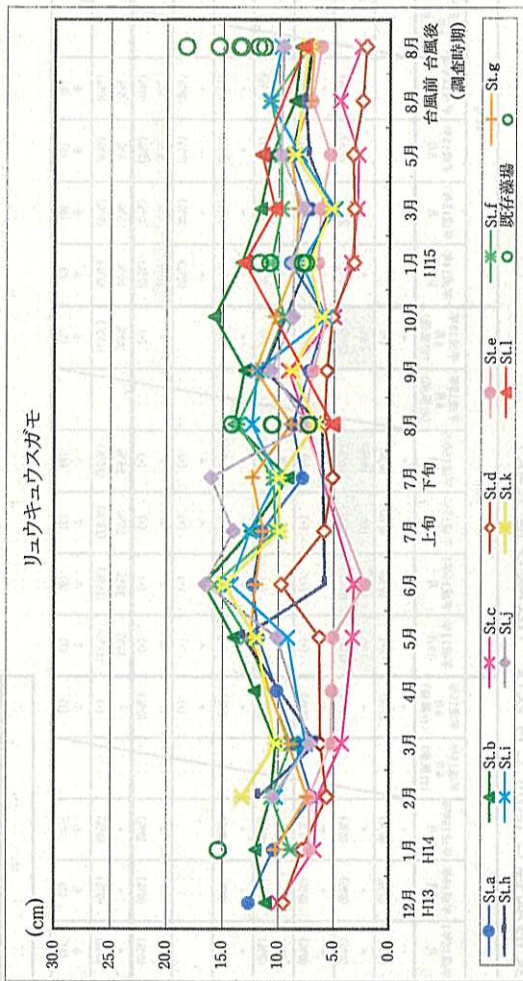
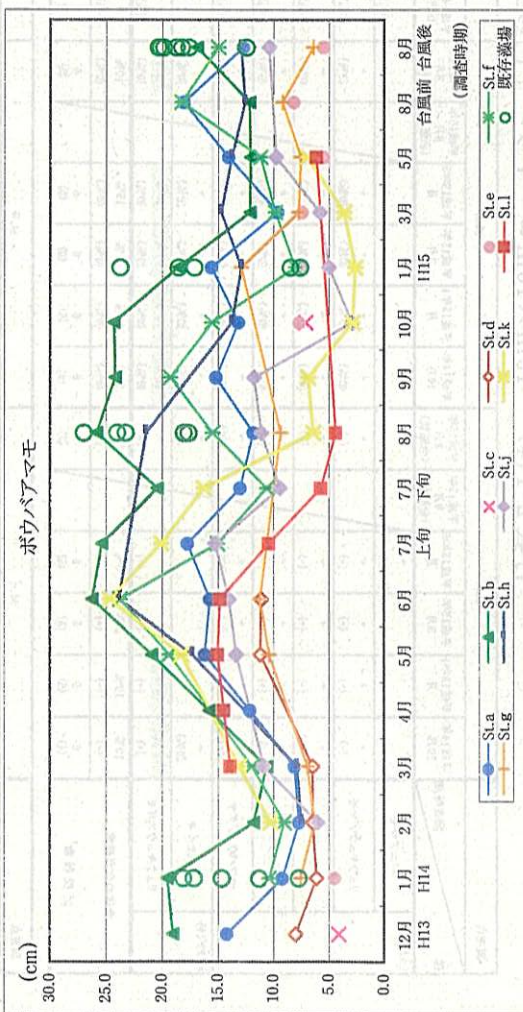
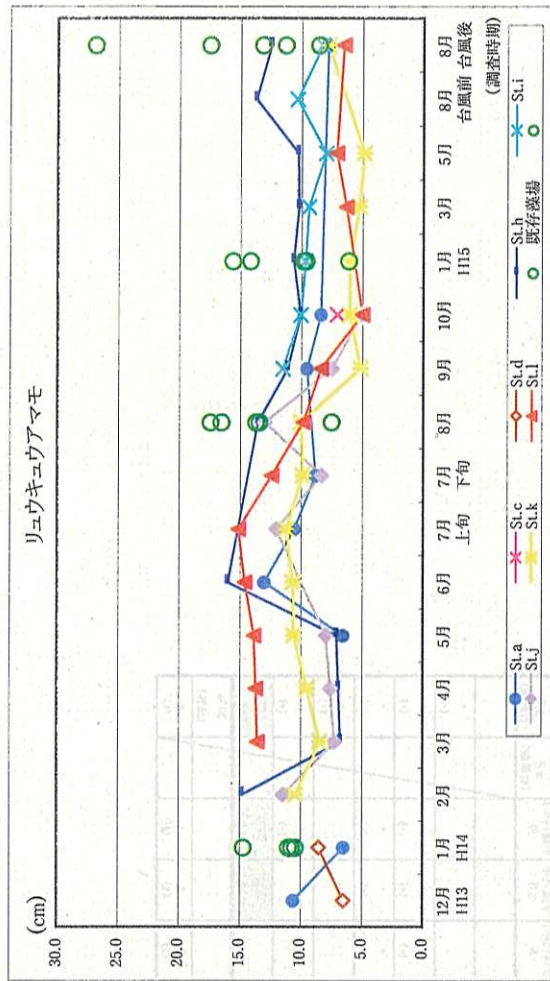
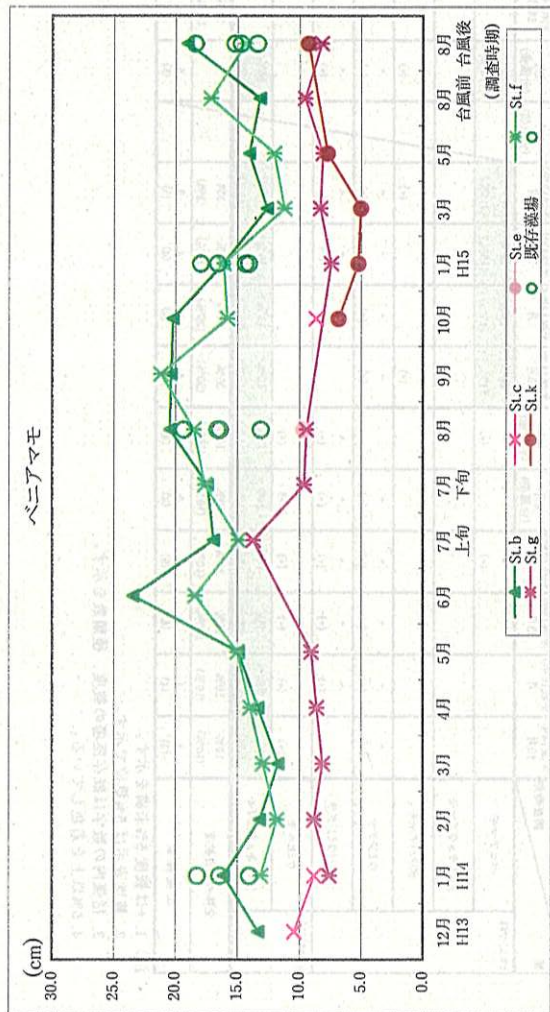
(注) 1. +は被度5%未満を示す。
 2. 被度表示は5%単位で示す。
 3. 括弧内の数字は既存藻場の被度、種類数を示す。
 4. 5%以上を着色している。

付表 2-1(4) 10m×10m コードラート内の主要構成種と種別生育被度 (広域移植実験)

調査点 種	st.m				st.n				st.o				st.p				st.q			
	平成14年 10月	平成15年1 3月	平成15年5 月	平成15年 8月	平成14年 10月	平成15年1 3月	平成15年5 月	平成15年 8月	平成14年 10月	平成15年1 3月	平成15年5 月	平成15年 8月	平成14年 10月	平成15年1 3月	平成15年5 月	平成15年 8月	平成14年 10月	平成15年1 3月	平成15年5 月	平成15年 8月
シラス科																				
ベンリアマモ																				
リュウキエウアマモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
ボウバアマモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
ウミシジクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
マツバウミシジクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
ウミヒレモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
リュウキエウアマモ	5%	5%	5%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
全体の生育被度	10%	10%	10%	10%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%
出現種数	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

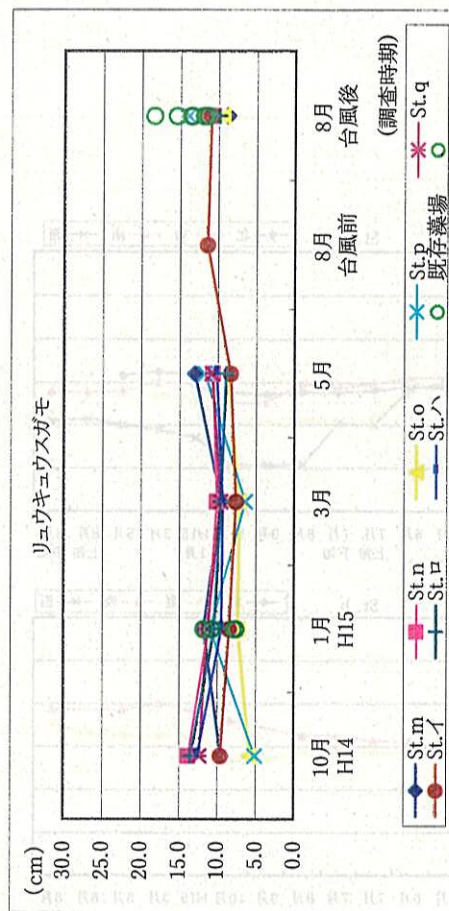
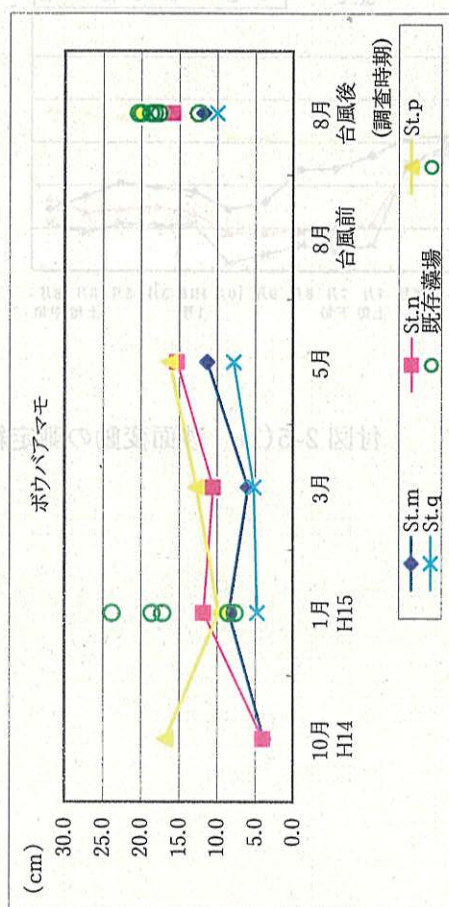
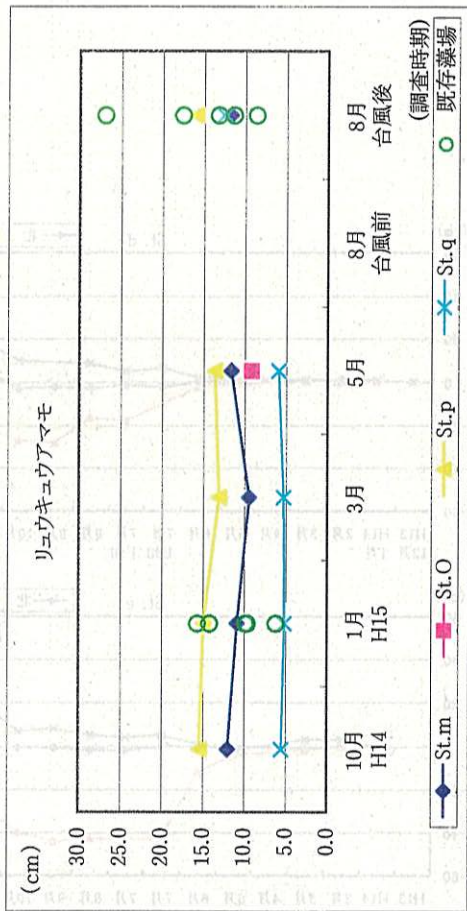
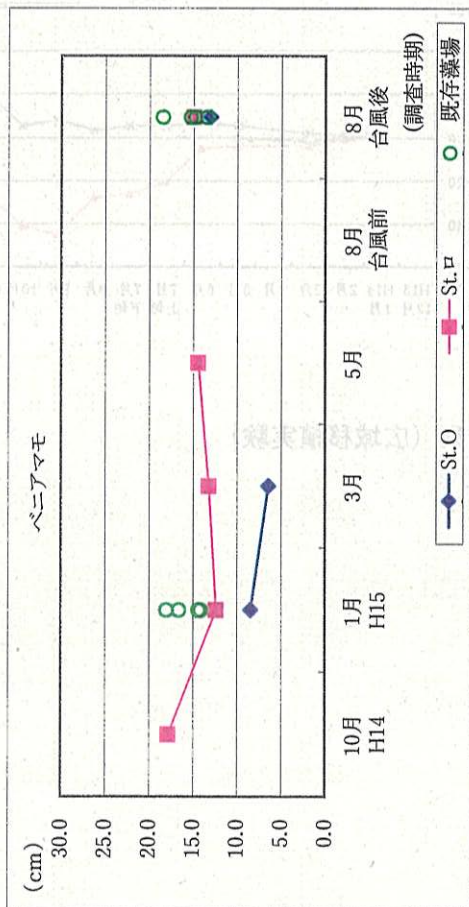
調査点 種	st.l				st.p				st.r							
	平成14年 10月	平成15年1 3月	平成15年5 月	平成15年 8月	平成14年 10月	平成15年1 3月	平成15年5 月	平成15年 8月	平成14年 10月	平成15年1 3月	平成15年5 月	平成15年 8月	平成14年 10月	平成15年1 3月	平成15年5 月	平成15年 8月
シラス科																
ベンリアマモ																
リュウキエウアマモ																
ボウバアマモ																
ウミシジクサ																
マツバウミシジクサ																
ウミヒレモ																
リュウキエウアマモ	5%	5%	5%	5%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
全体の生育被度	10%	10%	10%	10%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%
出現種数	3	4	5	4	4	4	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4

注) 1. +は被度 5%未満を示す。
 2. 被度表示は 5%単位で示す。
 3. 括弧内の数字は既存藻場の被度、種類数を示す。
 4. 5%以上を着色している。



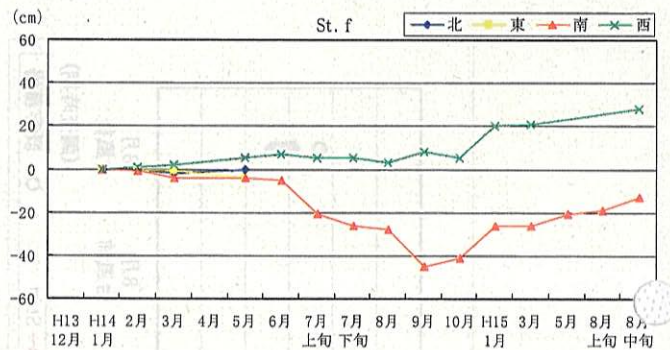
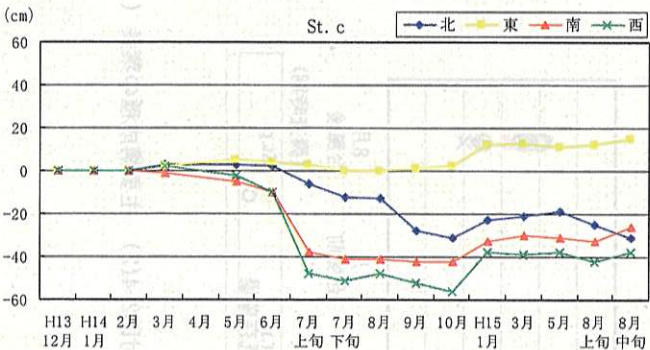
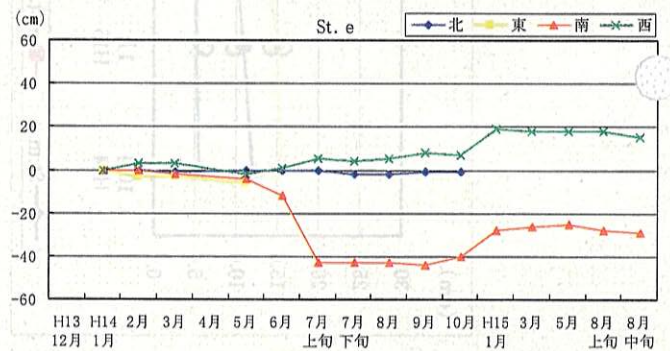
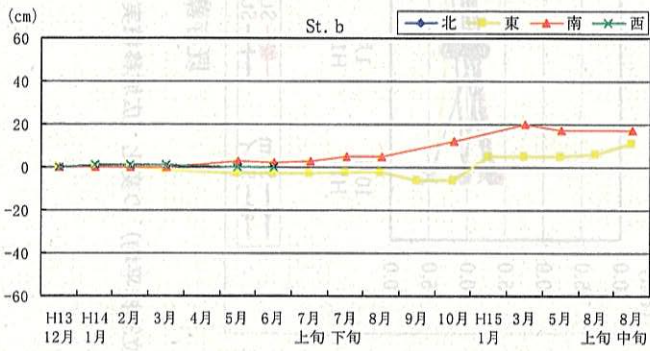
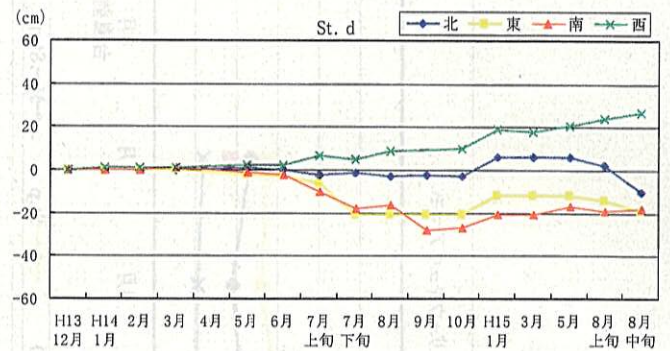
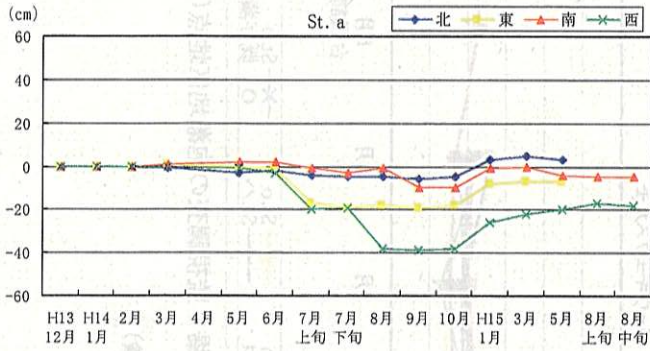
既存藻場：監視調査の泡瀬地区地点(St. 1~5, 9, 10)

付図2-4(1) 主要構成種の葉長 (上位30株平均) の変化 (広域移植実験)

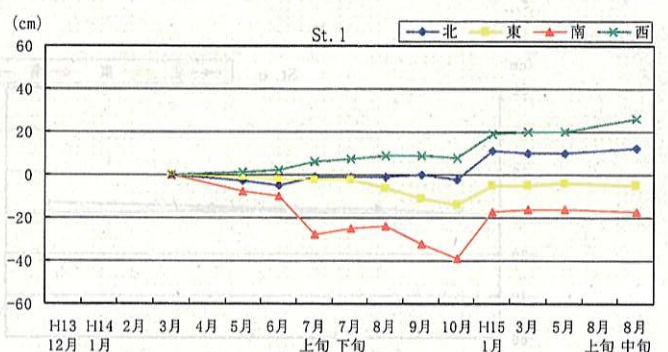
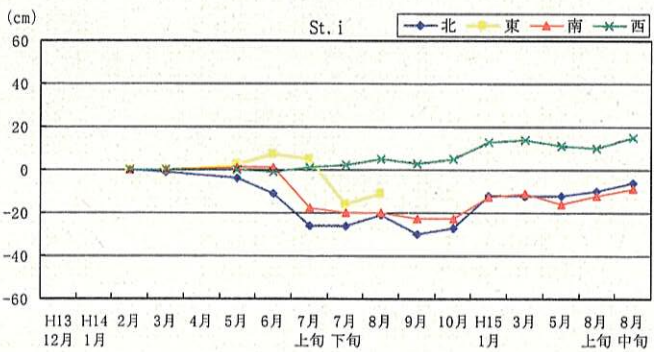
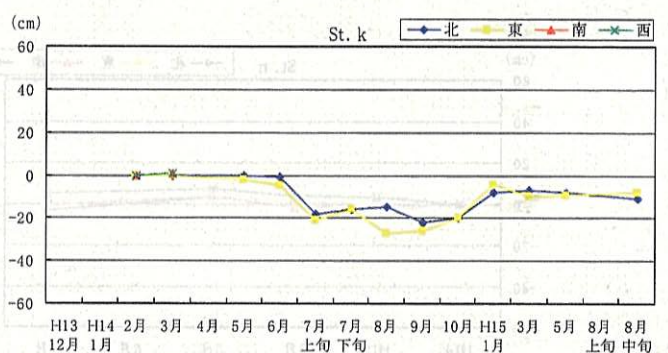
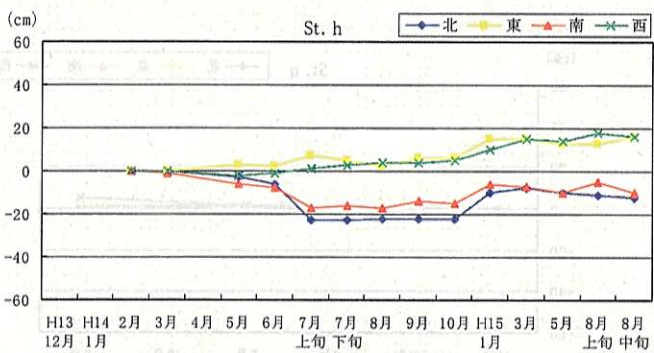
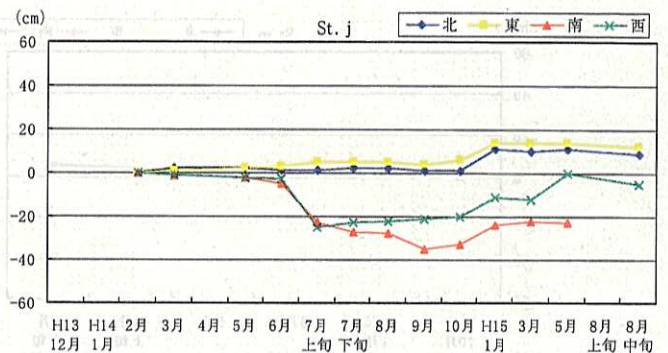
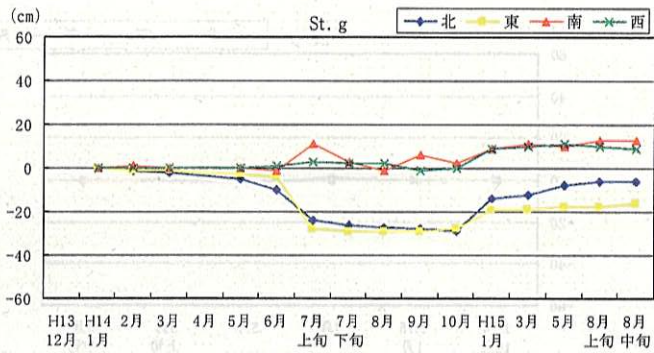


既存藻場：監視調査の泡瀬地区地点(St.1~5,9,10)

付図2-4(2) 主要構成種の葉長 (上位30株平均) の変化 (広域移植実験)

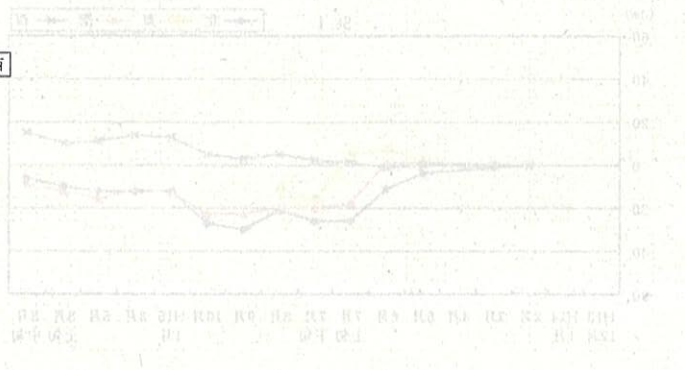
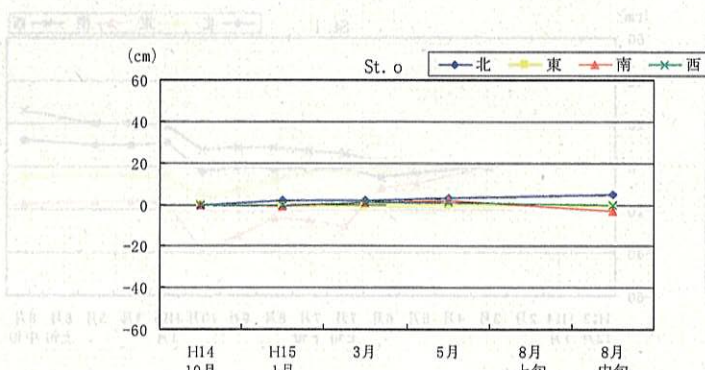
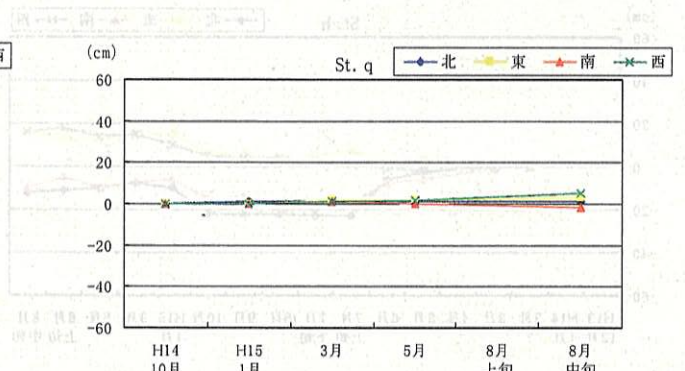
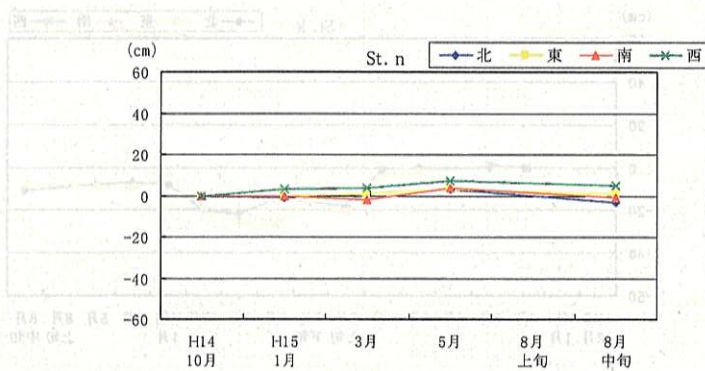
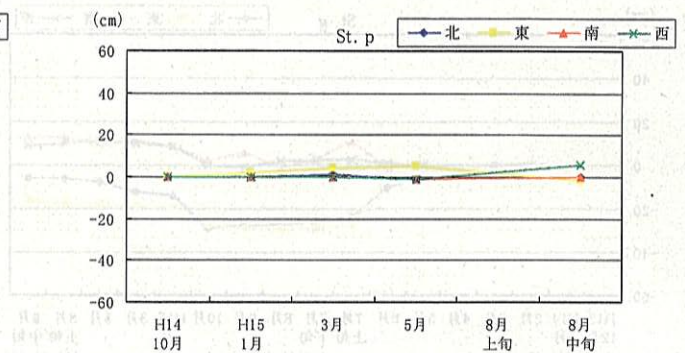
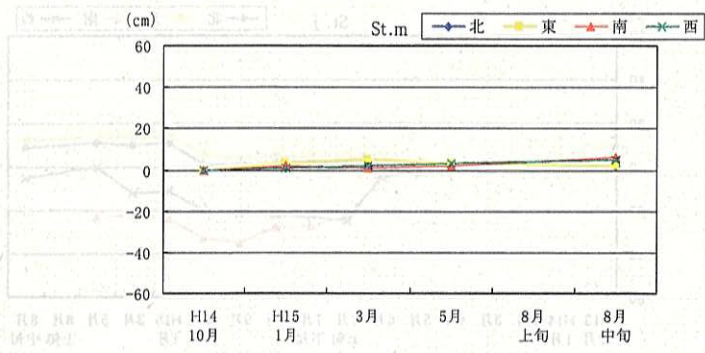


付図 2-5(1) 砂面変動の測定結果 (広域移植実験)

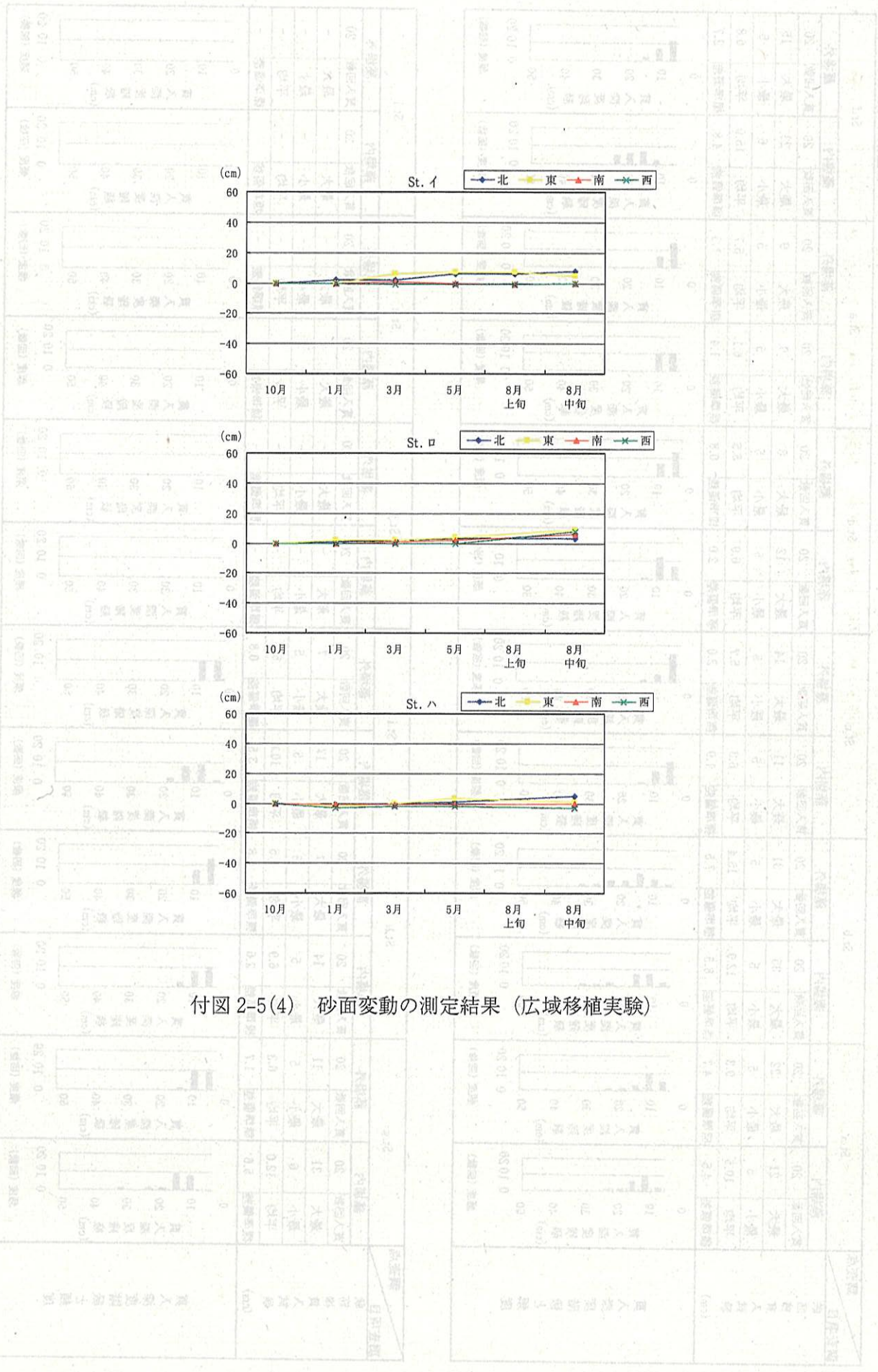


付図 2-5(2) 砂面変動の測定結果 (広域移植実験)

(複製前巻第15) 果樹家畜の飼育管理 (8) 2-5 図11



(列式計算表) 果樹宝樹の圃変面 (S) 2-5 図付
 付図 2-5(3) 砂面変動の測定結果 (広域移植実験)



付図 2-5(4) 砂面変動の測定結果 (広域移植実験)

付表2-2(1) 底質貫入試験結果 [8月上旬] (広域移植実験)

調査期日:平成16年8月1~5日

調査項目 調査点	St.a				St.b				St.c				St.d				St.e				St.f														
	葉場内		葉場外		葉場内		葉場外		葉場内		葉場外		葉場内		葉場外		葉場内		葉場外		葉場内		葉場外												
	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差										
鉄筋棒貫入試験 (cm)	20	22	5	9.3	4.7	20	31	5	15.4	7.5	20	14	5	5.7	2.0	20	12	5	6.9	2.0	20	9	5	6.1	1.4	20	9	5	5.7	1.3	20	23	6	15.9	4.8
貫入深度階級と頻度																																			

調査項目 調査点	St.g				St.h				St.i				St.j				St.k				St.l														
	葉場内		葉場外		葉場内		葉場外		葉場内		葉場外		葉場内		葉場外		葉場内		葉場外		葉場内		葉場外		葉場内		葉場外								
	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差	貫入回数	最大	最小	平均	標準偏差					
鉄筋棒貫入試験 (cm)	20	11	5	6.3	1.7	20	7	5	5.5	0.8	20	17	5	10.8	3.5	20	7	5	5.7	0.8	20	12	5	6.9	2.6	20	14	5	6.9	2.0	20	9	5	6.1	1.4
貫入深度階級と頻度																																			

(注) φ8mmの鉄筋棒を用いた。

付表2-3(1) 底質貫入試験結果 [8月中旬] (広域移植実験)

調査項目	St.a			St.b			St.c			St.d			St.e			St.f		
	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度
鉄筋挿入試験 (cm)	貫入回数 20 最大 17 最小 5 平均 9.3 標準偏差 3.5	貫入回数 20 最大 38 最小 5 平均 13.8 標準偏差 8.5	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 8 最小 5 平均 5.4 標準偏差 0.8	貫入回数 3 最大 9 最小 5 平均 7.3 標準偏差 2.1	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 16 最小 5 平均 8.6 標準偏差 2.8	貫入回数 20 最大 8 最小 5 平均 5.7 標準偏差 1.1	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 10 最小 5 平均 6.6 標準偏差 1.8	貫入回数 20 最大 14 最小 5 平均 7.5 標準偏差 2.7	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 34 最小 5 平均 16.6 標準偏差 8.9	貫入回数 20 最大 28 最小 5 平均 10.3 標準偏差 5.9	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 34 最小 5 平均 16.6 標準偏差 8.9	貫入回数 20 最大 28 最小 5 平均 10.3 標準偏差 5.9	頻度 (回數)
貫入深度階級と頻度																		

調査項目	St.g			St.h			St.i			St.j			St.k			St.l		
	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度	蒸場内	蒸場外	頻度
鉄筋挿入試験 (cm)	貫入回数 20 最大 43 最小 5 平均 14.9 標準偏差 8.8	貫入回数 20 最大 43 最小 5 平均 11.1 標準偏差 8.4	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 17 最小 5 平均 7.6 標準偏差 2.9	貫入回数 20 最大 9 最小 5 平均 6.0 標準偏差 1.4	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 21 最小 5 平均 10.6 標準偏差 4.2	貫入回数 20 最大 8 最小 5 平均 6.0 標準偏差 0.9	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 27 最小 5 平均 12.5 標準偏差 5.8	貫入回数 20 最大 9 最小 5 平均 6.1 標準偏差 1.3	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 10 最小 5 平均 7.1 標準偏差 1.6	貫入回数 20 最大 8 最小 5 平均 6.1 標準偏差 0.9	頻度 (回數)	貫入回数 20 最大 8 最小 5 平均 6.4 標準偏差 1.3	貫入回数 20 最大 8 最小 5 平均 6.2 標準偏差 1.2	頻度 (回數)
貫入深度階級と頻度																		

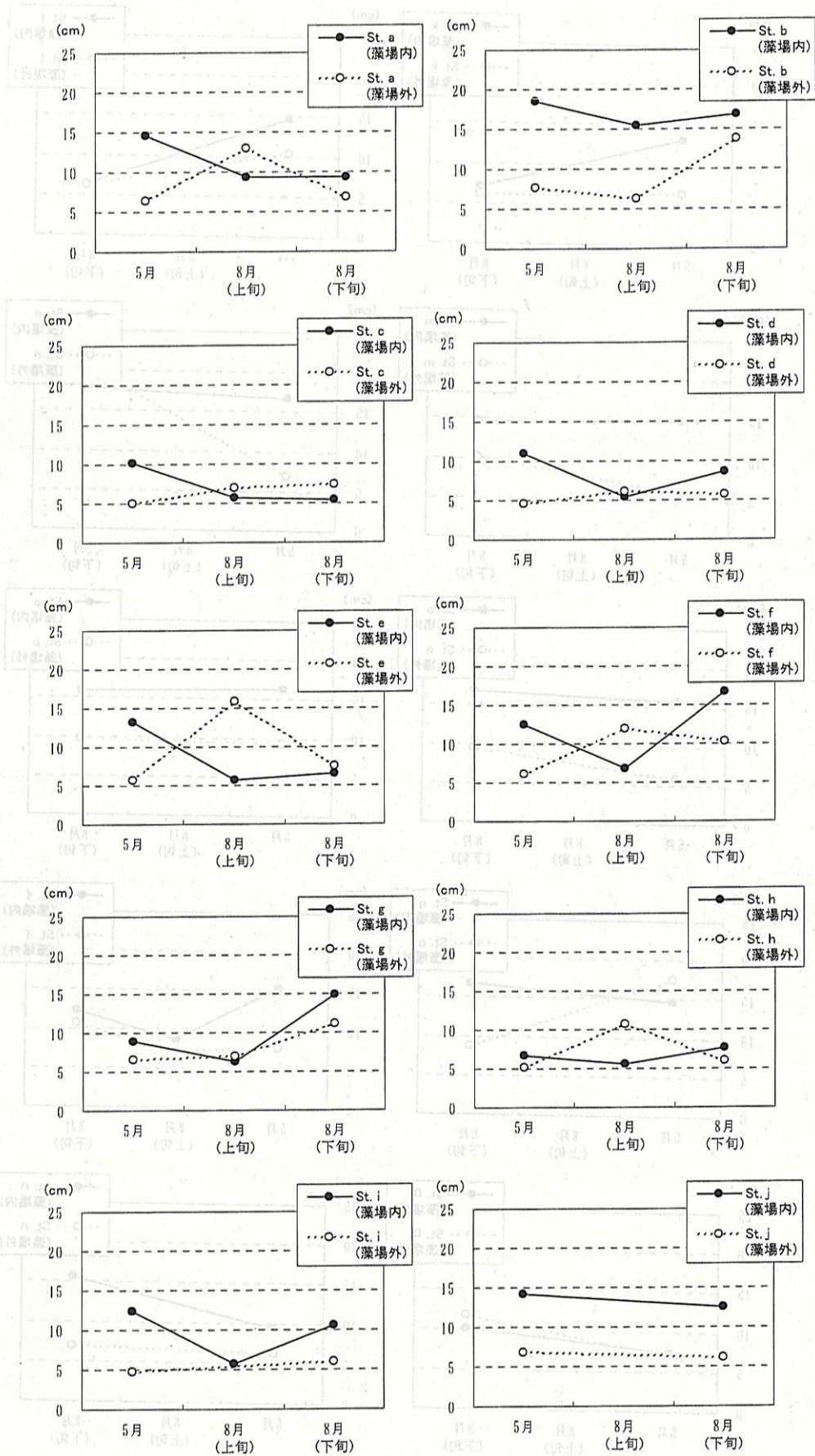
注) φ8mmの鉄筋棒を用いた。

付表2-3(2) 底質貫入試験結果 [8月中旬] (広域移植実験)

調査項目	St.m				St.n				St.o				St.p				St.q			
	藪場内		藪場外		藪場内		藪場外		藪場内		藪場外		藪場内		藪場外		藪場内		藪場外	
鉄筋棒貫入試験 (cm)	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20
	最大	25	最大	21	最大	34	最大	72	最大	40	最大	18	最大	38	最大	19	最大	28	最大	16
	最小	6	最小	5	最小	8	最小	5	最小	5	最小	5	最小	5	最小	5	最小	7	最小	5
	平均	14.6	平均	10.1	平均	17.9	平均	20.7	平均	16.9	平均	9.6	平均	15.9	平均	9.7	平均	16.7	平均	8.7
	標準偏差	6.8	標準偏差	4.8	標準偏差	8.5	標準偏差	18.0	標準偏差	9.4	標準偏差	3.2	標準偏差	8.9	標準偏差	3.9	標準偏差	7.0	標準偏差	3.0
貫入深度階級と頻度																				

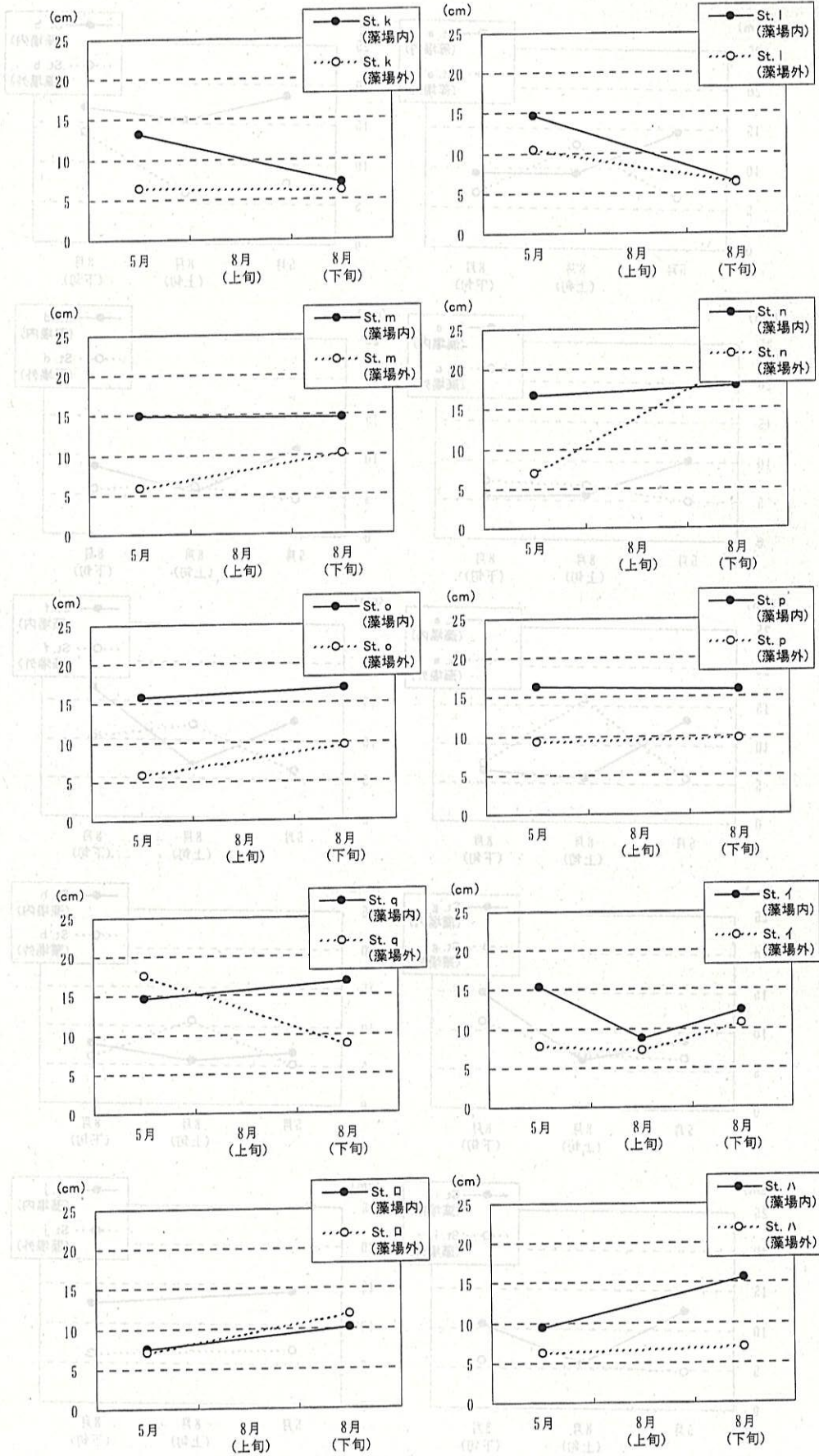
調査項目	St.1				St.2				St.3				St.4			
	藪場内		藪場外		藪場内		藪場外		藪場内		藪場外		藪場内		藪場外	
鉄筋棒貫入試験 (cm)	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20	貫入回数	20
	最大	31	最大	26	最大	18	最大	23	最大	33	最大	9	最大	7	最大	5
	最小	5	最小	5	最小	5	最小	5	最小	7	最小	5	最小	5	最小	5
	平均	12.3	平均	10.7	平均	10.1	平均	11.8	平均	15.6	平均	6.9	平均	15.6	平均	6.9
	標準偏差	7.0	標準偏差	5.8	標準偏差	3.0	標準偏差	6.3	標準偏差	7.7	標準偏差	1.2	標準偏差	7.7	標準偏差	1.2
貫入深度階級と頻度																

注) φ 8mmの鉄筋棒を用いた。



注) 直径 8mm の鉄筋棒を用い人力により 1 地点あたり 20 回行った貫入試験結果より作成。

付図 2-6 (1) 底質貫入深度の変化 (広域移植実験)



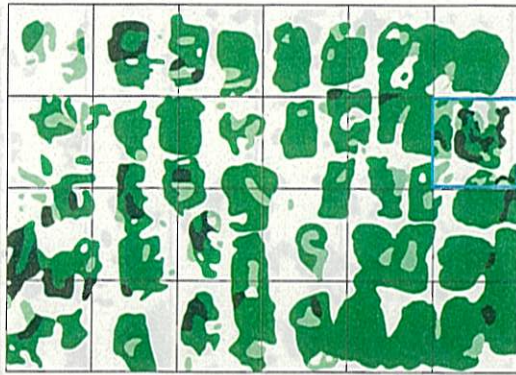
注) 直径8mmの鉄筋棒を用い人力により1地点あたり20回行った貫入試験結果より作成。

付図 2-6 (2) 底質貫入深度の変化 (広域移植実験)

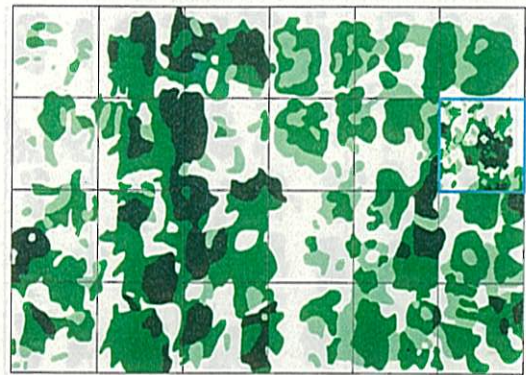
付表 2-5 10m×10mコーロート内の生育面積の変化（広域移植実験）

区分	地点	C. D. L. (m)	移植1カ月後	H14年台風前		生育面積 (m ²)				7月・7日終了1年 H15年5月	H15年台風前		H15年台風通過後 H15年8月中旬	生育面積割合 (%)	
				H14年6月	台風5号通過後 H14年7月上旬	台風7号通過後 H14年7月下旬	台風16号通過後 H14年9月	H15年8月上旬	H15年台風通過後 H15年8月中旬		移植1カ月後に 対するH15年8 月中旬面積	H14年9月に 対するH15年8 月中旬面積			
試験移植 海草類	a	-0.2~+0.3	32.0	42.2	20.6	11.3	7.0	14.8	21.7	16.1	50.3	230.2			
	b	-0.2~+0.2	40.5	41.5	29.3	22.8	14.5	24.7	31.0	28.8	71.2	199.6			
	c	-0.1~+0.3	53.4	12.2	2.4	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	70.0			
	d	-0.3~+0.1	20.8	23.2	9.5	6.5	1.4	1.5	2.4	2.4	1.1	5.4			
	e	-0.3~+0.1	35.6	13.0	2.4	1.2	0.2	0.8	0.7	0.7	0.6	1.6			
	f	-0.2~+0.2	18.8	13.7	9.1	7.3	3.9	6.9	4.4	4.4	4.8	25.5			
	g	-0.3~+0.3	33.5	24.8	9.9	4.5	2.2	2.7	2.0	2.0	0.9	2.8			
	h	-0.3~+0.2	45.2	39.7	3.9	2.0	1.5	4.3	6.1	6.1	5.4	12.0			
	i	-0.4~+0.1	31.7	35.7	14.6	10.9	2.1	3.1	4.7	4.7	4.4	13.8			
	j	-0.7~-0.4	29.9	34.4	22.0	20.3	13.4	13.7	-	-	12.8	42.8			
	k	-0.9~-0.8	28.9	26.9	19.2	15.9	11.0	8.7	-	-	14.6	50.4			
	l	-1.1~-0.8	53.1	62.8	46.1	39.2	26.0	38.2	-	-	41.7	78.5			
	m	-0.8~-0.4	-	-	-	-	-	22.3	-	-	21.5	-			
	n	-0.4~-0.2	-	-	-	-	-	43.2	-	-	47.3	-			
	o	-0.9~-0.7	-	-	-	-	-	8.9	-	-	5.6	-			
	p	-0.5~-0.3	-	-	-	-	-	34.0	-	-	36.4	-			
	q	-1.0~-0.7	-	-	-	-	-	31.3	-	-	32.1	-			
	既存 海草類	a	-0.2~+0.3	5.5	4.9	2.1	1.3	0.6	0.8	1.9	1.8	33.5	296.8		
		b	-0.2~+0.2	14.6	24.0	19.5	17.2	16.8	31.6	34.0	31.7	218.0	189.1		
c		-0.1~+0.3	4.9	10.2	4.6	4.6	3.9	8.8	11.8	8.7	176.5	224.8			
d		-0.3~+0.1	27.0	30.3	19.8	15.7	12.1	14.7	17.6	10.5	39.0	87.2			
e		-0.2~+0.2	45.8	17.7	12.6	11.0	8.7	18.6	24.6	20.6	170.7	235.9			
f		-0.3~+0.1	9.0	54.9	47.8	43.0	37.7	51.3	56.9	50.5	110.2	133.7			
g		-0.3~+0.3	9.0	14.5	7.6	6.4	4.6	13.3	18.3	16.6	185.1	364.9			
h		-0.3~+0.2	4.5	7.9	7.0	6.0	4.9	7.9	14.3	9.5	211.3	193.7			
i		-0.4~+0.1	32.1	37.7	22.8	20.6	16.1	27.4	38.0	30.9	96.4	192.3			
j		-0.7~-0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	-			
k		-0.9~-0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	-			
l		-1.1~-0.8	2.1	3.1	3.6	2.9	3.0	4.1	-	-	5.0	239.6			
m		-0.8~-0.4	-	-	-	-	-	6.1	-	-	8.0	-			
n		-0.4~-0.2	-	-	-	-	-	0.0	-	-	0.0	-			
o		-0.9~-0.7	-	-	-	-	-	0.0	-	-	0.0	-			
p		-0.5~-0.3	-	-	-	-	-	40.0	-	-	38.3	-			
q		-1.0~-0.7	-	-	-	-	-	0.0	-	-	0.0	-			
r		-2.4~-2.3	-	-	-	-	-	63.2	76.6	70.0	70.0	-			
s		-0.4~-0.1	-	-	-	-	-	61.8	-	-	63.1	-			
t	-0.7~-0.3	-	-	-	-	-	54.6	-	-	54.5	-				

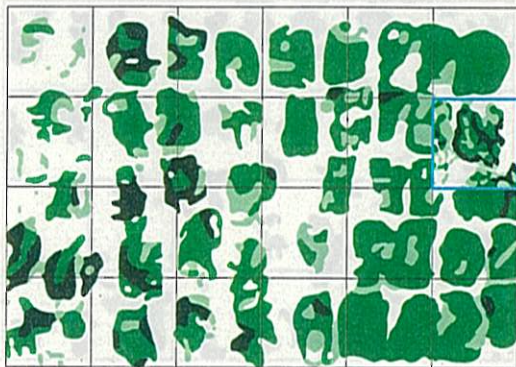
注) 一は調査していないことを示す。



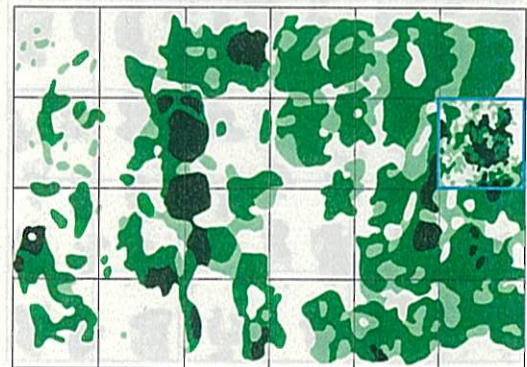
調査期間：平成 15 年 3 月 8～9 日



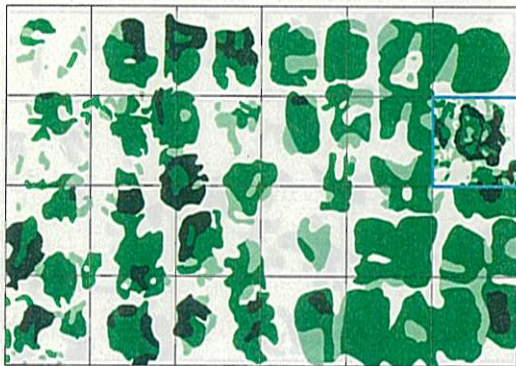
調査期間：平成 15 年 7 月 14 日



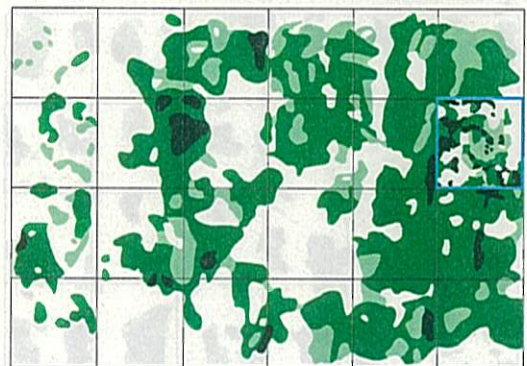
調査期間：平成 15 年 4 月 24～25 日



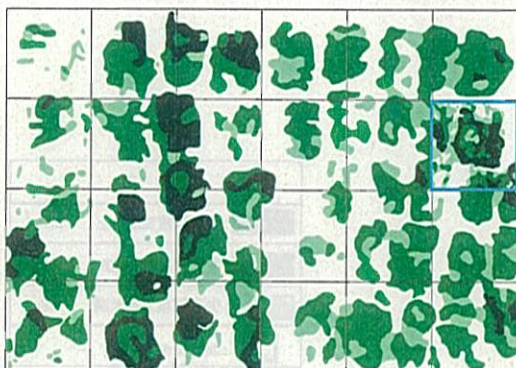
調査期間：平成 15 年 8 月 16 日
(台風 10 号通過後)



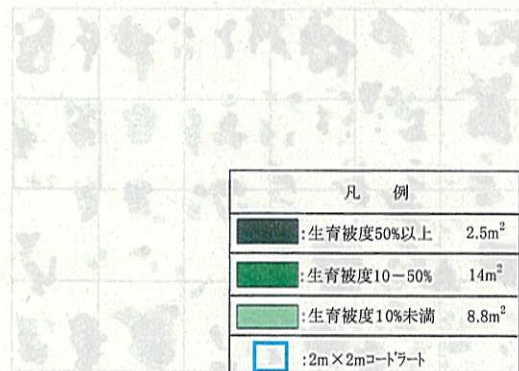
調査期間：平成 15 年 5 月 19 日



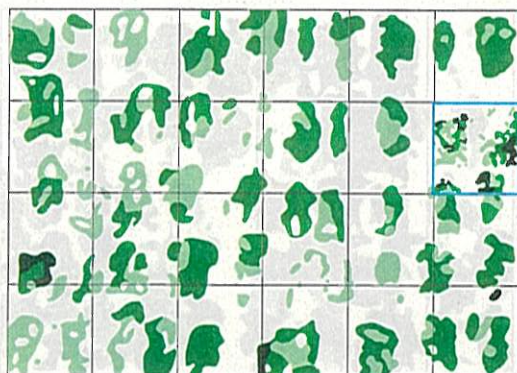
調査期間：平成 15 年 9 月 4 日



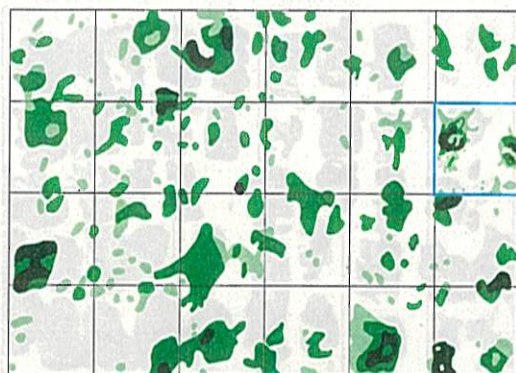
調査期間：平成 15 年 6 月 9 日



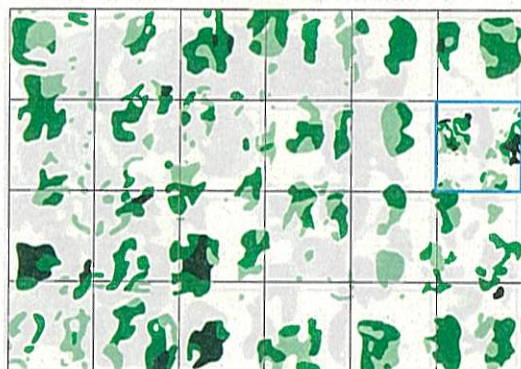
付図 3-1(1) 移植海草の分布状況 (工法 1: 隙間を詰めて移植し砂を詰める工法、St. t)



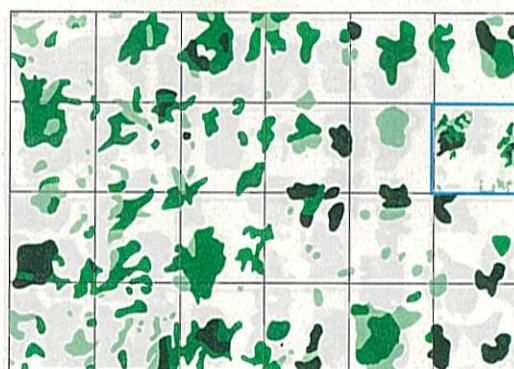
調査期間：平成 15 年 3 月 8～9 日



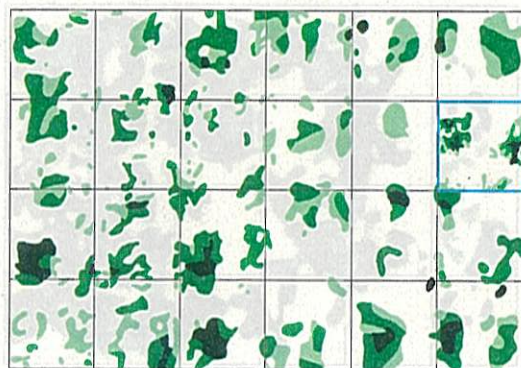
調査期間：平成 15 年 7 月 14 日



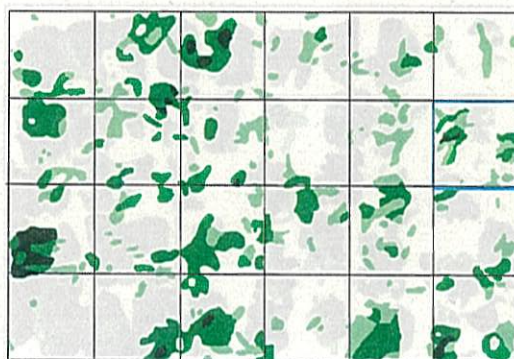
調査期間：平成 15 年 4 月 24～25 日



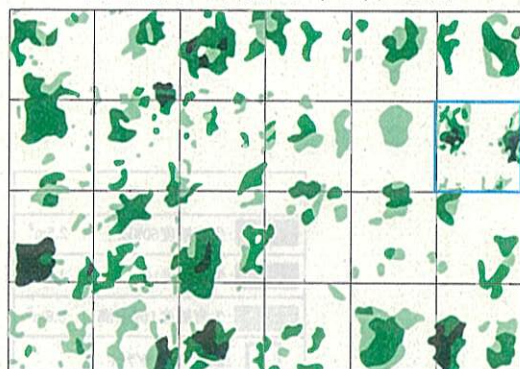
調査期間：平成 15 年 8 月 16 日
(台風 10 号通過後)



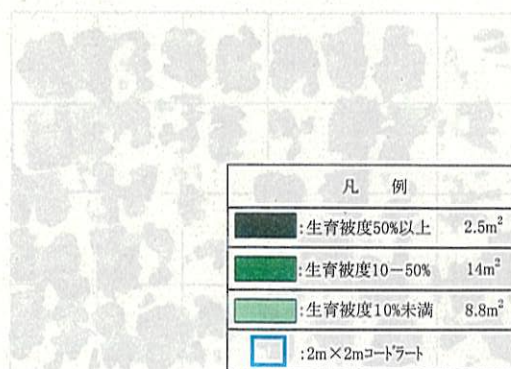
調査期間：平成 15 年 5 月 19 日



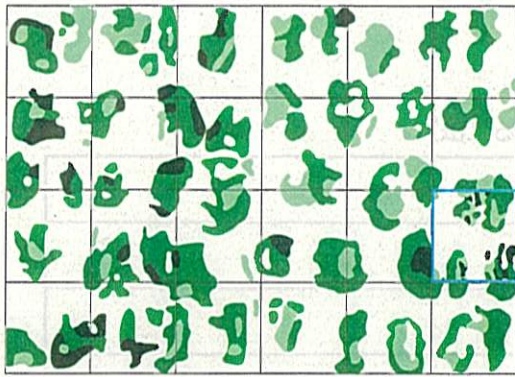
調査期間：平成 15 年 9 月 4 日



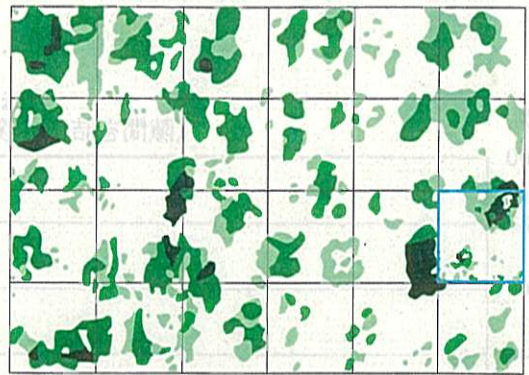
調査期間：平成 15 年 6 月 9 日



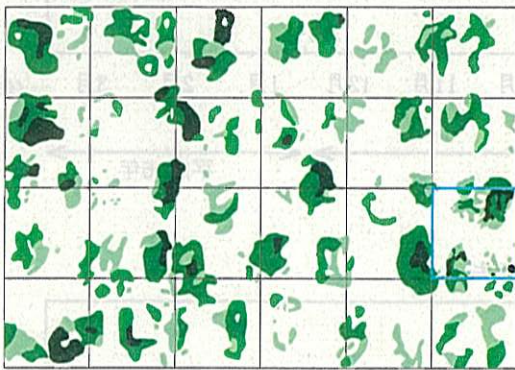
付図 3-1(2) 移植海草の分布状況 (工法 2: 土嚢袋で囲い砂を詰める工法 St. r)



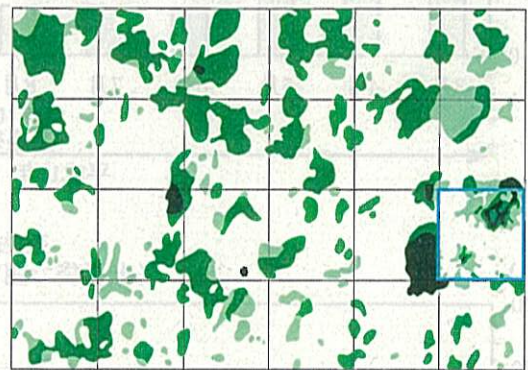
調査期間：平成 15 年 3 月 8～9 日



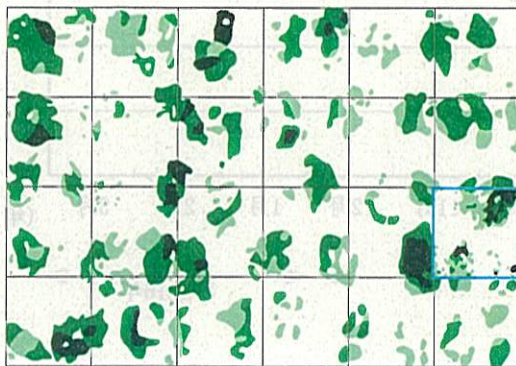
調査期間：平成 15 年 7 月 14 日



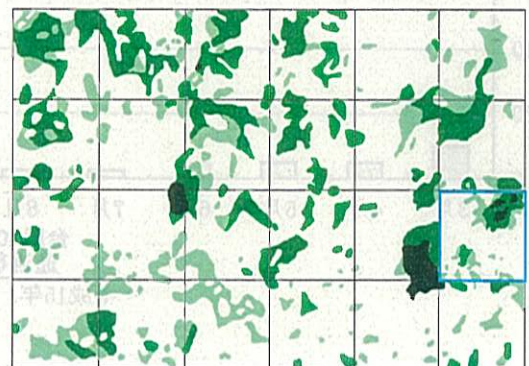
調査期間：平成 15 年 4 月 24～25 日



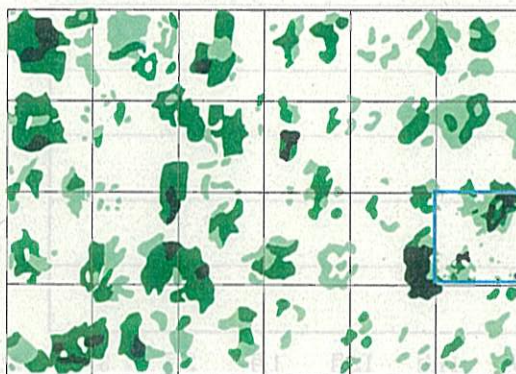
調査期間：平成 15 年 8 月 16 日
(台風 10 号通過後)



調査期間：平成 15 年 5 月 19 日



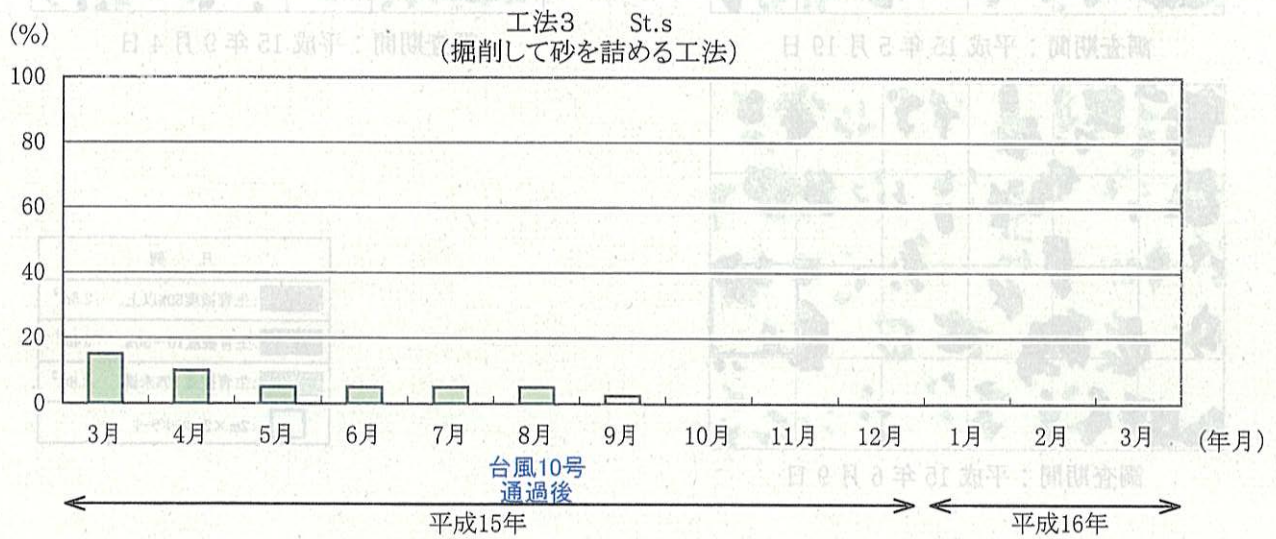
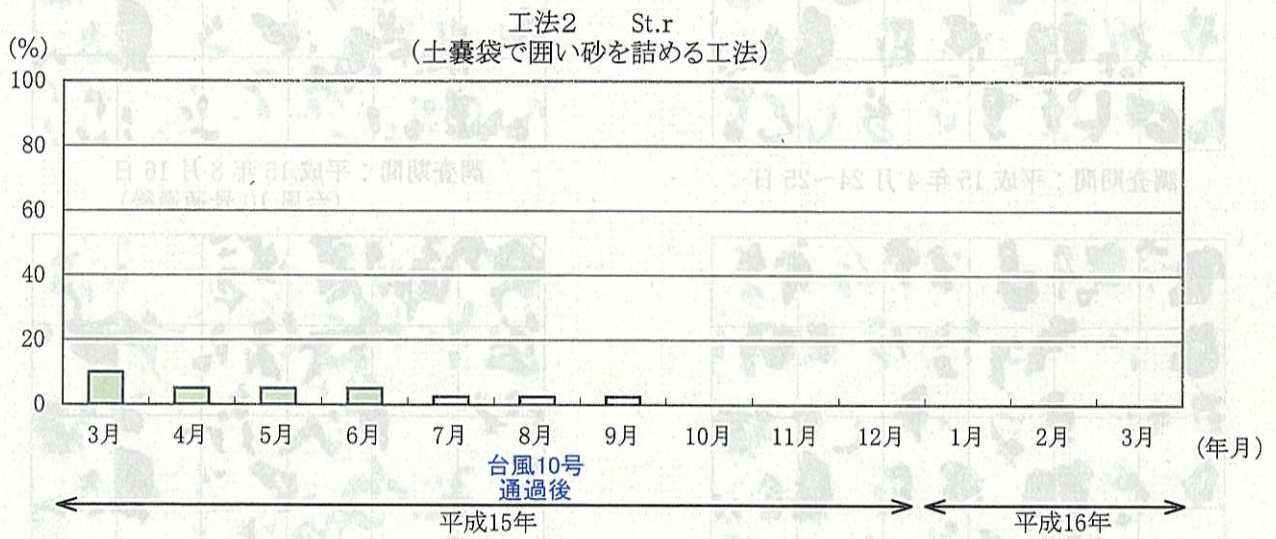
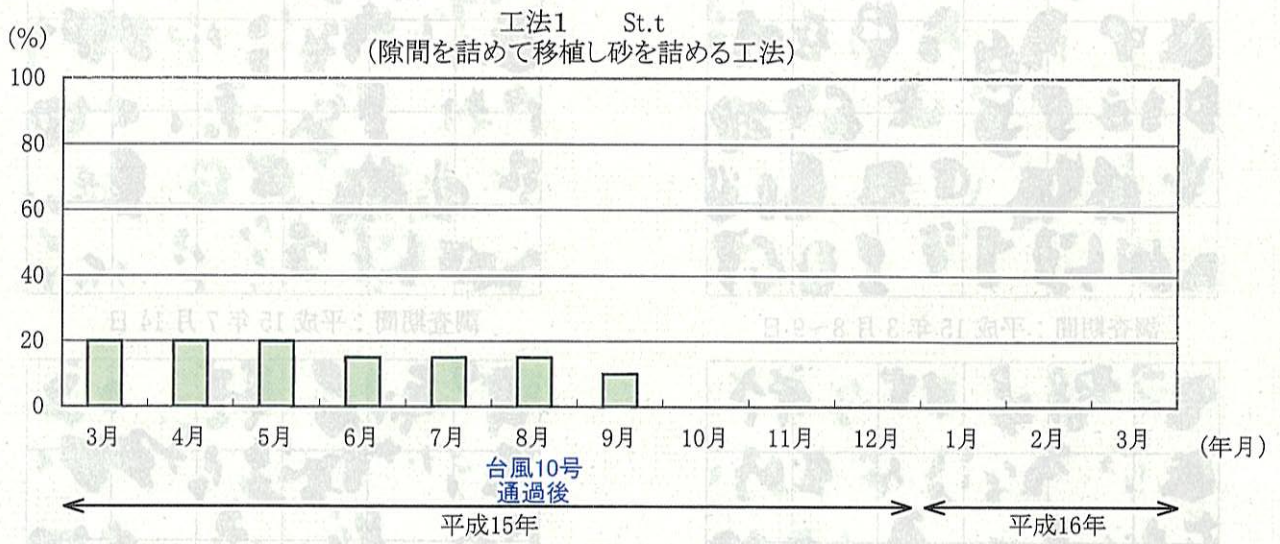
調査期間：平成 15 年 9 月 4 日



調査期間：平成 15 年 6 月 9 日

凡 例	
	: 生育被度50%以上 2.5m ²
	: 生育被度10～50% 14m ²
	: 生育被度10%未満 8.8m ²
	: 2m×2mコトラー

付図 3-1(3) 移植海草の分布状況 (工法 3: 掘削して砂を詰める工法、St. s)



付図3-2 8m×12mコードラート内の生育被度の変化 (減耗対策工法試験)

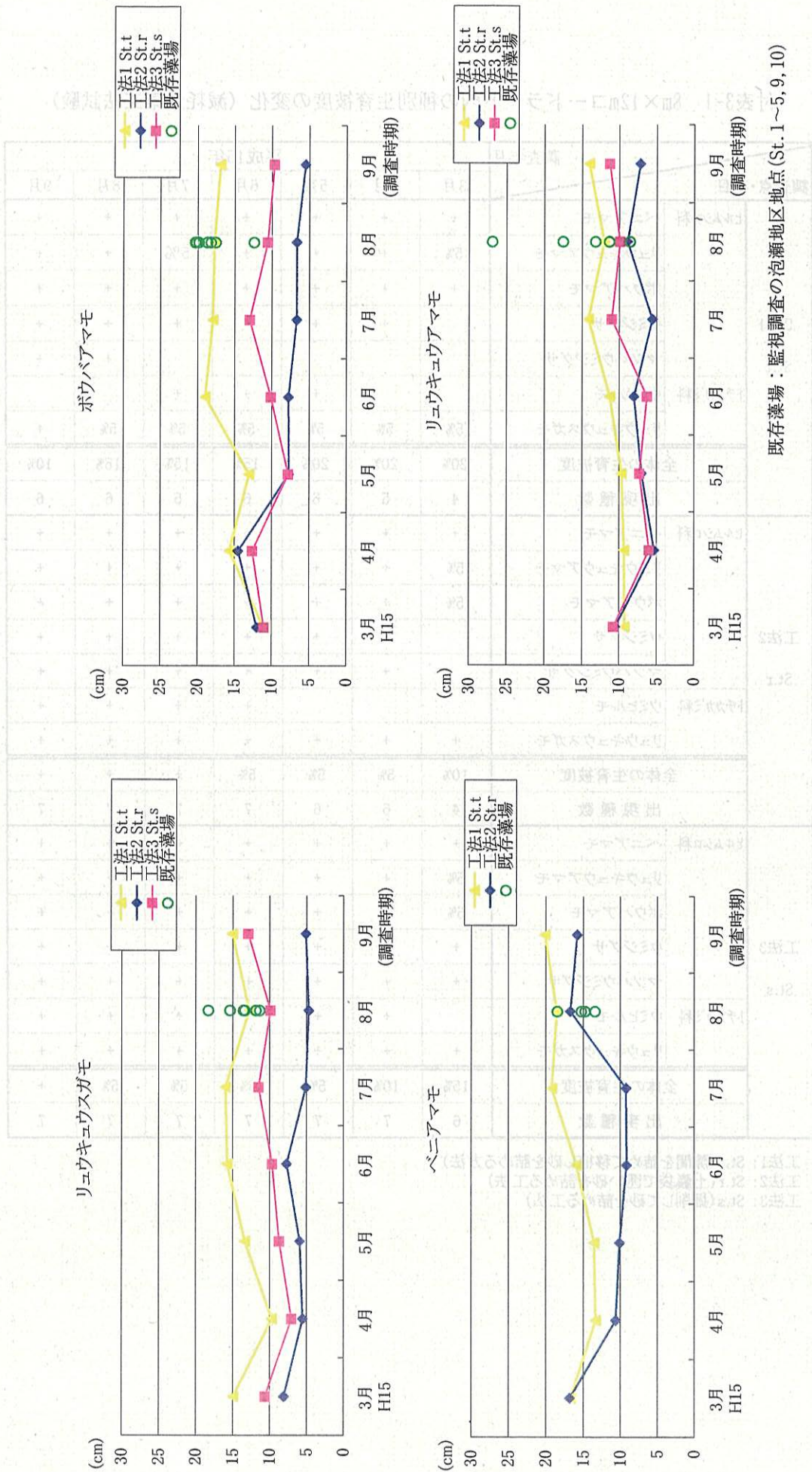
付表3-1 8m×12mコードラート内の種別生育被度の変化（減耗対策工法試験）

調査点・項目		調査年月		平成15年					
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
工法1 St.t	ヒルムシロ科	ベニアマモ	+	+	+	+	+	+	+
		リュウキュウアマモ	5%	+	+	+	5%	+	+
		ボウバアマモ	+	+	+	+	+	+	+
		ウミジグサ		+	+	+	+	+	+
		マツバウミジグサ						+	+
	トチカガミ科	ウミヒルモ			+	+	+		
		リュウキュウスガモ	5%	5%	5%	5%	5%	5%	+
全体の生育被度		20%	20%	20%	15%	15%	15%	10%	
出現種数		4	5	6	6	6	6	6	
工法2 St.r	ヒルムシロ科	ベニアマモ	+	+	+	+	+	+	+
		リュウキュウアマモ	5%	+	+	+	+	+	+
		ボウバアマモ	5%	+	+	+	+	+	+
		ウミジグサ		+	+	+	+	+	+
		マツバウミジグサ		+	+	+	+	+	+
	トチカガミ科	ウミヒルモ				+	+	+	+
		リュウキュウスガモ	+	+	+	+	+	+	+
全体の生育被度		10%	5%	5%	5%	+	+	+	
出現種数		4	6	6	7	7	7	7	
工法3 St.s	ヒルムシロ科	ベニアマモ	+	+	+	+	+	+	+
		リュウキュウアマモ	5%	+	+	+	+	+	+
		ボウバアマモ	5%	+	+	+	+	+	+
		ウミジグサ	+	+	+	+	+	+	+
		マツバウミジグサ	+	+	+	+	+	+	+
	トチカガミ科	ウミヒルモ		+	+	+	+	+	+
		リュウキュウスガモ	+	+	+	+	+	+	+
全体の生育被度		15%	10%	5%	5%	5%	5%	+	
出現種数		6	7	7	7	7	7	7	

工法1: St.t(隙間を詰めて移植し砂を詰める方法)

工法2: St.r(土嚢袋で囲い砂を詰める工法)

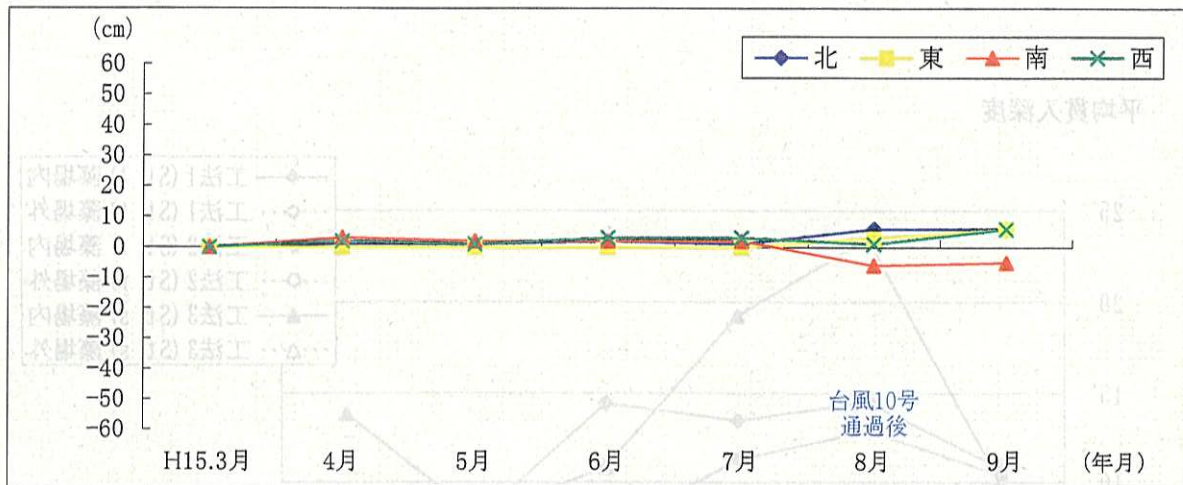
工法3: St.s(掘削して砂を詰める工法)



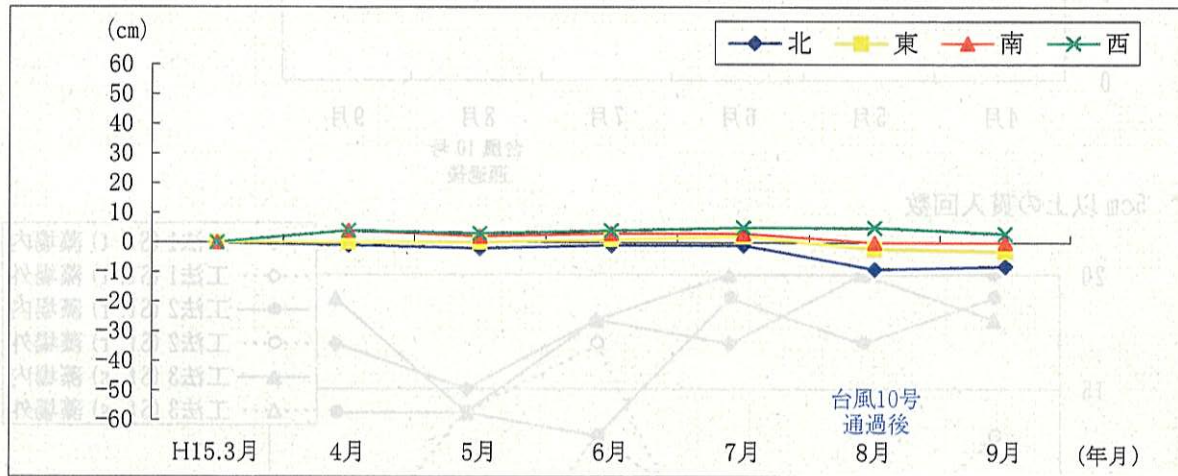
既存藻場：監視調査の泡瀬地区地点 (St.1~5, 9, 10)

付図3-3 主要構成種の葉長(上位30株平均)の変化(減耗対策工法試験)

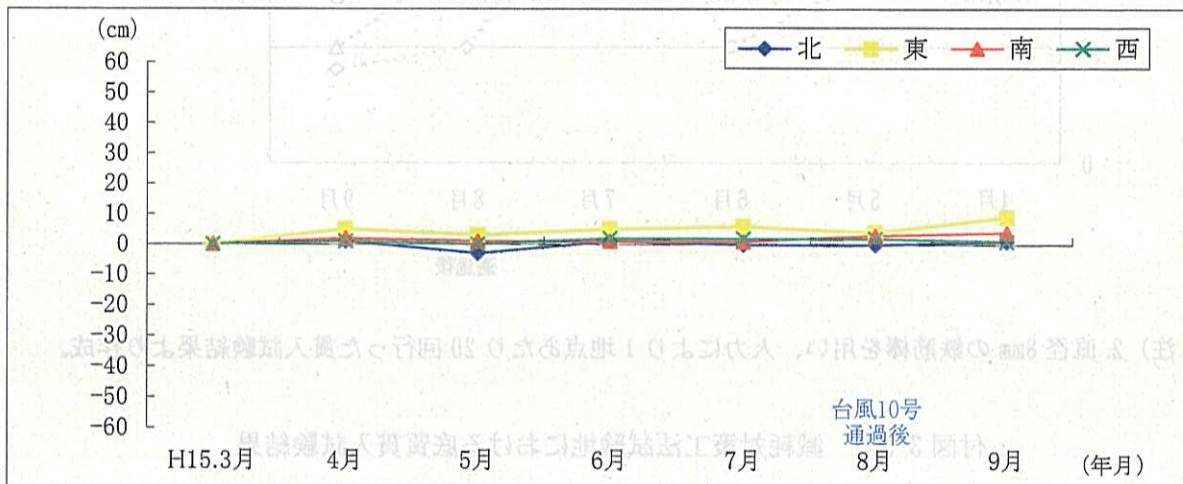
工法1 St.t
(隙間を詰めて移植し砂を詰める方法)



工法2 St.r
(土嚢袋で囲い砂を詰める工法)

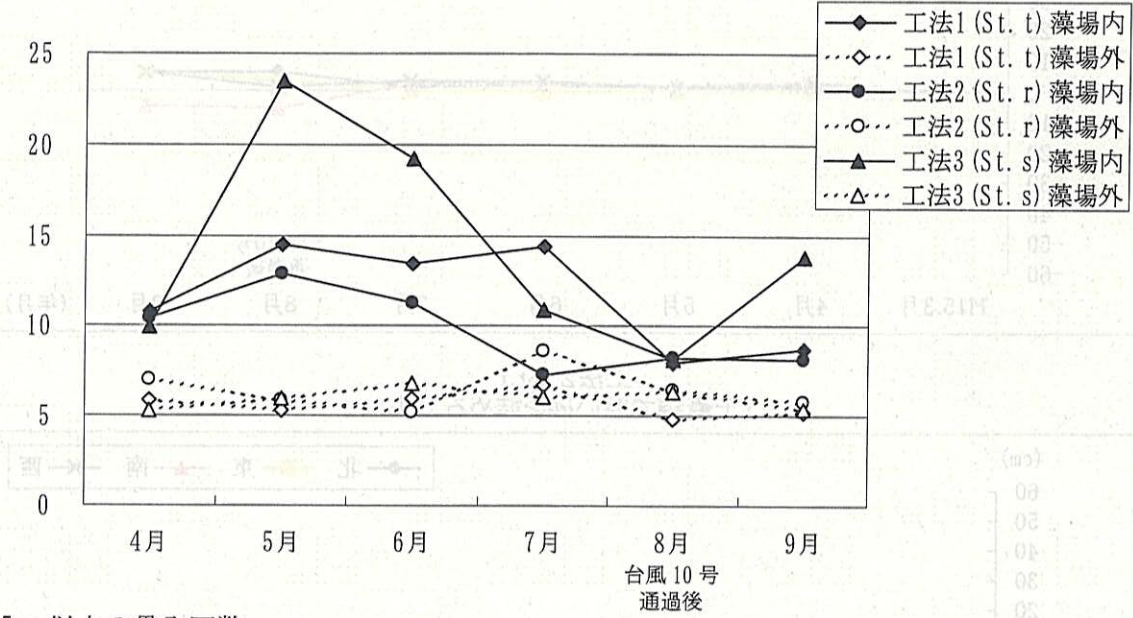


工法3 St.s
(掘削して砂を詰める工法)

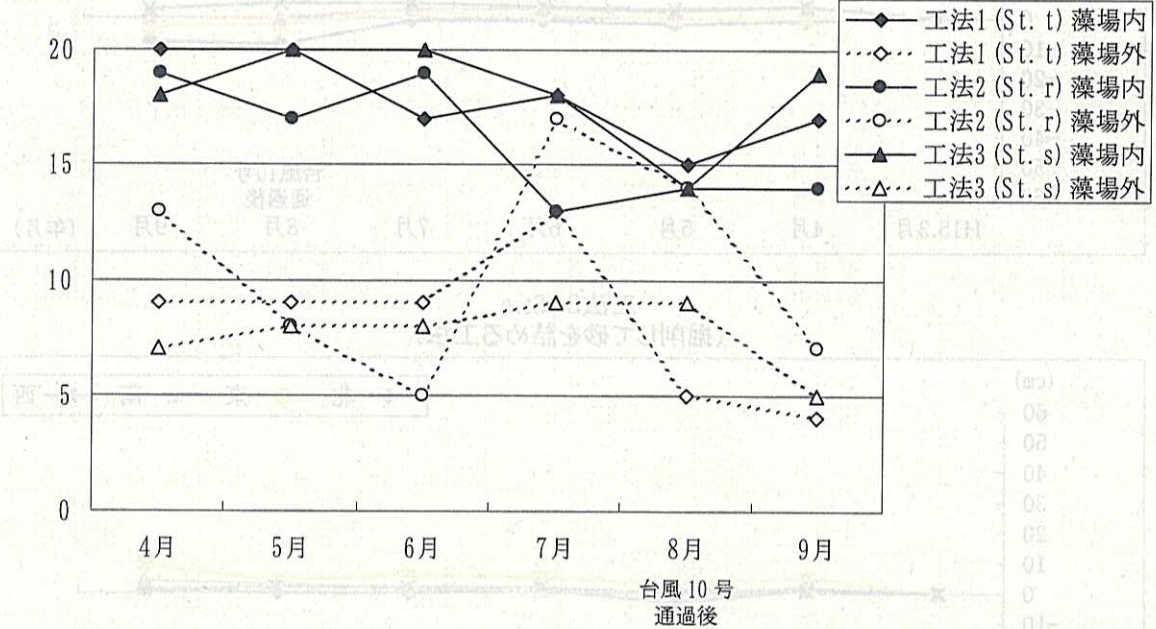


付図3-4 減耗対策工法試験地における砂面変動

平均貫入深度



5cm以上の貫入回数



注) 2. 直径8mmの鉄筋棒を用い、人力により1地点あたり20回行った貫入試験結果より作成。

付図 3-5 減耗対策工法試験地における底質貫入試験結果

付表3-2(1) 底質貫入試験結果 (減耗対策工法試験)

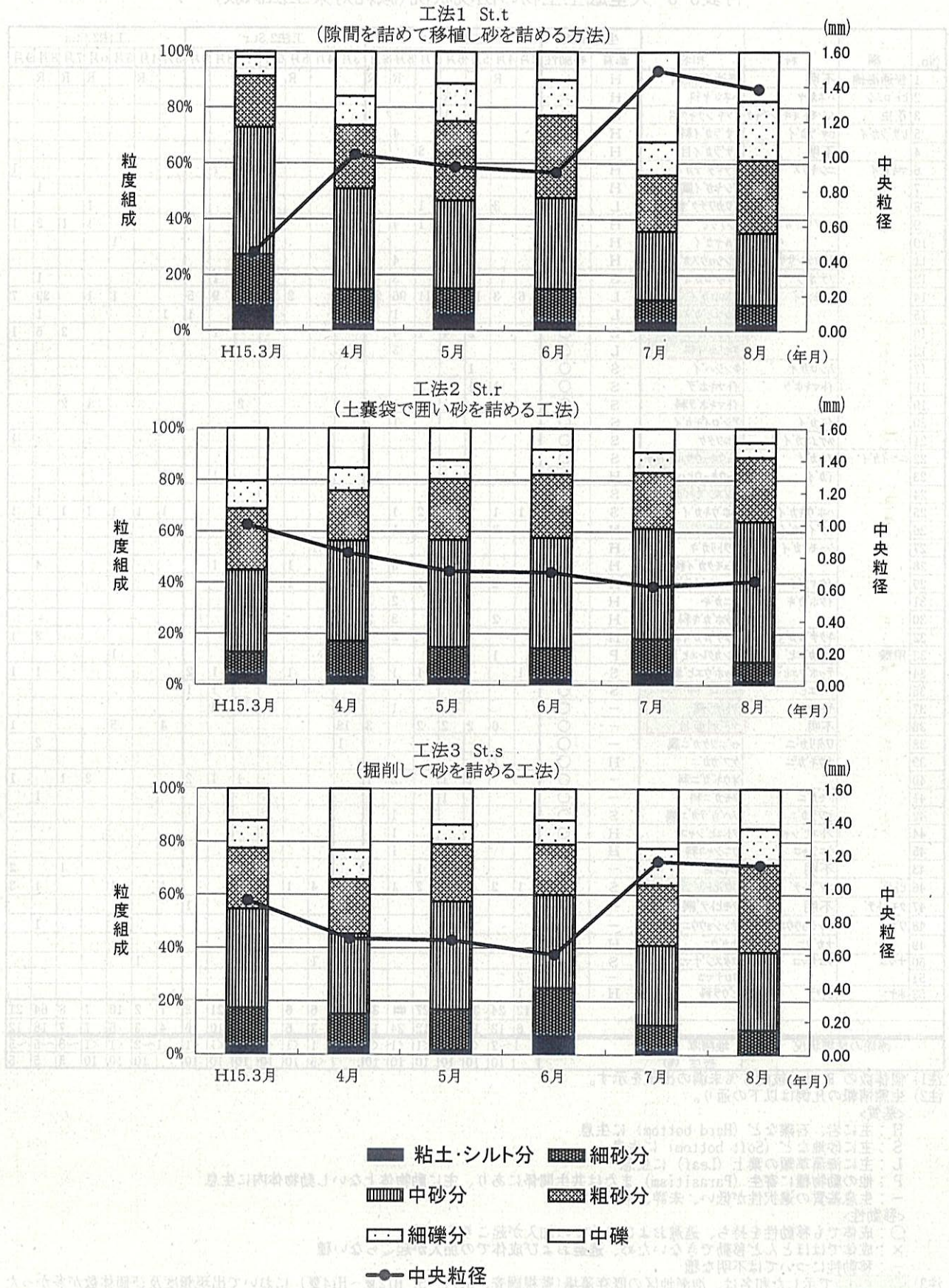
試験種別	HI15.4					HI15.5					HI15.6					HI15.7																																																																																																																		
	(藻場)		(砂地)		(藻場)		(砂地)		(藻場)		(砂地)		(藻場)		(砂地)		(藻場)		(砂地)																																																																																																															
工法1 St1	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20																																																																																																														
	最大(cm)	20	最大(cm)	26	最大(cm)	8	最大(cm)	29	最大(cm)	11	最大(cm)	30	最大(cm)	12	最大(cm)	30	最大(cm)	12	最大(cm)	12																																																																																																														
工法2 St.r	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20																																																																																																														
	最大(cm)	20	最大(cm)	17	最大(cm)	3	最大(cm)	24	最大(cm)	11	最大(cm)	17	最大(cm)	25	最大(cm)	17	最大(cm)	25	最大(cm)	25																																																																																																														
工法3 St.s	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20																																																																																																														
	最大(cm)	20	最大(cm)	38	最大(cm)	14	最大(cm)	29	最大(cm)	24	最大(cm)	25	最大(cm)	16	最大(cm)	25	最大(cm)	16	最大(cm)	16																																																																																																														
貫入深度階級と頻度																																																																																																																																		
<table border="1"> <tr> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> <td>貫入回数(回)</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>最大(cm)</td> <td>10.8</td> <td>最大(cm)</td> <td>14.5</td> <td>最大(cm)</td> <td>5.3</td> <td>最大(cm)</td> <td>13.4</td> <td>最大(cm)</td> <td>6.8</td> <td>最大(cm)</td> <td>11.3</td> <td>最大(cm)</td> <td>7.3</td> <td>最大(cm)</td> <td>10.9</td> <td>最大(cm)</td> <td>14.4</td> <td>最大(cm)</td> <td>6.7</td> <td>最大(cm)</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>最小(cm)</td> <td>6</td> <td>最小(cm)</td> <td>6</td> <td>最小(cm)</td> <td>3</td> <td>最小(cm)</td> <td>5</td> <td>最小(cm)</td> <td>5</td> <td>最小(cm)</td> <td>4</td> <td>最小(cm)</td> <td>2</td> <td>最小(cm)</td> <td>4</td> <td>最小(cm)</td> <td>5</td> <td>最小(cm)</td> <td>3</td> <td>最小(cm)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>平均(cm)</td> <td>10.8</td> <td>平均(cm)</td> <td>7.1</td> <td>平均(cm)</td> <td>5.9</td> <td>平均(cm)</td> <td>11.3</td> <td>平均(cm)</td> <td>6.8</td> <td>平均(cm)</td> <td>11.3</td> <td>平均(cm)</td> <td>7.3</td> <td>平均(cm)</td> <td>10.9</td> <td>平均(cm)</td> <td>14.4</td> <td>平均(cm)</td> <td>6.7</td> <td>平均(cm)</td> <td>6.7</td> </tr> <tr> <td>標準偏差</td> <td>4.8</td> <td>標準偏差</td> <td>1.7</td> <td>標準偏差</td> <td>1.3</td> <td>標準偏差</td> <td>4.5</td> <td>標準偏差</td> <td>1.3</td> <td>標準偏差</td> <td>4.5</td> <td>標準偏差</td> <td>3.5</td> <td>標準偏差</td> <td>5.9</td> <td>標準偏差</td> <td>7.4</td> <td>標準偏差</td> <td>2.3</td> <td>標準偏差</td> <td>2.3</td> </tr> </table>																					貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	最大(cm)	10.8	最大(cm)	14.5	最大(cm)	5.3	最大(cm)	13.4	最大(cm)	6.8	最大(cm)	11.3	最大(cm)	7.3	最大(cm)	10.9	最大(cm)	14.4	最大(cm)	6.7	最大(cm)	12	最小(cm)	6	最小(cm)	6	最小(cm)	3	最小(cm)	5	最小(cm)	5	最小(cm)	4	最小(cm)	2	最小(cm)	4	最小(cm)	5	最小(cm)	3	最小(cm)	3	平均(cm)	10.8	平均(cm)	7.1	平均(cm)	5.9	平均(cm)	11.3	平均(cm)	6.8	平均(cm)	11.3	平均(cm)	7.3	平均(cm)	10.9	平均(cm)	14.4	平均(cm)	6.7	平均(cm)	6.7	標準偏差	4.8	標準偏差	1.7	標準偏差	1.3	標準偏差	4.5	標準偏差	1.3	標準偏差	4.5	標準偏差	3.5	標準偏差	5.9	標準偏差	7.4	標準偏差	2.3	標準偏差	2.3
貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20																																																																																																													
最大(cm)	10.8	最大(cm)	14.5	最大(cm)	5.3	最大(cm)	13.4	最大(cm)	6.8	最大(cm)	11.3	最大(cm)	7.3	最大(cm)	10.9	最大(cm)	14.4	最大(cm)	6.7	最大(cm)	12																																																																																																													
最小(cm)	6	最小(cm)	6	最小(cm)	3	最小(cm)	5	最小(cm)	5	最小(cm)	4	最小(cm)	2	最小(cm)	4	最小(cm)	5	最小(cm)	3	最小(cm)	3																																																																																																													
平均(cm)	10.8	平均(cm)	7.1	平均(cm)	5.9	平均(cm)	11.3	平均(cm)	6.8	平均(cm)	11.3	平均(cm)	7.3	平均(cm)	10.9	平均(cm)	14.4	平均(cm)	6.7	平均(cm)	6.7																																																																																																													
標準偏差	4.8	標準偏差	1.7	標準偏差	1.3	標準偏差	4.5	標準偏差	1.3	標準偏差	4.5	標準偏差	3.5	標準偏差	5.9	標準偏差	7.4	標準偏差	2.3	標準偏差	2.3																																																																																																													

注) φ8mmの鉄筋棒を用いた。

付表3-2(2) 底質貫入試験結果 (減耗対策工法試験)

	H15.8		H15.9		H15.10		H15.11	
	(岩場)	(砂地)	(岩場)	(砂地)	(岩場)	(砂地)	(岩場)	(砂地)
鉄筋 貫入試験	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20
	最大(cm)	17	最大(cm)	23	最大(cm)	7	最大(cm)	20
貫入試験	最小(cm)	4	最小(cm)	5	最小(cm)	5	最小(cm)	5
	平均(cm)	8.0	平均(cm)	8.8	平均(cm)	5.3	平均(cm)	5.3
貫入試験	標準偏差	3.8	標準偏差	3.9	標準偏差	0.6	標準偏差	0.6
	貫入深度階級と頻度		貫入深度階級と頻度		貫入深度階級と頻度		貫入深度階級と頻度	
鉄筋 貫入試験	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20
	最大(cm)	15	最大(cm)	12	最大(cm)	8	最大(cm)	20
貫入試験	最小(cm)	4	最小(cm)	5	最小(cm)	5	最小(cm)	5
	平均(cm)	8.2	平均(cm)	8.2	平均(cm)	5.8	平均(cm)	5.8
貫入試験	標準偏差	3.4	標準偏差	3.4	標準偏差	1.1	標準偏差	1.1
	貫入深度階級と頻度		貫入深度階級と頻度		貫入深度階級と頻度		貫入深度階級と頻度	
鉄筋 貫入試験	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20	貫入回数(回)	20
	最大(cm)	17	最大(cm)	11	最大(cm)	7	最大(cm)	20
貫入試験	最小(cm)	4	最小(cm)	4	最小(cm)	5	最小(cm)	5
	平均(cm)	8.2	平均(cm)	6.3	平均(cm)	5.4	平均(cm)	5.4
貫入試験	標準偏差	3.8	標準偏差	2.8	標準偏差	0.8	標準偏差	0.8
	貫入深度階級と頻度		貫入深度階級と頻度		貫入深度階級と頻度		貫入深度階級と頻度	

注) φ8mmの鉄筋様之用いた。



付図3-6 減耗対策工法試験地における底質の粒度組成の変化

付表 3-4 減耗対策工法試験と広域移植実験藻場の減耗率

(減耗対策工法試験)

区分	地点	C. D. L. (m)	H15年台風前後の減耗率 (%)							
			移植1カ月後を基準		H15台風前 (H15.5) を基準		H15台風前 (H15.6) を基準		台風前(H15.7)を基準	
			H15年8月	H15年9月	H15年8月	H15年9月	H15年8月	H15年9月	H15年8月	H15年9月
減耗対策 工法試験	r	0.9	49	36	36	19	36	19	39	23
	s	0.8	20	27	-1	7	3	11	10	17
	t	1.4	3	6	1	4	-1	2	12	14
	平均		24	23	12	10	13	11	20	18

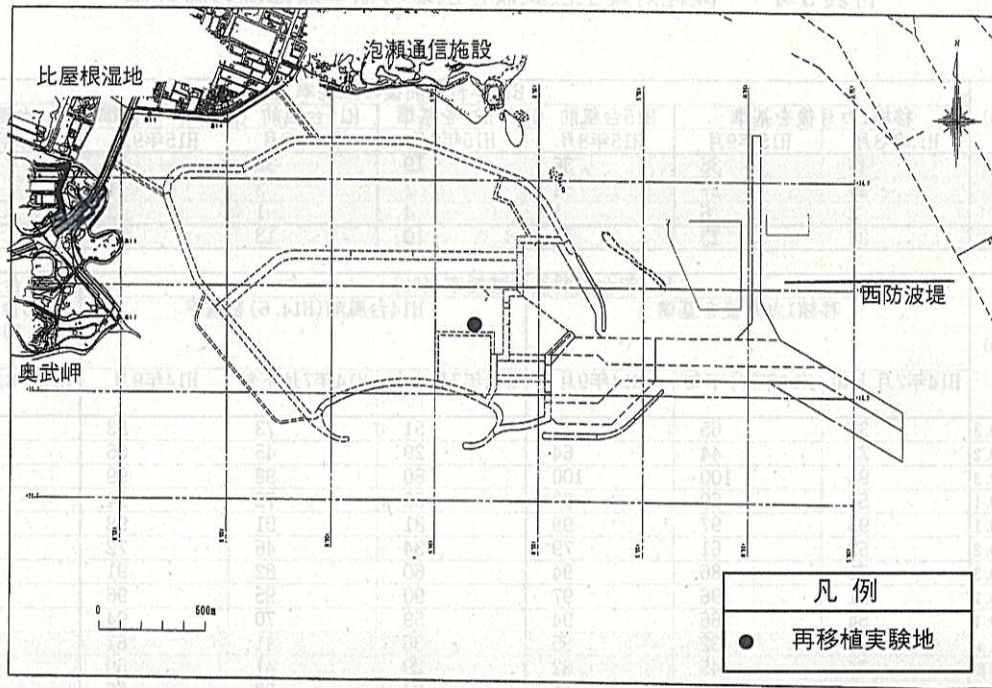
(広域移植実験)

区分	地点	C. D. L. (m)	H14年台風前後の減耗率 (%)						H15年台風前後の減耗率 (%)	
			移植1カ月後を基準			H14台風前(H14.6)を基準			H15台風前 (H15.5)を基準	H15台風前 (H15.8月上旬)を 基準
			H14年7月上旬	H14年7月下旬	H14年9月	H14年7月上旬	H14年7月下旬	H14年9月	H15年8月中旬	H15年8月中旬
試験移植 海草類	a	-0.2~+0.3	36	65	78	51	73	83	-8	26
	b	-0.2~+0.2	28	44	64	29	45	65	-17	7
	c	-0.1~+0.3	95	100	100	80	98	99	61	72
	d	-0.3~+0.1	54	69	93	59	72	94	25	53
	e	-0.3~+0.1	93	97	99	81	91	98	26	14
	f	-0.2~+0.2	52	61	79	34	46	72	31	-9
	g	-0.3~+0.3	71	86	94	60	82	91	65	54
	h	-0.3~+0.2	91	96	97	90	95	96	-27	10
	i	-0.4~+0.1	54	66	94	59	70	94	-42	7
	j	-0.7~-0.4	26	32	55	36	41	61	7	-
	k	-0.9~-0.8	34	45	62	29	41	59	-67	-
	l	-1.1~-0.8	13	26	51	27	38	59	-9	-
	m	-0.9~-0.4	-	-	-	-	-	-	4	-
	n	-0.4~-0.2	-	-	-	-	-	-	-10	-
	o	-0.9~-0.7	-	-	-	-	-	-	37	-
	p	-0.5~-0.3	-	-	-	-	-	-	-7	-
	q	-1.0~-0.7	-	-	-	-	-	-	-2	-
	浅所平均		64	76	89	61	75	88	13	26
	深所平均		24	31	56	30	40	60	-6	-
既存 海草類	a	-0.2~+0.3	61	77	89	57	74	87	-136	1
	b	-0.2~+0.2	-34	-18	-15	19	28	30	0	7
	c	-0.1~+0.3	6	6	22	55	54	62	1	26
	d	-0.3~+0.1	27	42	55	35	48	60	28	40
	e	-0.3~+0.1	-4	9	28	29	39	51	-11	16
	f	-0.2~+0.2	-4	6	18	13	22	31	2	11
	g	-0.3~+0.3	16	29	49	48	56	69	-26	9
	h	-0.3~+0.2	-55	-33	-9	12	24	38	-21	34
	i	-0.4~+0.1	29	36	50	40	45	57	-13	19
	j	-0.7~-0.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	k	-0.9~-0.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	l	-1.1~-0.8	-73	-41	-47	-13	7	3	-22	-
	m	-0.9~-0.4	-	-	-	-	-	-	-32	-
	n	-0.4~-0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	o	-0.9~-0.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	p	-0.5~-0.3	-	-	-	-	-	-	4	-
	q	-1.0~-0.7	-	-	-	-	-	-	-	-
r	-2.4~-2.3	-	-	-	-	-	-	-11	9	
s	-0.4~-0.1	-	-	-	-	-	-	-2	-	
t	-0.7~-0.3	-	-	-	-	-	-	0	-	
	浅所平均		5	17	32	34	43	54	-19	18
	深所平均		-73	-41	-47	-13	7	3	-10	9

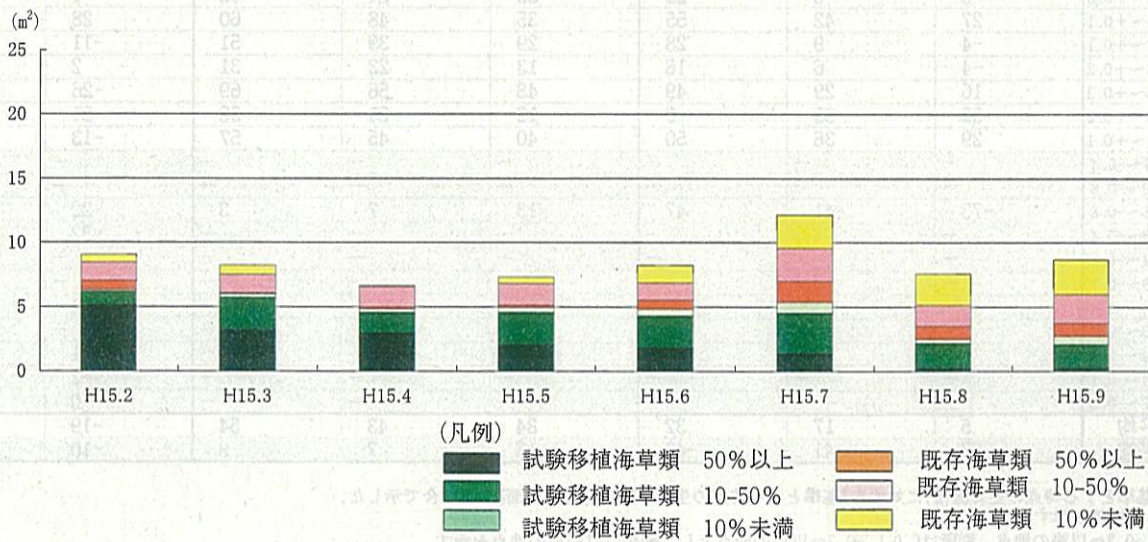
注) 1. 減耗率は、[基準とする時点の生育面積]に対する[基準とする時点の生育面積からの減少面積]の割合で示した。
(マイナスは増加を示す)

2. 浅所はC. D. L. -0.3m以浅の地点、深所はC. D. L. -0.3m以深の地点とし、網掛けは深所の地点を示す。

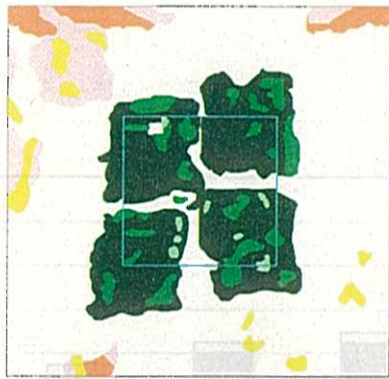
(内イーマーカーにmを×する) 計測の生育面の種類と網掛け 5-1図計



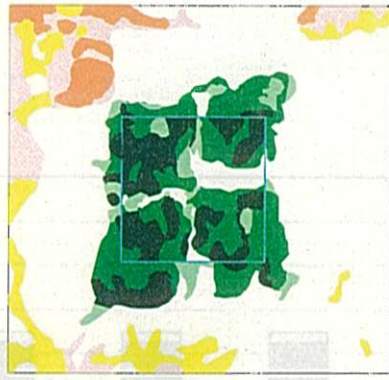
付図 4-1 再移植実験の位置



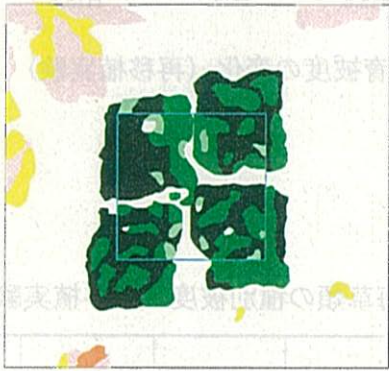
付図 4-2 再移植実験での生育面積の変化 (5 m × 5 m コードラート内)



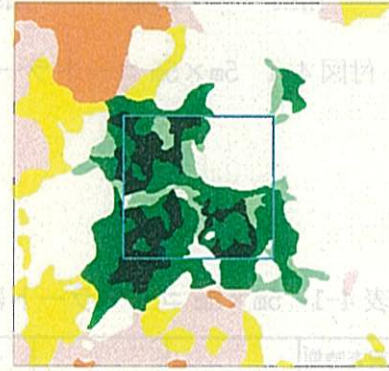
(調査期日:平成15年2月28日)



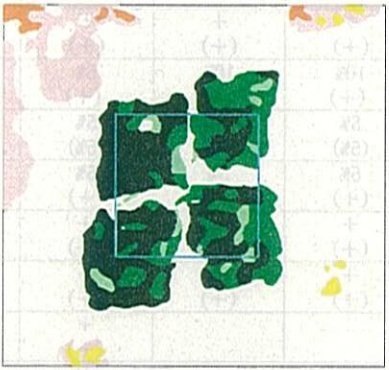
(調査期日:平成15年6月11日)



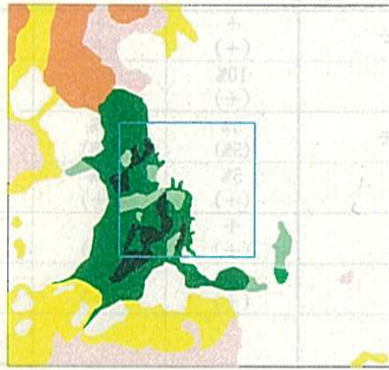
(調査期日:平成15年3月13日)



(調査期日:平成15年7月16日)



(調査期日:平成15年4月28日)



(調査期日:平成15年8月12日)



(調査期日:平成15年5月15日)

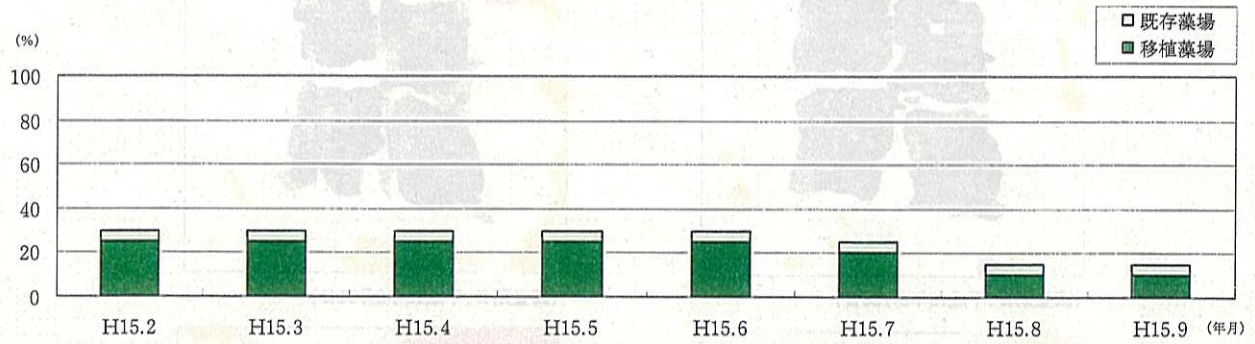


(調査期日:平成15年9月5日)

(凡例)

- 試験移植海草類 50%以上
- 試験移植海草類 10-50%
- 試験移植海草類 10%未満
- 既存海草類 50%以上
- 既存海草類 10-50%
- 既存海草類 10%未満

付図 4-3 再移植実験での海草分布状況 (5 m × 5 m コードラート内)

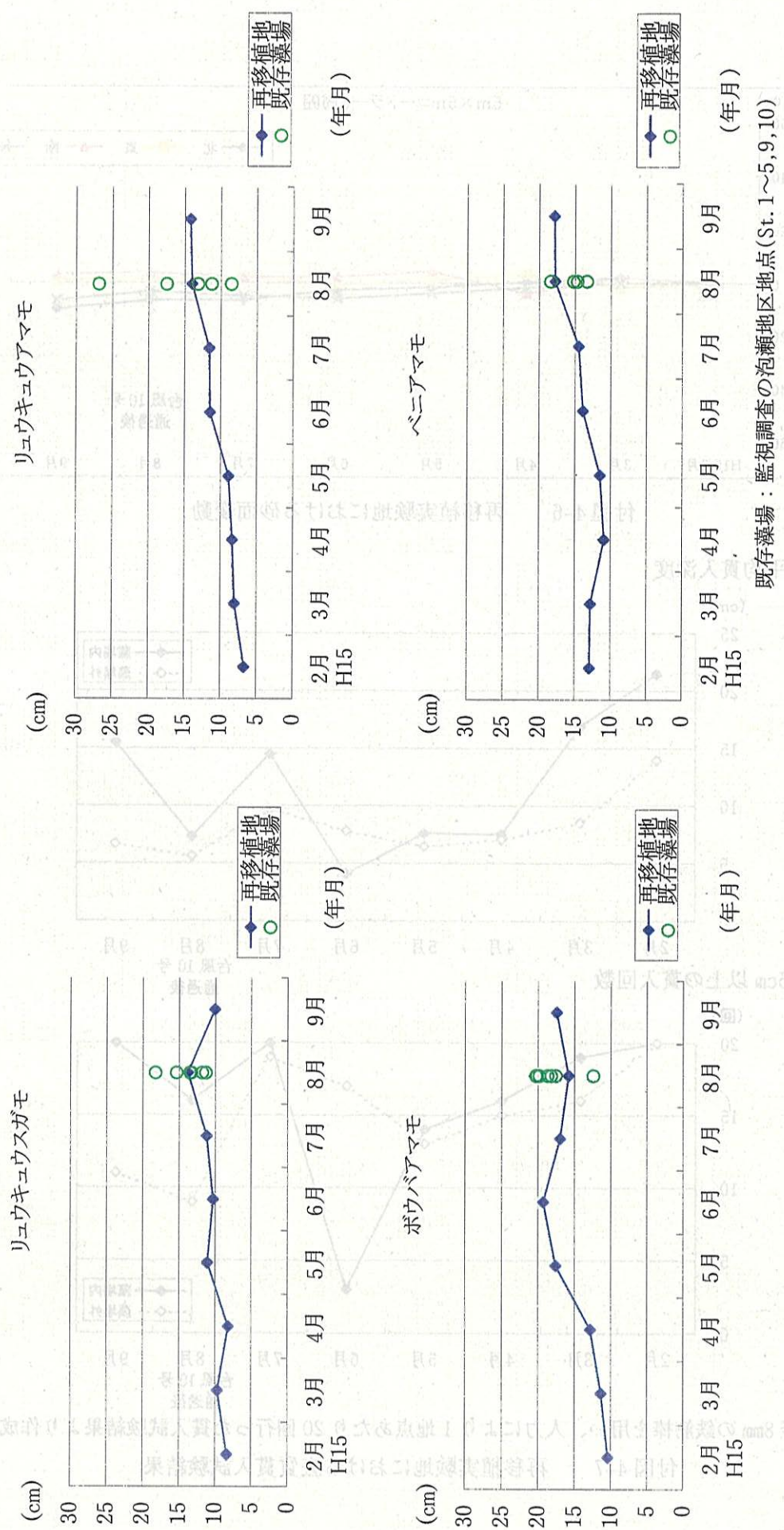


付図 4-4 5m×5m コードラート内の生育被度の変化 (再移植実験)

付表 4-1 5m×5m コードラートにおける海草類の種別被度 (再移植実験)

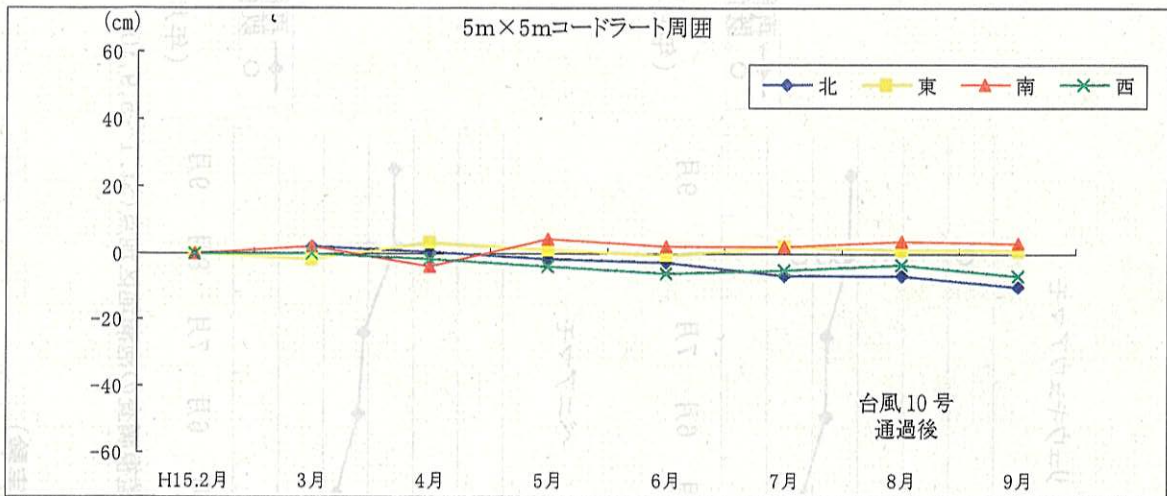
種	調査時期								
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1 リュウキュウスガモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
2 ベニアマモ	10%	10%	10%	10%	10%	5%	5%	5%	5%
	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
3 リュウキュウアマモ	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	5%
	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)
4 ボウバアマモ	5%	5%	5%	5%	5%	5%	+	+	+
	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
5 ウミジグサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
6 マツバウミジグサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
7 ウミヒルモ							+	+	+
							(+)	(+)	(+)
全体被度(%)	30%	30%	30%	30%	30%	25%	15%	15%	15%
	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)	(5%)
種数	6	6	6	6	6	7	7	7	7
	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(7)	(7)	(7)	(7)

注) 1. +は被度5%未満を示し、被度表示は5%単位で示す。
 2. 括弧内の数字は既存藻場の被度、種数を示す。



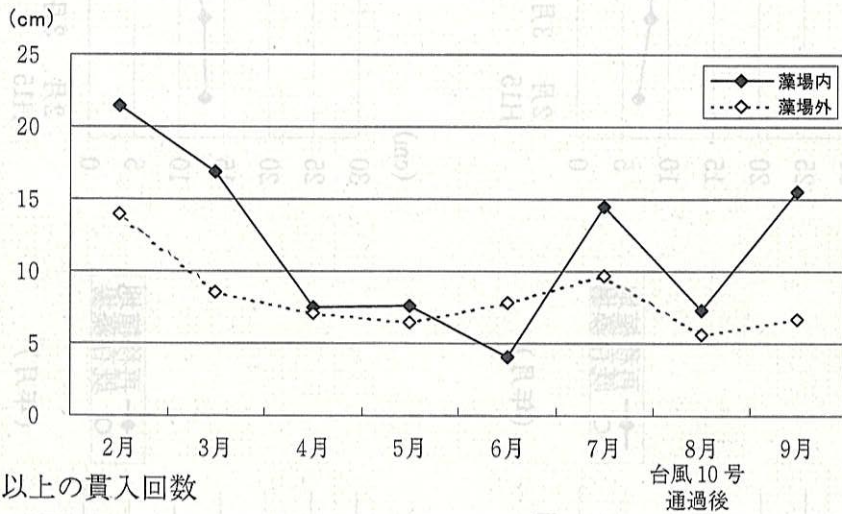
既存藻場：監視調査の泡瀬地区地点 (St. 1~5, 9, 10)

付図4-5 主要構成種の葉長(上位30株平均)の変化(再移植地実験)

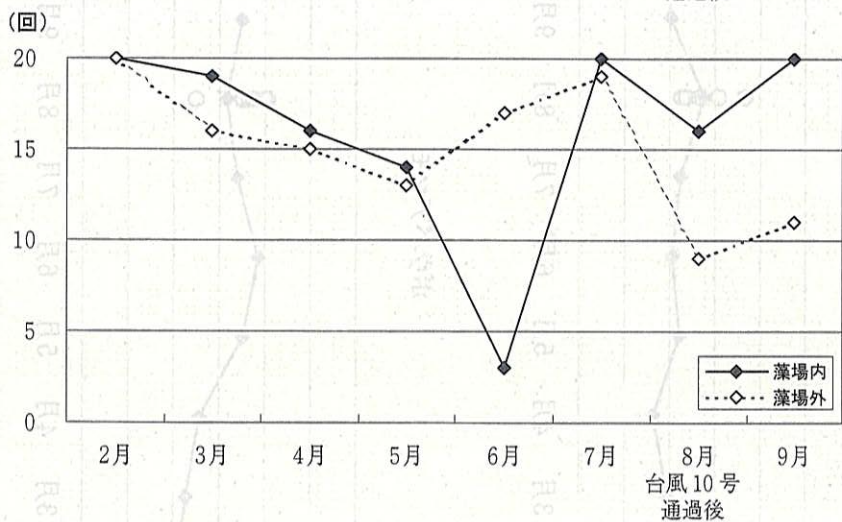


付図 4-6 再移植実験地における砂面変動

平均貫入深度



5cm以上の貫入回数



注) 直径 8mm の鉄筋棒を用い、人力により 1 地点あたり 20 回行った貫入試験結果より作成。

付図 4-7 再移植実験地における底質貫入試験結果

付表4-2 底質貫入試験結果 (再移植実験)

調査点 調査項目	H15.2			H15.3			H15.4			H15.5		
	藪場	砂地	藪場	藪場	砂地	藪場	藪場	砂地	藪場	砂地	藪場	砂地
鉄筋棒貫入試験	貫入回数(回)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	最大(cm)	32	18	28	13	11	19	15	15	10	10	10
	最小(cm)	10	10	5	5	4	4	4	4	4	4	4
	平均(cm)	21.5	14.0	16.9	8.5	7.6	7.1	7.6	7.1	7.6	6.5	6.5
	標準偏差	6.9	2.6	7	2.4	2.2	3.2	2.9	2.9	2.9	1.8	1.8
貫入深度階級と頻度												
	貫入深度階級 (cm)											
	貫入回数 (回)											
	最大 (cm)											
	最小 (cm)											
平均 (cm)												
標準偏差												
調査点 調査項目	H15.6			H15.7			H15.8			H15.9		
	藪場	砂地	藪場	藪場	砂地	藪場	藪場	砂地	藪場	砂地	藪場	砂地
鉄筋棒貫入試験	貫入回数(回)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	最大(cm)	6	13	27	18	13	8	23	11	11	11	11
	最小(cm)	2	5	6	5	5	4	8	3	3	3	3
	平均(cm)	4.1	7.9	14.5	9.7	7.3	5.6	15.6	6.7	6.7	6.7	6.7
	標準偏差	1.2	2.3	7	3.6	2	1.3	4.4	2.1	2.1	2.1	2.1
貫入深度階級と頻度												
	貫入深度階級 (cm)											
	貫入回数 (回)											
	最大 (cm)											
	最小 (cm)											
平均 (cm)												
標準偏差												

1. φ 8mmの鉄筋棒を用いた。

付表4-3 2m×2mコードラート内の大型底生生物の目視観察結果（再移植実験）

No.	綱	科	和名	生態情報		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
				基質	移動性										
1	ヒザラガイ	ヒザラガイ	ヒザラガイ科	H	○		1		2	1	1	1			
2	マキガイ	ヒメアワビガイ	ヒメアワビ	H	○						1				
3		オニツノガイ	オニツノガイ科	-	○	1									
4		タモトガイ	フトコロガイ	L	○	4	8	3	6	4	4	7	4		
5			ムシエビガイ	L	○								1		
6		ムシロガイ	イホヨフバイ	S	○	1									
7			ツヤヨフバイ	S	○	1									
8		イトマキホラ	イトマキホラ	S	○		1								
9	ニマイガイ	フネガイ科	リュウキウサルホウガイ	S	○								1		
10		イタホガキ	イタホガキ科	H	×		1								
11		イタヤガイ	シロスジナデシコガイ	H	×		1	1	1	1					
12		マルスタレガイ	シラオガイ	S	○		1								
13	甲殻	テッポウエビ	テッポウエビ属	-	○						1				
14		ヤトカリ	ヤトカリ亜目	-	○	18	3	12	5	6	3	2	3		
15		ワタリガニ	ヘニツケガニ属	-	○	1	2	1	1	1	2				
16		オウキガニ	オウキガニ科	-	○	1		1	1	2		1			
17		コシオリエビ	コシオリエビ属	-	○		1	2	1	1					
18			シヤコ目	-	○						1	1			
19	苔虫		苔虫綱	H	×	R									
20	ヒトデ	コフヒトデ	コフヒトデ	S	○		1			1		2			
21	ウニ	ラッパウニ	シラヒケウニ	S	○			1							
22	ナマコ	クロナマコ	トゲクイロナマコ	S	○		1								
23			フタスジナマコ	S	○			1	1		1				
24			クロナマコ	-	○	1	2	2		2					
25			リュウキウフジナマコ	-	○		1				1				
26	ホヤ	ヒウラ	ヒウラ科	H	×		3	1							
27			ホヤ綱(単体性)	H	×	4			1	1	1				
						32	27	25	19	20	16	14	9		
						10	14	10	9	10	10	6	4		
浮泥の堆積状況						堆積厚 (mm)		<1	<1	<1	<1	<1	1~5	1~5	1~5
						被度 (%)		<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5	<5

注1) 個体数の R は、被度 5%未満の出現を示す。

注2) 生態情報の凡例は以下の通り。

<基質>

H: 主に岩、石礫など (Hard bottom) に生息

S: 主に砂地など (Soft bottom) に生息

L: 主に海藻草類の葉上 (Leaf) に生息

P: 他の動物種に寄生 (Parasitism) または共生関係にあり、主に動物体上ないし動物体内に生息

-: 生息基質の選択性が低い、未詳、不明な種

<移動性>

○: 成体でも移動性を持ち、逃避および成体での加入が起こりうる種

×: 成体ではほとんど移動できないため、逃避および成体での加入が起こらない種

-: 移動性については不明な種

注3) 緑色で示した和名は、泡瀬地区の既存藻場 (監視調査、St. 1~5、H12夏~H14夏) において出現頻度及び個体数が多かった種。

注4) 赤色で示した和名は、既存藻場との出現種比較において合算して扱うことが望ましいもの。

付表4-4 5m×5mのコードラート内における海草類の面積と減耗率（再移植実験）

単位:m²

調査時期	調査月	H15.2	H15.3	H15.4	H15.5	H15.6	H15.7	H15.8	H15.9
試験移植海草類	50%以上	5.15	3.22	2.98	2.06	1.83	1.40	0.32	0.31
	10-50%	1.05	2.52	1.61	2.51	2.48	3.13	1.88	1.8
	10%未満	0.11	0.25	0.25	0.37	0.53	0.85	0.3	0.62
試験移植海草類の合計面積		6.31	5.99	4.84	4.94	4.84	5.38	2.50	2.73
前月からの面積減耗率		-	-5%	-19%	2%	-2%	11%	-54%	9%
既存海草類	50%以上	0.74	0.08	0.16	0.21	0.72	1.64	1.03	1.04
	10-50%	1.41	1.44	1.55	1.68	1.29	2.56	1.61	2.23
	10%未満	0.59	0.72	0.13	0.49	1.38	2.57	2.45	2.68
既存海草類の合計面積		2.74	2.24	1.84	2.38	3.39	6.77	5.09	5.95
合計面積		9.05	8.23	6.68	7.32	8.23	12.15	7.59	8.68
前月からの面積減耗率		-	-9%	-19%	10%	12%	48%	-38%	14%

付表4-5 2m×2mのコードラート内における海草類の面積と減耗率（再移植実験）

単位:m²

調査時期	調査月	H15.2	H15.3	H15.4	H15.5	H15.6	H15.7	H15.8	H15.9
試験移植海草類	50%以上	2.86	1.96	2.00	1.86	1.64	1.19	0.34	0.36
	10-50%	0.41	1.21	0.92	1.09	1.33	1.28	0.88	0.76
	10%未満	0.09	0.20	0.24	0.35	0.27	0.44	0.24	0.35
試験移植海草類の合計面積		3.36	3.37	3.16	3.30	3.24	2.91	1.46	1.47
前月からの面積減耗率		-	0%	-6%	4%	-2%	-10%	-50%	1%

注) 2m×2mのコードラート内には既存海藻類は生育していない。